Panasonic®

取扱説明書
デジタルカメラ

品番 **DMC-FZ7**

上手に使って上手に節電

保証書別添付

LEICA
DC VARIO-ELMARIT

このたびは、デジタルカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（130 ～ 135 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

はじめに

準備

基本

応用・撮る

応用・見る

撮影・再生メニュー

他の機器との接続

その他・Q&A

ホームページではデジタルカメラの撮りかたやコツ、新製品の情報などを紹介しています。参考にご覧ください。

http://panasonic.jp

また製品のサポート情報については

http://panasonic.jp/support/

をご覧ください。

モードダイヤル・ジョイスティックについて

の部分に使用したいモードを合わせる

モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。（モードダイヤルは360°回転しますが、モードのない部分に合わせないでください）

S シャッター優先AEモード
設定したシャッタースピードから絞り値が自動的に決まり、撮影できます。

M マニュアル露出モード
絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

A 絞り優先AEモード
設定した絞り値からシャッタースピードが自動的に決まり、撮影できます。

マクロモード
被写体に近づいて撮りたいときに。

動画撮影モード
音声付き動画を撮影します。

P プログラムAEモード
露出をカメラにまかせて撮影します。

SCN シーンモード
撮影シーンに合わせて撮りたいときに。

再生モード
撮影した画像を再生します。

かんたんモード
初心者におすすめのモードです。

■ 本書内の表示について

モードダイヤル設定：P A S M SCN

各機能や設定が使用できるモードを表しています。
モードダイヤルをいずれかに合わせてご使用ください。

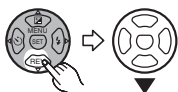
本機を使用するうえで、知っておくと便利なことや参考になることを記載しています。

次のページへ続くことを表しています。

■ カーソルボタンとジョイスティックのイラストについて

本書ではカーソルボタンとジョイスティックを下図のように説明しています。

カーソルボタン

例：▼ボタンを押すとき

ジョイスティック

例：右に傾けるとき

例：中心を押すとき

■ 本書内のイラスト表示について

本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

まずお読みください

■ 事前に必ずためし撮りをしてください
大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません
本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください
あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■ カードの画像について
- 以下の画像は、本機で再生できない場合があります。
  - ・他機で記録、作成した画像
  - ・パソコンで編集された画像
- 本機で記録、作成した画像は他機で再生できない場合がありますので、あらかじめお確かめください。

■ 本機で使用できるカードは
SD メモリーカード、マルチメディアカードです。
- マルチメディアカードは静止画のみ対応しています。
- 本書ではSDメモリーカードとマルチメディアカードを「カード」と記載しています。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

つづく

故障を防ぐために

■ 本機の取り扱いについて

- **本機に強い振動や衝撃を与えないでください。** 誤動作したり、画像が記録できなくなる可能性があります。また、レンズが破壊される可能性があります。
- 持ち運ぶときは、レンズを収納して持ち運んでください。
- 再生するときは、なるべくレンズを収納した状態でお使いください。
- **砂やほこりは、本機の故障につながります。浜辺などで使うときは、レンズ部内部や端子部に砂やほこりが入らないようにしてください。**
- 雨の日や浜辺などで撮影するときは、本機をぬらさないようにお気をつけください。
- **万一水や海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。**

■ 液晶モニター/ファインダーについて

- **液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。**
- 温度差が激しい場所では、液晶モニターにつゆが付くことがあります。柔らかい乾いた布でふいてください。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニター/ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニター/ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニター/ファインダーの画素については 99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は、カードの画像には記録されませんのでご安心ください。

■ レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- レンズ表面に汚れ（水、油、指紋など）がついた場合、画像に影響をおよぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。

故障を防ぐために(つづき)

■ つゆつきについて (レンズやファインダーがくもるとき)

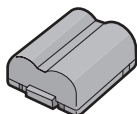
- つゆつきは、下記のように温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
  ・寒い屋外から屋内に持ち込んだとき
  ・車外から冷房の効いた車などに持ち込んだとき
  ・エアコンなどの冷風が本機に直接当たっているとき
  ・湿度の高いところ
- つゆつきの発生を防ぐためにビニール袋に入れて周囲の気温になじませてください。万一つゆつきが起こった場合、電源を [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

■ 長期間使用しないときは

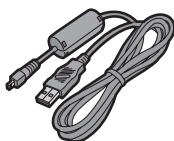
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
  (推奨温度 :15 ℃～ 25 ℃、推奨湿度 : 40%～ 60%です)
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを付けたままにしておくと、本機の電源が [OFF] であっても、絶えず微少電流が流れています。
  これをそのままにしておくと、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 長期間保管する場合、1 年に 1 回は充電し、バッテリー残量がなくなったあと、本機から取り外して再保管することをおすすめします。
- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをおすすめします。

付属品

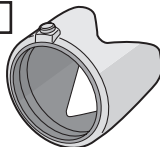
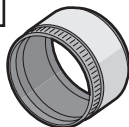
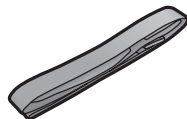
付属品をご確認ください。

記載の品番は 2006 年 2 月現在のものです。

バッテリーパック★
DMW-BMA7
（本文中では**バッテリー**と表記します）

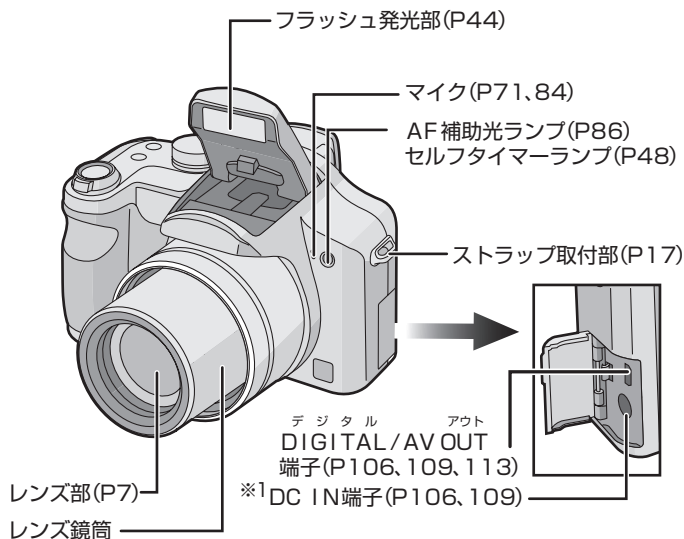
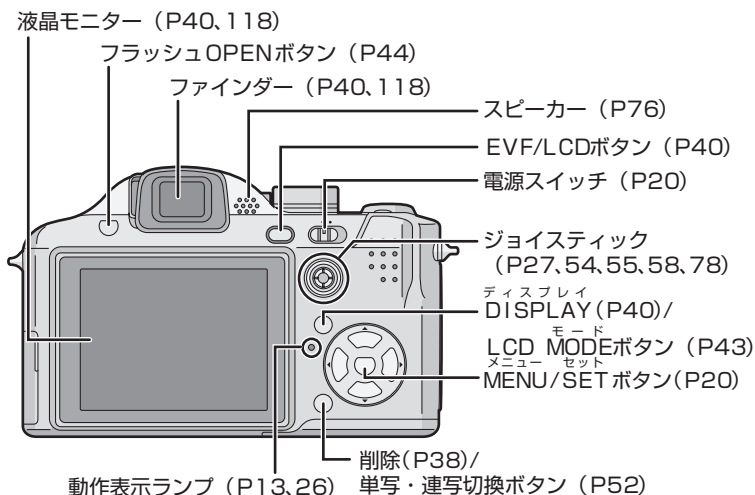
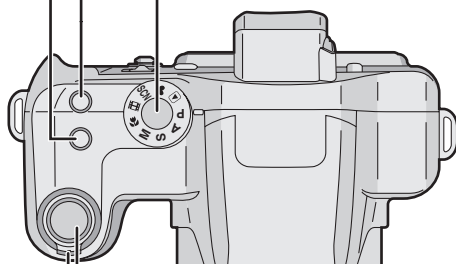
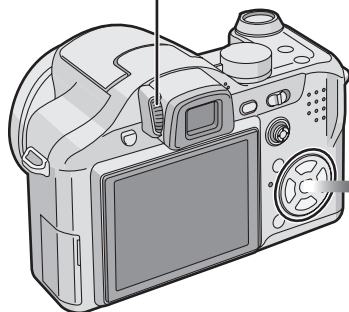
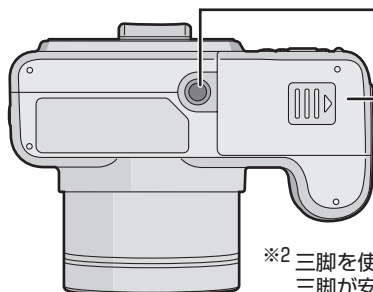
バッテリーチャージャー★
DE-993A
（本品は共用タイプです）
（本文中では**チャージャー**と表記します）

AV ケーブル★
K1HA08CD0008

USB 接続ケーブル★
K1HA08CD0007

CD-ROM ☆

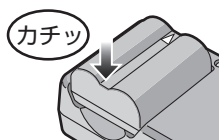
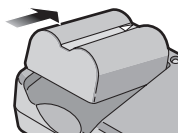
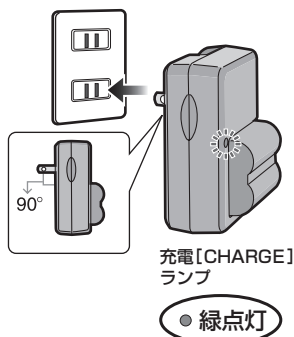
レンズキャップ★
レンズキャップひも★
VYK1T69

レンズフード★
VYQ3752（ブラック）
VYQ3672（シルバー）

フードアダプター★
VYQ3797（ブラック）
VYQ3796（シルバー）

ストラップ★
VFC4160

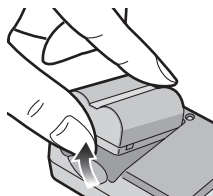
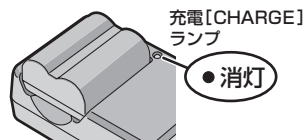
- **SD メモリーカードは別売です。**
- 別売品については114ページを参照してください。

各部の名前

※1 ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター（別売：DMW-AC7）を使用してください。

※2 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。

バッテリーをチャージャーで充電する

● お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。

1 端子部を差し込み、バッテリーを取り付ける

2 電源コンセントに差し込む

● 充電中は、充電 [CHARGE] ランプが緑色に点灯します。

3 充電が完了したら、バッテリーを取り外す

● 満充電完了後（約 120 分後）、充電 [CHARGE] ランプが消灯します。

● 充電完了後、電源コンセントから外してください。
● 使用後、充電中や充電後はバッテリーが温かくなります。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
● 充電完了後にバッテリーを長期間放置すると、バッテリーは消耗します。その場合は、再度充電し直してください。
● **本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。**
● **チャージャーは海外でも使うことができます。****(P116)**
● **チャージャーは屋内で使用してください。**

バッテリーについて（充電・記録可能枚数）

■ 残量表示について

残量表示が液晶モニター / ファインダーに表示されます。

表示が赤色に変わり点滅します。
（液晶モニターが消灯しているときは、動作表示ランプが点滅します）
バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

[AC アダプター（別売：DMW-AC7）につないで使用するときは表示されません]

■ 電池寿命について

液晶モニター使用時の撮影枚数
（条件は CIPA 規格でプログラム AE モード時）

記録可能枚数	約 320 枚 （約 160 分相当）

CIPA 規格による撮影条件

- 温度23 ℃/湿度50%、液晶モニターを点灯
- 当社製の SD メモリーカード（別売：16 MB）※使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから 30 秒経過後、撮影を開始（手ブレ補正 [MODE1] 使用）
- **30秒間隔で 1 回撮影**、フラッシュを2回に 1 回フル発光
- 撮影ごとに、T 端→ W 端または W 端→ T 端にズームを動かす
- １０枚撮影ごとに電源をいったん切る
- CIPAは、カメラ映像機器工業会（Camera & Imaging Products Association）の略称です。

※カードは付属していません。

記録可能枚数は撮影間隔によって変わります。撮影間隔が長くなると記録可能枚数は減少します。

- **例えば2分に 1 回撮影した場合は、約 80 枚に減少します。**

パワー LCD 機能またはハイアングルモード（P43）使用時は撮影枚数が減少します。

ファインダー使用時の撮影枚数
（条件は左記 CIPA 規格と同じ）

記録可能枚数	約 340 枚 （約 170 分相当）

液晶モニター使用時の再生時間

再生時間	約 300 分

撮影枚数 / 再生時間はバッテリーの保存状態や使用条件によって多少変わります。

■ 充電について

充電時間	約 120 分

別売のバッテリーパック（DMW-BMA7）の充電時間と記録可能枚数は、付属のバッテリーパックの場合と同じです。

- 充電が始まると、充電 [CHARGE] ランプが点灯します。

■ 充電ランプが点滅したときは

- バッテリーが過放電（極端に放電した状態）しています。しばらくすると点灯し、通常の充電になります。
- バッテリーの温度が高過ぎる、あるいは低過ぎます。充電時間が通常よりも長くなります。
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーをお買い求めください。

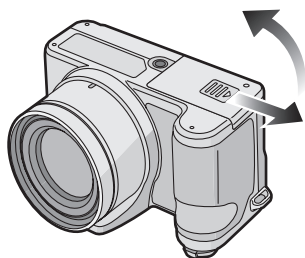
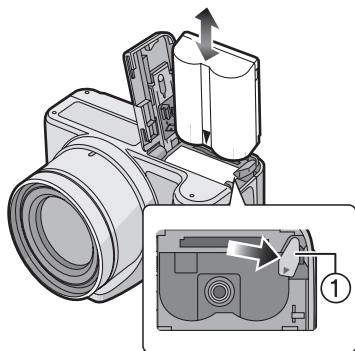
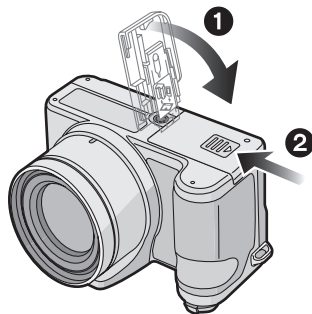
■ 充電する環境について

- 充電は周囲の温度が 10 ℃〜35 ℃（バッテリーの温度も同様）のところで行ってください。
- スキー場などの低温下では、バッテリーの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなる場合があります。

準備

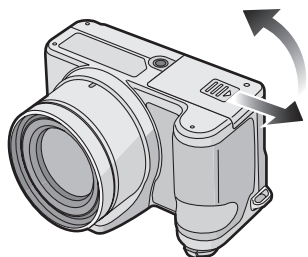
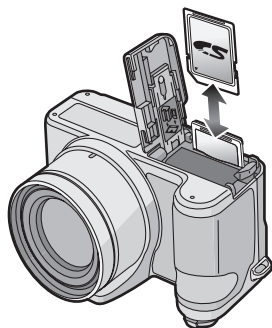
バッテリーを入れる・取り出す

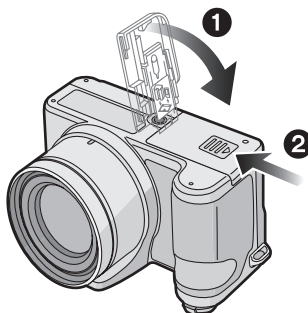
- 電源が [OFF]、レンズが収納されていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。

1 カード / バッテリー扉をスライドさせて開く

2 バッテリーを入れるときは、カチッと音がするまで確実に入れる
取り出すときは ① のレバーを矢印の方向に押して取り出す

3 ❶カード / バッテリー扉を閉じる
❷最後までスライドさせて確実に閉じる

- 使い終わったら、バッテリーを取り出しておいてください。
- 満充電されたバッテリーを挿入して約24 時間経過すると、バッテリーを取り出して放置しても、約 3ヵ月は時計設定を記憶しています。(十分に充電されていないバッテリーを挿入した場合は、記憶時間は短くなることがあります) しかし、それ以上時間が経過すると設定が消えますので、もう一度時計を設定してください。(P20)
- **カードのデータが破壊される可能性がありますので、アクセス中はカードやバッテリーを取り出さないでください。(P16)**
- **カメラの設定が正しく保存されない可能性がありますので、電源を [ON] にしたままバッテリーを取り出さないでください。**
- **付属のバッテリーは、本機専用です。本機以外で使わないでください。**
- **専用バッテリーパック (DMW-BMA7) をお使いください。**

カード（別売）を入れる・取り出す

- 電源が [OFF]、レンズが収納されていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。
- SD メモリーカード（別売）またはマルチメディアカード（別売）を用意する。

1 カード / バッテリー扉をスライドさせて開く

2 カードを入れるときは「カチッ」と音がし、ロックするまで奥まで入れる
取り出すときは「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

- カードの向きを確認してください。
- カードの裏の接続端子部に触れないでください。
- カードを奥まで入れないと、カードが壊れる原因になることがあります。

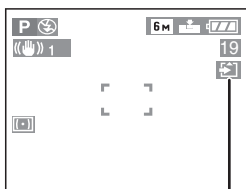
3 ❶カード/バッテリー扉を閉じる ❷最後までスライドさせて確実に閉じる

- カード扉が完全に閉じない場合は、一度カードを取り出してから、もう一度入れ直してください。

● 電源を [ON] にしたままカードを入れたり、取り出したりすると、カードやカードのデータが壊れる原因になることがあります。

● カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。

カードについて

■ カードアクセス中は･･･

カードに画像を記録しているときは、カードアクセス表示が赤く点灯します。

カードアクセス表示

カードアクセス表示が点灯しているときや、画像の読み出しや削除、カードのフォーマット（P105）中などは、以下のことをお守りください。

- 電源を [OFF] にしない
- バッテリーやカードを取り出さない
- 本機に振動や衝撃を与えない

カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。

■ カードの取り扱いについて

大切なデータはパソコン（P106）などにも保存してください。電磁波、静電気、本機やカードの故障などによりカードのデータが壊れたり消失することがあります。

- パソコンやその他の機器でフォーマットされた場合、もう一度本機でフォーマットしてください。（P105）

■ SD メモリーカード（別売）とマルチメディアカード（別売）について

- SDメモリーカードとマルチメディアカードは小型、軽量で、着脱可能な外部メモリーカードです。
- SDメモリーカードは記録/読み出し速度が速く、カードへの書き込みやフォーマットを禁止する書き込み禁止スイッチを備えています。
（スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの消去、フォーマットはできなくなり、戻すと可能になります）

SDメモリーカード

- 本機では、以下の容量（8 MB ～ 2 GB まで）の SD メモリーカードが使用できます。

8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB まで

最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。 http://panasonic.jp/support/dsc/

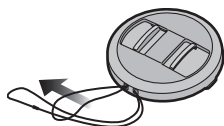
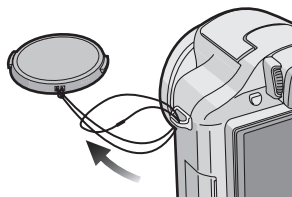
- SD メモリーカードの記録可能枚数・時間については 139 ページを参照してください。
- 本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカードに対応しています。
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。動画撮影には高速タイプの SD メモリーカードを使用することをおすすめします。（P71）

■ miniSD™ カード（別売）について

- miniSD™ カードを本機で使用する場合は、専用の miniSD™ アダプターを必ず装着してお使いください。
- miniSD™ アダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。
必ず、miniSD™ カードを入れてお使いください。

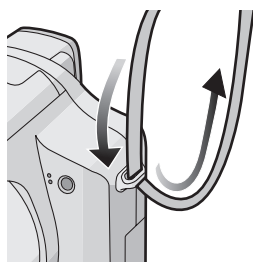
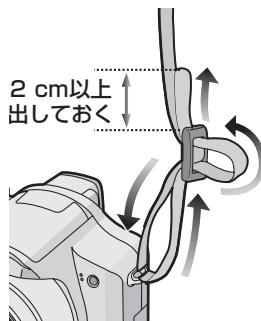
レンズキャップ・ストラップを付ける

■ レンズキャップ(付属)を付ける

1 レンズキャップにひもをとおす

2 カメラにレンズキャップひもをとおす

3 レンズキャップを付ける

- 電源を[OFF]にしているときや持ち運ぶとき、撮影した画像の再生中は、レンズ面の保護のため、レンズキャップを取り付けてください。
- レンズキャップを外して撮影してください。
- レンズキャップの紛失にお気をつけください。

■ ストラップ(付属)を付ける

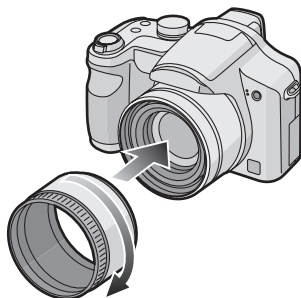
1 ストラップ取付部にとおす

2 止め具にとおして止める

- ねじれないように、もう片方も付けてください。
- ストラップがしっかり付けられていることを確認してください。
- LUMIX のロゴが見えるように付けてください。

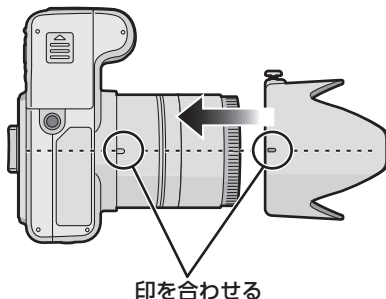
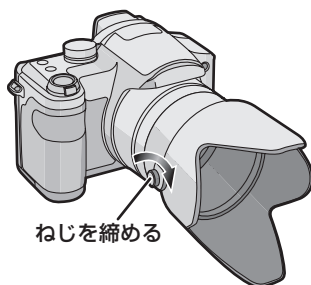
準備

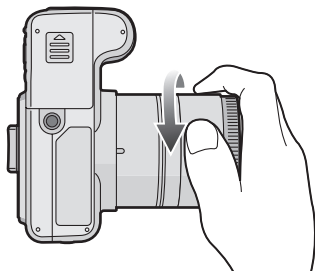
レンズフードを付ける

日差しの強い中、逆光時にゴーストやフレアを軽減します。余分な光をさえぎり、より美しく撮れます。

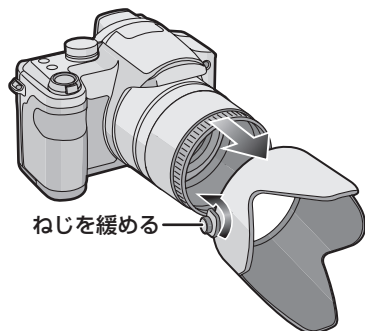
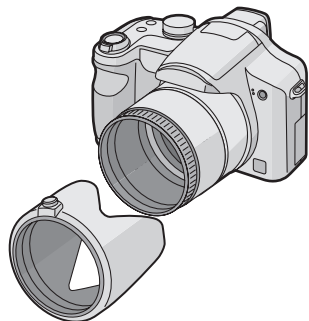
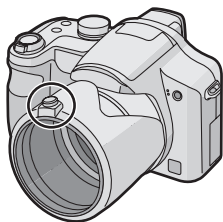
- 電源が [OFF]、レンズが収納されていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。

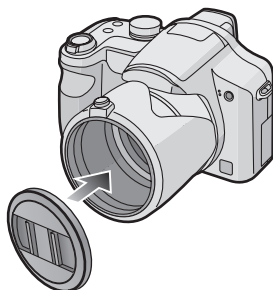
1 フードアダプター（付属）を取り付ける

- フードアダプターは強く締め込みすぎないでください。

2 本機を下向きにして、レンズフードのマークを本機のマークに合わせて挿入する

3 レンズフードのねじをしっかり締める

- ねじが緩んでいることを確認してから、レンズフードを付けてください。
- ねじは強く締め込みすぎないでください。

■ フードアダプターを外す場合

- フードアダプターの根元をつかんで外してください。

■ 一時的にレンズフードを外して運ぶ場合（仮収納）

1 ねじを緩めてレンズフードを取り外す

2 レンズフードの向きを逆にする

3 レンズフードのねじが上にくるようにして、ねじを締める

- ねじが緩んでいることを確認してから、レンズフードを付けてください。
- ねじは強く締め込みすぎないでください。

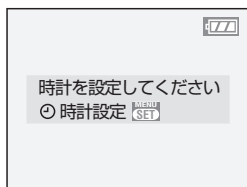
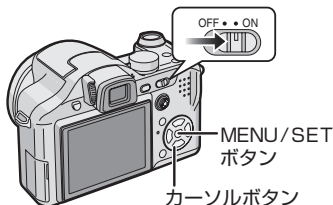
4 レンズキャップを付ける

- レンズキャップがしっかり付いていることを確認してください。
- 仮収納した状態での撮影はしないでください。

- フラッシュを使用するときにレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードにさえぎられ、画面の下が暗く（ケラレ）なり、調光もできなくなります。レンズフードを外して使用することをおすすめします。
- 暗いところで AF 補助光を使用するときは、レンズフードを外してください。
- MC プロテクターと ND フィルターの取り付けかたについては 115 ページをお読みください。
- フードアダプターを付けているときは、コンバージョンレンズまたはクローズアップレンズの取り付けはできません。
- コンバージョンレンズを装着する場合は、レンズアダプター（別売：DMW-LA2）が必要です。
- 付属品をなくされたときは、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口（P145 ～ 148）にお問い合わせください。

準備

時計を設定する

■ **お買い上げ時は・・・**

時計設定はされていませんので、電源を［ON］にすると、下のような画面が表示されます。

- 約５秒経過すると画面が消えますので、電源を入れ直してください。

1 [MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ で年月日、時刻、表示の順番を合わせる

◀/▶：合わせたい項目（年・月・日・時・分・表示順）を選ぶ

▲/▼：年月日、時刻、表示順を設定する

- 表示順を変えると、以下のように表示されます。
  （例：2006年12月1日10時00分）
  [年/月/日]：2006.12.1 10:00
  [日/月/年]：10:00 1.DEC.2006
  [月/日/年]：10:00 DEC.1.2006

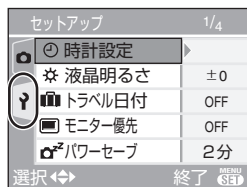
3 [MENU/SET] ボタンを数回押してメニューを終了する

- 時計設定終了後、一度電源を［OFF］にしてからもう一度［ON］にして、設定どおり表示されているか確認してください。

■ **時計設定を変更する場合**

❶ [MENU/SET] ボタンを押して、メニュー画面を表示し、◀ を押す

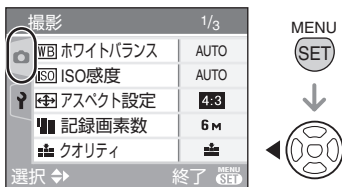
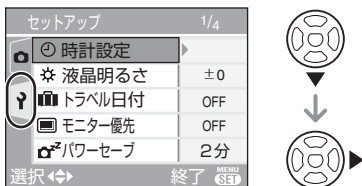
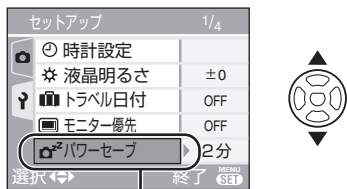
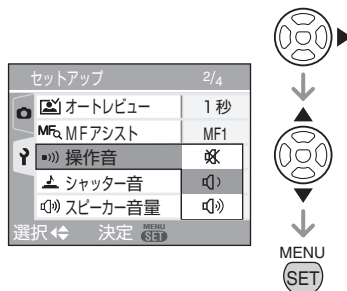
❷ ▼でセットアップメニューアイコン［🔧］を選び、▶ を押す（P21）

❸ ▲/▼ で[時計設定]を選んで▶を押し、上記**2**、**3**の手順で設定する

- 満充電されたバッテリーを挿入して約24時間経過すると、バッテリーを取り出して放置しても、約３ヵ月は時計設定を記憶しています。
- 年は2000年から2099年まで設定できます。時刻は24時間表示です。
- 日付設定を行っていないと、お店にデジタルプリントを依頼するときに、日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。（P99）

必要に応じて設定する（セットアップメニュー）

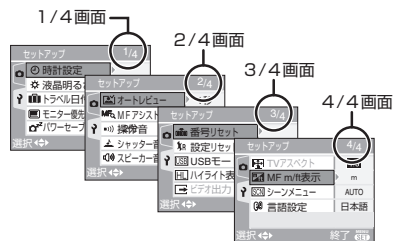
つづく

- 必要に応じて設定してください。(各項目については22～25ページをお読みください)
- モードダイヤル（P5）で選んでいるモードによって、メニュー項目は異なります。ここでは、プログラムAEモード[P]で、[操作音]を設定する例で説明しています。
- メニュー設定をお買い上げ時の状態に戻すには、[設定リセット]を実行してください。(P24)

1 [MENU/SET] ボタンを押して、◀ を押す

2 ▼ でセットアップメニューアイコン［］を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ でメニュー項目を選ぶ

4 ▶ を押して ▲/▼ で設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5 [MENU/SET]ボタンを押してメニューを終了する

- **撮影モード時は、シャッターボタン半押しでも終了できます。**

■ メニュー画面の項目について

- メニュー画面は1/4～4/4画面まであります。
- ズームレバーを回すと、簡単にメニュー画面を切り換えることができます。

MENU SET を押してセットアップメニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P21)

▶ はお買い上げ時の設定です。

	項目	設定内容
🕘	**時計設定**	日付や時刻を変更するときに設定します。(P20)

☼	**液晶明るさ / ファインダー明るさ**	液晶(液晶モニターに表示されている場合)またはファインダー(ファインダー内に表示されている場合)の明るさを 7 段階で調整できます。

	トラベル日付	▶ OFF: 旅行の経過日数を記録しません。 設定 : 旅行の経過日数を記録します。

● トラベル日付の設定については 69 ページをお読みください。

	モニター優先	ON: 撮影モードでファインダーを選択していた場合、レビュー時や再生時に自動的に液晶モニター表示に切り換わります。(P41) ▶ OFF: 自動的に切り換わりません。

	パワーセーブ	1 分 / ▶ 2 分 /5 分 /10 分 :設定した時間の間に何も操作しないと、パワーセーブモード(電源を自動的に切り、バッテリーの消耗を防ぐ)になります。 OFF: パワーセーブモードになりません。

● パワーセーブを解除するには、シャッターボタンを半押しするか、または電源を [OFF] にしてからもう一度 [ON] にしてください。
● かんたんモード [❤] 時は [2 分] に固定されます。
● AC アダプター(別売 : DMW-AC7)使用時、パソコン接続時、プリンター接続時、動画撮影 / 再生時、スライドショー中はパワーセーブは働きません。(ただし、スライドショー一時停止中または [MANUAL] スライドショー中は、10 分固定でパワーセーブが働きます)

MENU SET を押してセットアップメニューを表示し、設定する項目を選んでください。（P21）

つづく

項目		設定内容
	オートレビュー	▶ **1秒：** 撮影後に撮影画像が約 1 秒間表示されます。 **3秒：** 撮影後に撮影画像が約 3 秒間表示されます。 **ZOOM：** 撮影後に撮影画像が約 1 秒間表示されます。そのあと、4 倍に拡大された画像が約 1 秒間表示されます。ピントの確認に便利です。オートブラケット撮影、連写、音声付き静止画は、[ZOOM] に設定していても拡大されません。 **OFF：** 撮影後に撮影画像が自動的に表示されません。

準備

- 動画撮影モード [ ] 時は、オートレビューされません。
- オートブラケット撮影（P50）、連写（P52）時は、オートレビューの設定に関わらず、オートレビューされます。（拡大はされません）
- オートレビューの設定に関わらず、音声付き静止画は、記録中（P84）にオートレビューされます。（拡大はされません）
- クオリティを [TIFF] に設定して撮影したときは、カード記録終了までオートレビューされます。（拡大はされません）
- オートブラケット撮影、連写、動画撮影モード、音声記録時、クオリティを [TIFF] に設定しているときは、オートレビューの設定はできません。

MF	**MF アシスト（撮影モードのみ）**	マニュアルフォーカス時に、液晶モニター / ファインダーの中央部が拡大され、ピントを合わせやすくなります。（P58） ▶ **[MF1]：** 画面中央部が拡大表示されます。画面全体の構図を決めながら、ピントを合わせることができます。 **[MF2]：** 画面全体が拡大表示されます。ピントの動きがわかりにくい W 端でのピント合わせに便利です。 **[OFF]：** 拡大表示されません。

	操作音	：操作音なし ▶ ：操作音小 ：操作音大

	シャッター音	：シャッター音なし ▶ ：シャッター音小 ：シャッター音大

	スピーカー音量	スピーカーの音量を LEVEL6 ～ 0 の 7 段階に調整できます。（▶ LEVEL 3）

- テレビと接続したとき、テレビのスピーカーの音量は変わりません。

MENU/SET を押してセットアップメニューを表示し、設定する項目を選んでください。（P21）

項目		設定内容
	番号リセット	次に撮影される画像のファイル番号を 0001 から記録したい場合に設定します。(フォルダー番号が更新され、ファイル番号が 0001 から始まります)

- フォルダー番号は 100 ～ 999 まで作成されます。
  フォルダー番号が 999 になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。
- フォルダー番号を 100 にリセットするには、まずカードをフォーマット（P105）してから、番号リセットを実行し、ファイル番号をリセットしてください。
  そのあと、フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、[はい] を選んでフォルダー番号をリセットしてください。
- ファイル番号、フォルダー番号について、詳しくは 107 ページを参照してください。

	設定リセット	以下の設定をお買い上げ時の状態に戻します。 **撮影設定** **セットアップ設定**

- セットアップ設定をリセットすると、シーンモードの赤ちゃんモード（P66）の誕生日設定やトラベル日付（P69）の旅行の経過日数もリセットされます。また、再生メニューの [お気に入り]（P95）は [OFF]、[回転表示]（P96）は [ON] になります。
- フォルダー番号、時計設定の設定内容は変わりません。

USB	USBモード	USB 接続ケーブル（付属）を使って本機をパソコンやプリンターに接続する際に、USB 通信方式を設定します。 ▶ **接続時に選択：** パソコンまたは PictBridge 対応プリンターに接続したときに、[PC] または [PictBridge (PTP)] のいずれかを選択します。 **PC：** パソコンに接続する場合に設定します。 **PictBridge (PTP)：** PictBridge　対応プリンターに接続する場合に設定します。

- [PC] に設定すると、USB の Mass Storage（マス ストレージ）通信方式で接続されます。
- [PictBridge (PTP)] に設定すると、USB の PTP（Picture Transfer Protocol（ピクチャー トランスファー プロトコル））通信方式で接続されます。

HL	ハイライト表示	**ON:** オートレビューまたはレビュー時に、白とびの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。（P41） ▶ **OFF:** ハイライト表示しません。

MENU SET を押してセットアップメニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P21)

項目		設定内容
	ビデオ出力(再生モードのみ)	▶ NTSC: ビデオ出力をNTSC方式にします。 PAL: ビデオ出力をPAL方式にします。(P116)

	TVアスペクト(再生モードのみ)	16:9 :画面が16:9のテレビと接続する場合に選んでください。 ▶ 4:3 :画面が4:3のテレビと接続する場合に選んでください。

- [16:9]は、アスペクト設定を[16:9]で撮影した画像を16:9のテレビで画面いっぱいに表示するときに適しています。このとき、アスペクト設定を[4:3]または[3:2]で撮影した画像には、左右に黒い帯が付いて表示されます。
- [4:3]に設定した場合、アスペクト設定を[16:9]または[3:2]で撮影した画像には、上下に黒い帯が付いて表示されます。
- [16:9]に設定した場合、AVケーブル(付属)を使って出力すると(P113)、本機の液晶モニターでは画像が縦長に表示されます。

	MF m/ft表示	▶ m: マニュアルフォーカス時のフォーカス距離表示がメートルになります。 ft: マニュアルフォーカス時のフォーカス距離表示がフィートになります。

- フォーカス距離表示については58ページをお読みください。

SCN	シーンメニュー	▶ AUTO:モードダイヤルをシーンモードに合わせたとき、シーンモードメニューが自動的に表示されます。お好みのシーンモードを選択してください。 OFF: モードダイヤルをシーンモードに合わせたとき、シーンモードメニューが表示されず、現在選択されているシーンモードで動作します。シーンモードを変更する場合は、[MENU/SET]ボタンを押してシーンモードメニューを表示させてから、お好みのシーンモードを選択してください。

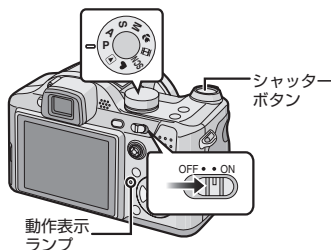
	言語設定	メニュー画面は以下の2言語から設定できます。▲/▼で言語を選び、[MENU/SET]ボタンで決定してください。誤って英語に設定した場合は、メニューアイコンの[ ]を選び言語を設定してください。 ▶ 日本語: メニュー画面を日本語表記にします。 ENGLISH: メニュー画面を英語表記にします。

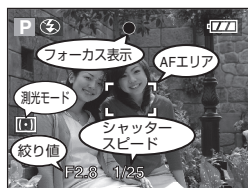
- [液晶明るさ/ファインダー明るさ]、[操作音]、[番号リセット]、[言語設定]は、かんたんモード[♥]にも反映されます。

撮影する（P：プログラム AE モード）

モードダイヤルを P に合わせてください。

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。

- レンズキャップを外す。
- 電源を [ON] にする。

- 液晶モニター使用時は、電源を [ON] にすると動作表示ランプが約 1 秒間点灯します。
- ファインダー使用時は、電源を [ON] にすると動作表示ランプが点灯します。バッテリー残量が少なくなると、動作表示ランプは点滅します。

1 ピントを合わせたい位置にAFエリアを合わせ、シャッターボタンを半押しする

- フォーカス表示が点灯し、シャッタースピードと絞り値が表示されます。
- AF モードを 9 点または 3 点高速に設定している場合は、ピントが合うまで AF エリアは表示されません。（P85）
- 暗い場所での撮影時またはデジタルズーム時は、通常よりも大きな AF エリアが表示されます。（P85）
- プログラムシフトについては27 ページをお読みください。

	ピントが合っていないとき	ピントが合ったとき
フォーカス表示	点滅（緑）	点灯（緑）
AF エリア	白→赤 または AF エリアなし	白→緑
フォーカス音	ピピピピッ	ピピッ

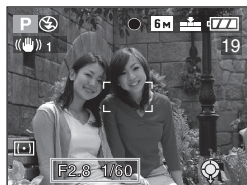
2 シャッターボタンを全押しして撮影する

- 撮影前に、時計設定を確認することをおすすめします。（P20）
- シャッターボタンを押すと、一瞬液晶モニターの画面が明るくなったり、暗くなったりする場合があります。これはピントを合わせやすくするためで、記録される画像に影響はありません。
- パワーセーブの時間が設定されているとき（P22）は、設定された時間内に本機の操作をしないと自動的に電源が切れます。再び本機の操作をするときは、シャッターボタンを半押しするか、電源を [OFF] にしてからもう一度 [ON] にしてください。
- ノイズが気になるときは、ISO 感度を低くするか、[画質調整] の [ノイズリダクション] を [高] にするか、[ノイズリダクション] 以外の各項目を [低] にする（P87）ことをおすすめします。（お買い上げ時の設定では、ISO　感度が [AUTO] になっているため、屋内などの撮影では ISO 感度が高くなります）

つづく

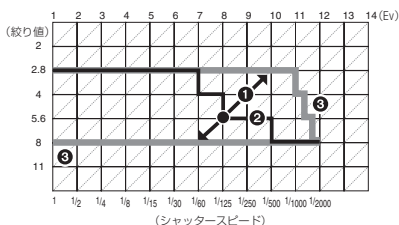
■ プログラムシフトについて

プログラム AE で本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。
プログラム AE での撮影時に、より背景をぼかしたい（絞り値を小さくする）、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする）などの設定が可能です。

● シャッターボタンを半押しして、液晶モニター/ ファインダーに絞り値とシャッタースピードの数値が表示されている間に（約 10 秒間)、ジョイスティックでプログラムシフトしてください。

● プログラムシフトされている場合は、画面にプログラムシフト表示が出ます。
● プログラムシフトを解除するには、電源を [OFF] にするか、プログラムシフト表示が消えるまで、ジョイスティックを上下に動かしてください。

＜プログラムシフトの例＞

❶ プログラムシフト量
❷ プログラムシフト線図
❸ プログラムシフト限界

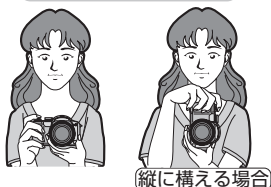
基本

● シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色で表示されます。
● プログラムシフトが有効になってから、10 秒以上経過すると、プログラムシフト設定可能な状態は解除され通常のプログラム AE に戻りますが、プログラムシフトされた設定は維持されています。
● 被写体の明るさによっては、プログラムシフトできない場合があります。

上手に撮影するために

■ 本機の構えかたについて

- 両手で本機を軽く持ち、脇を閉め足を開いて構えてください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないようにお気をつけください。
- AF 補助光ランプやマイクなどを指などでふさがないでください。
- レンズ部には触らないでください。
- 太陽光などが液晶モニターに反射して画面が見にくい場合は、手などでさえぎってご使用いただくことをおすすめします。

液晶モニターで撮る場合

縦に構える場合

ファインダーで撮る場合

縦に構える場合

■ 縦位置検出機能について

本機を縦に構えて撮影した画像を、再生時に自動で縦向きに表示することができる機能です。([回転表示](P96)を [ON] に設定している場合のみ)

- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、画像を縦向きに表示できない場合があります。
- 動画再生時、コマ撮りアニメ作成時は、画像を縦向きに表示できません。

■ 撮りたい被写体が AF エリアから外れている場合(AF/AE ロック)

下のような構図で人物の写真を撮影したい場合、被写体が AF エリアから外れているので、そのままシャッターボタンを押すだけでは背景などにピントが合ってしまい、被写体にピントが合いません。

このようなときは、

❶ 被写体に AF エリアを合わせる

❷ **シャッターボタンを半押しし、**ピントと露出を固定する

- ピントが合うと、フォーカス表示が点灯します。

❸ **シャッターボタンを半押ししたまま、**撮りたい構図に本機を動かす

❹ シャッターボタンを全押しする

- AF/AE ロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

AF:「Auto Focus」の略で、カメラが自動でピントを合わせる機能です。

AE:「Auto Exposure」の略で、被写体の明るさをカメラが判断して、自動で露出を決める機能です。

■ ピントについて

- ピントが合う範囲は 30 cm 〜∞（W 端時）、2 m 〜∞（T 端時）です。近くのものを撮影したい場合は、マクロモードをお使いください。（P53）
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していてもピントが合っていない場合があります。
- 以下のような場合はピントがうまく合いません。
  ・遠くと近くのものを同時に撮る
  ・汚れたガラスの向こうのものを撮る
  ・キラキラと光るものが周りにある
  ・暗い場所を撮る
  ・動きの速いものを撮る
  ・コントラスト（濃淡）の低いものを撮る
  ・手ブレしている
  ・高輝度（非常に明るいもの）を撮る
  置きピン（P59）、AF/AE ロックを使って撮影することをおすすめします。暗い場所では、ピント合わせのために AF 補助光ランプ（P86）が点灯することがあります。
- フォーカス表示が出てピントが合っても、シャッターボタンを離すとピントが解除されます。もう一度半押ししてピントを合わせてください。

■ 手ブレを防ぐために

- シャッターボタンを押し込む際の手ブレにお気をつけください。
- シャッタースピードが遅くなり手ブレしやすいときは、手ブレ警告表示が出ます。

- 手ブレ警告表示が出るときは、三脚の使用をおすすめします。または撮る姿勢（P28）にお気をつけください。三脚使用時にはセルフタイマー（P48）を使うと、シャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐことができます。
- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をおすすめします。
  ・赤目軽減スローシンクロ（P44）
  ・夜景 & 人物モード（P62）／
  夜景モード（P63）／
  パーティーモード（P64）／
  キャンドルモード（P65）／
  花火モード（P65）／
  星空モード（P66）
  ・シャッタースピードを遅くした場合
  （P54、P55）

■ 露出について

- 適正露出にならないときは、シャッターボタンを半押ししたときに、絞り値とシャッタースピードの数値の色が赤色になります。（ただし、フラッシュ発光時は赤くなりません）

- 特に暗い場所での撮影は、液晶モニター／ファインダーの明るさと実際に撮影される画像が異なる場合があります。
- 晴天の空や雪など、明るい被写体が画像の大半を占めると、暗く撮影される場合があります。その場合は、露出を補正してください。（P49）

基本

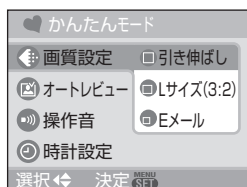
かんたんモードで撮る（♥：かんたんモード）

モードダイヤルを ♥ に合わせてください。

初心者でも簡単に撮影できます。必要な項目だけがわかりやすく表示されますので、迷うことがありません。

■ 必要に応じてメニュー設定をする

1 [MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼ でメニュー項目を選び、▶を押す

3 ▲/▼ で設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 [MENU/SET]ボタンを押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

項目	設定内容
画質設定	引き伸ばし： A3 や A4 などの大きめのサイズにプリントするときに最適です。 L サイズ（3:2）： L サイズ (89 mm×127 mm) の大きさにプリントするときに最適です。 E メール： E メールの添付画像やホームページ用画像などに使用するときに最適です。
オートレビュー	● OFF: 自動的に表示されません。 ● ON: 撮影後に撮影画像が約 1 秒間表示されます。
操作音	OFF: 操作音なし 小： 操作音小 大： 操作音大
時計設定	日付や時刻を変更するときに設定します。（P20）

- [画質設定] の [L サイズ(3:2)]、[E メール] は、EX 光学ズームが働き、ズーム倍率が最大 16.5 倍まで拡張されます。（P34）
- [操作音]、[時計設定] のかんたんモードでの設定内容は、他の撮影モードにも反映されます。
- セットアップメニューでの　[液晶明るさ]（P22）、[番号リセット]（P24）、[言語設定]（P25）は、かんたんモードにも反映されます。

つづく

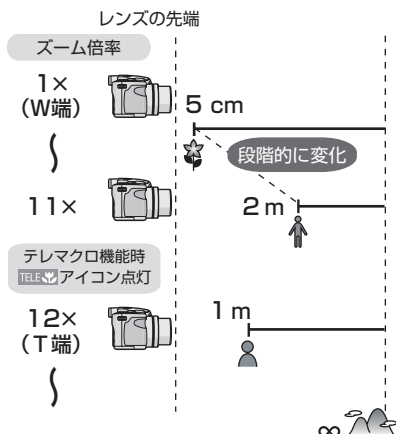
■ かんたんモード時の設定内容

かんたんモード時は、その他の設定項目が次のように固定されます。詳しくは、それぞれのページをお読みください。

項目	設定内容
オートレビュー（P23）	1 秒
パワーセーブ（P22）	2 分
セルフタイマー（P48）	10 秒
手ブレ補正（P51）	MODE1
連写速度（P52）	低速（2 コマ / 秒）
ホワイトバランス（P78）	AUTO
ISO 感度（P81）	AUTO
アスペクト設定 / 記録画素数 / クオリティ（P81、P82）	引き伸ばし：4:3 / 6M (6M)/ ファイン L サイズ (3:2)：3:2 / 2.5M (2.5M EZ)/ スタンダード E メール：4:3 / 0.3M (0.3M EZ)/ スタンダード
AF モード（P85）	1 点
AF 補助光（P86）	ON
測光モード（P84）	評価測光

- かんたんモードでは、以下の機能が使えません。
  - ・ハイアングルモード
  - ・ホワイトバランス微調整
  - ・露出補正
  - ・フラッシュ発光量調整
  - ・オートブラケット
  - ・音声記録
  - ・デジタルズーム
  - ・カラーエフェクト
  - ・画質調整
  - ・AF 連続動作
  - ・ハイライト表示
  - ・モニター優先
  - ・画面外表示
  - ・撮影ガイドライン
- かんたんモードでは、以下の設定ができません。
  - ・トラベル日付
  - ・コンバージョン

基本

■ かんたんモード時のピントの合う範囲

- EX 光学ズーム時は、ズーム倍率値が変わります。
- テレマクロについては、53 ページをお読みください。

■ **逆光補正機能**

逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。
このとき、人物など被写体が暗く写ります。
▲を押すと、[ ]（逆光補正オン表示）が表示され、逆光補正が働きます。画像全体を明るくすることにより、逆光を補正します。

- [ ]が表示されているときに▲を押すと、[ ] が消え、逆光補正が解除されます。
- 逆光補正機能使用時は、フラッシュを使用することをおすすめします。（フラッシュを使用するときは、強制発光 [ ] になります）
- 逆光補正がオフのときに、フラッシュを使用する場合は、赤目軽減オート[ ]になります。

ズームについて

つづく

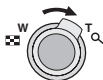
光学ズームで撮る

モードダイヤル設定：P A S M [マクロ] [動画] SCN [ハート]

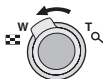
光学ズーム 12 倍までの範囲で、人や物を大きく撮ったり風景などを広角に撮ることができます。

■ 大きく(望遠)撮る

ズームレバーを T 側へ回す

記録画素数[6M](6M) 設定時

■ 広く(広角)撮る

ズームレバーを W 側へ回す

記録画素数[6M](6M) 設定時

- 電源 [ON] 時は W 端（1 倍）です。
- 画像はズーム倍率によってわずかにゆがんで撮影されます。これをディストーション（歪曲収差）といいます。広角にして被写体に近づいて撮影するほどディストーションは大きくなります。
- 画像はズーム倍率によって被写体の輪郭などにわずかに着色して撮影されることがあります。これを色収差といいます。望遠にしたときに色収差は目立つことがあります。
- ピントを合わせたあと、ズーム操作をした場合は、もう一度ピントを合わせ直してください。
- ズーム倍率はめやすです。
- ズーム位置によって、レンズ鏡筒(P10)が伸び縮みします。ズーム中に、レンズ鏡筒の動きを妨げないようにお気をつけください。
- 動画撮影モード [動画] 時は、撮影を開始したときのズーム倍率に固定されます。
- **ズームレバーを操作すると、多少音がしたり振動したりしますが、故障ではありません。**

EX 光学ズーム(EZ)で撮る

モードダイヤル設定：P A S M [マクロ] SCN [ハート]

通常、光学ズームを使うと 12 倍まで望遠で撮影できますが、各アスペクト(4:3 / 3:2 / 16:9) で最大記録画素数以外の記録画素数に設定すると、画質を劣化させずにズーム倍率を 16.5 倍まで拡大できます。

EX光学ズームが
働かない記録画素数
例：[6M](6M)

12倍

1倍

EX光学ズームが
働く記録画素数
例：[3M](3M EZ)

16.5倍

■ EX 光学ズームの仕組み

例えば [3M]（3M EZ）（300 万画素相当）に設定すると、CCD の持つ 6M（600 万画素相当）の領域のうち、3M（300 万画素相当）分の中央部を切り取って撮影するので、より望遠効果の高い写真が撮影できます。

■ 記録画素数と最大ズーム倍率

アスペクト設定	記録画素数	最大ズーム倍率	EX 光学ズーム
4:3	[6M] / [■] (6M)	12倍	×
3:2	[5M] (5M)		
16:9	[4.5M] (4.5M)		
4:3	[4M] (4M EZ)	14.7 倍	○
4:3	[3M] (3M EZ) [2M] (2M EZ) [1M] (1M EZ) [0.3M] / [■] (0.3M EZ)	16.5 倍	
3:2	[2.5M] / [■] (2.5M EZ)		
16:9	[2M] (2M EZ)		

- アスペクト設定については 81 ページ、記録画素数については 31 ページ、82 ページをお読みください。
- EZ とは「Ex. optical Zoom」の略で、EX 光学ズームを表します。
- EX 光学ズームは、デジタルズームより画質の劣化を気にすることなく、ズーム倍率を拡大することができます。
- EX光学ズームが働く記録画素数では、ズーム操作をすると、画面に [EZ] が表示されます。
- EX 光学ズーム時、W 端付近ではズームの動きが早くなります。
- EX光学ズーム時T端付近でズームレバーを動かすと、ズーム倍率の数字が連続して変化しないことがありますが、故障ではありません。
- ズーム倍率はめやすです。
- 以下の場合、EX光学ズームは働きません。
  - ・動画撮影モード [動画]
  - ・シーンモードの高感度モード

デジタルズームで撮る　さらに拡大する

モードダイヤル設定：P A S M 🌷 🎞 SCN

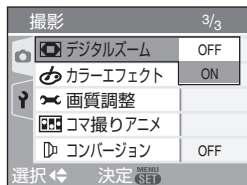
撮影メニューで［デジタルズーム］を [ON] に設定すると、光学 12 倍、デジタル 4 倍の最大 48 倍まで、また EX 光学ズームが働く記録画素数では（P82）、EX 光学 16.5 倍、デジタル 4 倍の最大 66 倍まで拡大が可能になります。

■ メニュー操作について

1 [MENU/SET] ボタンを押す

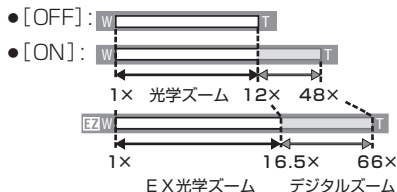
- シーンモード時は、シーンモードメニュー画面（P60）で ◀ を押し、▼ で撮影メニューアイコン［📷］を選んで、▶ を押してください。

2 ▲/▼ で［デジタルズーム］を選び、▶ を押す

3 ▼ で [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 [MENU/SET]ボタンを押してメニューを終了する

- **シャッターボタン半押しでも終了できます。**

■ デジタルズーム領域に入るには

光学ズームの最も望遠側まで拡大すると、一度ズーム表示のバーが停止します。その状態でズームレバーを T 側に回し続けるか、一度ズームレバーを離してもう一度ズームレバーを T 側に回すと、デジタルズーム領域に入ることができます。

- デジタルズーム領域では、通常よりも大きな中央 1 点の AF エリアが表示されます。（P85）
- デジタルズームは拡大するほど画質が劣化します。
- デジタルズーム領域では、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー（P48）を使って撮影することをおすすめします。
- ズーム倍率はめやすです。
- 以下の場合、デジタルズームが一時的に [OFF] になります。
  - ・撮影メニューの [コンバージョン] を [W] 設定しているとき（P90）
- 以下の場合、デジタルズームは働きません。
  - ・かんたんモード [♥]
  - ・シーンモードの高感度モード

撮影した画像を確認する（レビュー）

モードダイヤル設定：P A S M [マクロ] SCN [ハート]

撮影モードのままで撮影した画像を確認できます。

1 ▼(REV) を押す

- 最後に撮影した画像が約 10 秒間表示されます。
- シャッターボタンを半押し、または再度▼(REV)を押すとレビューが解除されます。
- ◀/▶ を押すと前後の画像を確認することができます。
- 撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎたりしたときは、露出を補正して撮影してください。（P49）

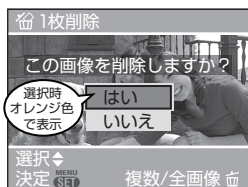
2 ズームレバーを [Q] (T) 側に回して画像を拡大する

- ズームレバーを［Q］（T）側に回すと 4 倍に、さらに回すと 8 倍になります。拡大したあと、ズームレバーを［⊞］（W）側に回すと、倍率が小さくなります。

3 ▲/▼/◀/▶ で位置を移動させる

- 倍率を変えたり、表示する位置を移動させると、約 1 秒間ズーム位置表示が表示され、拡大部分の位置を確認することができます。

■ 撮影した画像をレビュー中に削除する（クイック削除）

❶ [🗑] ボタンを押す
❷ ▲ で［はい］を選ぶ
❸ [MENU/SET] ボタンを押す

- 画像は一度削除すると元に戻すことができません。よく確認してから削除してください。
- 複数・全画像削除もできます。削除の方法については 38 ページをお読みください。

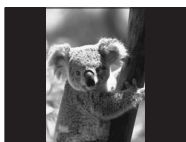
画像を再生する（▶：再生モード）

モードダイヤルを ▶ に合わせてください。

◀/▶ で画像を送る

または

◀：前の画像へ　　▶：次の画像へ

- 最後に撮影した画像の次は、最初の画像になります。
- [回転表示] を [ON] にしている場合、本機を縦に構えて撮影した画像は縦で再生されます。（P96）

■ 早送り / 早戻しをする

再生中に ◀/▶ を押したままにする

または

◀：早戻し　　▶：早送り

- ファイル番号と画像番号のみが1枚ずつ更新されます。再生したい画像の番号が表示されたときに ◀/▶ を離すと、その番号の画像が表示されます。
- しばらく ◀/▶ を押したままにすると、一度に更新される画像の枚数が増加します。（記録枚数によって更新される枚数は異なります）
- 撮影モード時のレビュー再生や、マルチ再生（P73）では、1 枚ずつしか早送り / 早戻しはできません。

- 本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）に準拠しています。
- 本機で再生できるファイル形式はJPEG です。（JPEG 形式でも再生できないものもあります）
- 本機の液晶モニターでは、撮影画像の細部を表示できない場合があります。再生ズーム（P75）を使うことにより、画像の細部も確認できます。
- 他機で撮影された静止画を再生すると、再生される画像の画質が劣化して表示される場合があります。（画面上に「サムネイル表示」と表示されます）
- パソコンでフォルダー名やファイル名を変更すると再生できない場合があります。
- 規格外のファイルを再生したときは、フォルダー･ファイル番号が [—] で表示され、画面が黒くなる場合があります。

画像を削除する

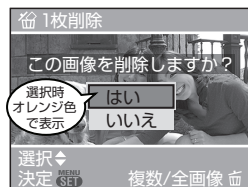
モードダイヤルを [▶] に合わせてください。

■ 1 枚削除

1 ◀/▶ で画像を選ぶ

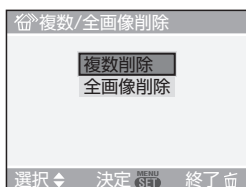
◀ : 前の画像へ　　▶ : 次の画像へ

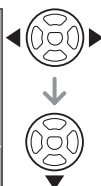
2 [🗑] ボタンを押す

3 ▲ で［はい］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 画像削除中は、画面に [🗑] が表示されます。

■ 複数/全画像削除

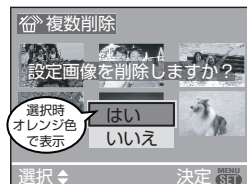
1 [🗑] ボタンを 2 回押す

2 ▲/▼ で［複数削除］または［全画像削除］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [複数削除] を選んだ場合は、39 ページ **3** から操作をしてください。
- ［全画像削除］を選んだ場合は、39 ページ **5** から操作をしてください。
- [お気に入り] (P95) を [ON] に設定しているときは、[★以外全削除] が表示されます。
  [★以外全削除］を選んだ場合は、39 ページ **5** から操作をしてください。（ただし、[お気に入り] を [ON] に設定していても、[★] の付いた画像が 1 枚もない場合は、[★以外全削除] を選択できません）

3 ◀/▶ で画像を選び、▼ で設定する（[複数削除] 選択時のみ）

- この手順を繰り返します。
- 設定した画像に［🗑］が表示されます。もう一度 ▼ を押すと設定が解除されます。
- プロテクトされていると、設定した画像に[🔑]アイコンが赤く点滅し、画像削除できません。プロテクト設定を解除してから削除してください。(P100)

4 [🗑] ボタンを押す

5 ▲ で［はい］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

（[複数削除] 選択時の画面）

- [全画像削除]の場合、「全ての画像を削除しますか？」、[★以外全削除]の場合、[★以外の全ての画像を削除しますか？] とメッセージが表示されます。
- [全画像削除]または[★以外全削除]中に[MENU/SET]ボタンを押すと、途中で削除が中止されます。

- 画像は一度削除すると元に戻すことができません。よく確認してから削除してください。
- 削除中は電源を[OFF]にしないでください。
- 削除するときは、十分に充電されたバッテリー(P13) または AC アダプター(別売：DMW-AC7) を使用してください。
- [複数削除]で一度に削除できるのは50枚までです。
- 枚数が多ければ多いほど、削除するのに時間がかかります。
- 以下の場合は、[全画像削除]または[★以外全削除] をしても削除されません。
  - ・SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしている場合 (P16)
  - ・DCF 規格外のファイル (P37)
  - ・プロテクト [🔑] された画像 (P100)

液晶モニター/ファインダーの表示を切り換える

表示情報を切り換える

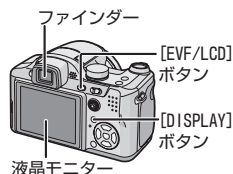
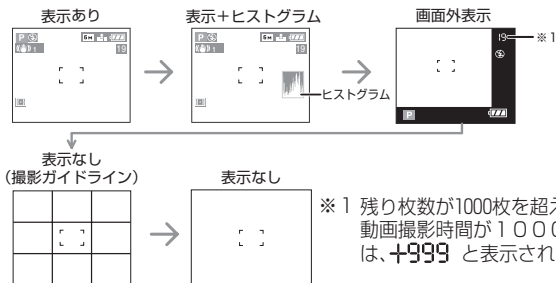
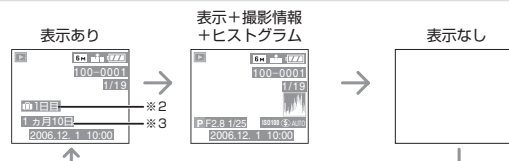
液晶モニターとファインダーを切り換える

[EVF/LCD] ボタンを押して切り換えてください。

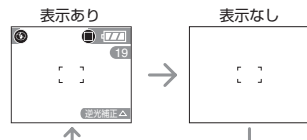
- 液晶モニターが点灯しているときは、ファインダーは消灯し、ファインダーが点灯しているときは、液晶モニターは消灯します。

表示を切り換える

[DISPLAY] ボタンを押して切り換えてください。

- メニュー画面表示時は [DISPLAY] ボタンは働きません。再生ズーム時（P75）および動画再生中（P76）、スライドショー実行中（P94）は、表示ありと表示なしの切り換えになります。

※1 残り枚数が1000枚を超える場合または動画撮影時間が１０００秒を超える場合は、+999 と表示されます。

※２ トラベル日付（P69）を設定している場合は、経過日数が表示されます。

※３ シーンモードの赤ちゃんモード（P66）で誕生日設定をし、月齢/年齢ありで撮影した場合に表示されます。

かんたんモード[♥]時

- シーンモードの夜景 & 人物（P62）、夜景（P63）、花火（P65）、星空（P66）では、ラインはグレーで表示されます。

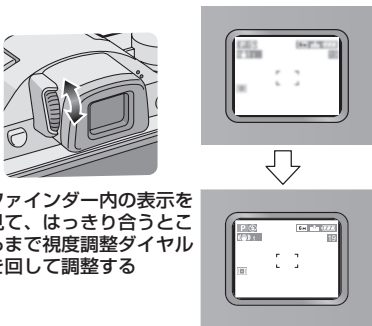
つづく

■ 画面外表示について

撮影画面の外部に撮影情報が表示されますので、露出情報などにより画面をさえぎられることなく、被写体に集中して撮影することができます。

■ 視度調整について

使う前に、視力に合わせてファインダー内の表示がよく見えるようにします。

- [EVF/LCD]ボタンを押してファインダーを表示させておく。

ファインダー内の表示を見て、はっきり合うところまで視度調整ダイヤルを回して調整する

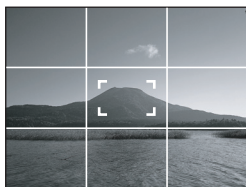
■ モニター優先について

セットアップメニューの［モニター優先］(P22) を [ON] に設定すると、以下のような場合に液晶モニターが点灯します。

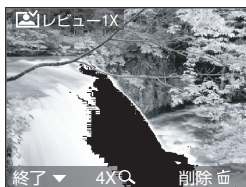
ファインダーを点灯させて撮影したときでも液晶モニターに切り換える手間がなくなります。

- 撮影モードから再生モードに切り換えたとき
- レビューしたとき（P36）
- 再生モードで電源を入れたとき

■ 撮影ガイドラインについて

被写体を縦横の交点上やライン上に配置すると、被写体の大きさや傾き、バランスを見ながら、意図的な構図で撮影することができます。

■ ハイライト表示について

セットアップメニューの［ハイライト表示］(P24) を [ON] に設定すると、オートレビューまたはレビュー時に、白とびの起こっている部分（極端に明るい場所、光っている場所など）を黒と白の点滅で表示します。

ハイライト表示なし

ハイライト表示あり

- ヒストグラムを参考に、露出をマイナス方向に補正して再度撮影すると良い結果が得られます。

■ ヒストグラムについて

ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。
撮影した画像のヒストグラムの形状（グラフの分布）を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。

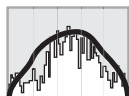
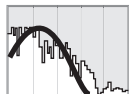
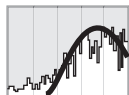
❶ 中央を中心とした山になっている場合は、暗い部分、中間調、明るい部分がバランスよく分布し、撮影するのに適した画像となります。

❷ 極端に左に寄っている場合は、暗い部分が多すぎる露出アンダー気味の画像となります。夜景など黒いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。

❸ 極端に右に寄っている場合は、明るい部分が多すぎる露出オーバー気味の画像となります。白いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。

ヒストグラムの表示例

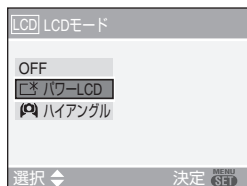
❶ 適正な明るさの画像

❷ 暗い画像

❸ 明るい画像

- **撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合はヒストグラムがオレンジ色で表示されます。**
  - フラッシュが発光するとき
  - フラッシュが閉じているとき
    - 暗いところで、液晶モニター / ファインダーの明るさが正確に表示できないとき
    - 適正露出にならないとき
- 撮影時のヒストグラムはめやすです。
- 撮影時と再生時に表示されるヒストグラムは一致しない場合があります。
- パソコンの画像編集ソフトなどで表示されるヒストグラムとは一致しません。
- 白とびは、オートレビューまたはレビュー時のハイライト表示で確認してください。（P41）
- 以下の場合、ヒストグラムは表示されません。
  - ・かんたんモード [♥]
  - ・動画撮影モード [🎞]
  - ・マルチ再生時
  - ・再生ズーム時

液晶モニターの画面を見やすくする(パワーLCD 機能)/(ハイアングルモード)

モードダイヤル設定：P A S M [マクロ] [動画] SCN [かんたん]

1 [LCD MODE] ボタンを 1 秒間押す

2 ▲/▼ でモードを選ぶ

項目	設定内容
[パワーLCDアイコン]：パワーLCD	撮影モード時、液晶モニターの画面が通常より明るくなり、屋外でも見やすくなります。
[ハイアングルアイコン]：ハイアングル	高い位置から撮影するときに液晶モニターを見やすくします。前に人がいて、被写体に近づけないときなどに便利です。(ただし、正面から見ると見にくくなります)
OFF	液晶モニターの画面を通常の明るさに戻します。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

- アイコンが表示されます。

パワーLCDモード ：[パワーLCDアイコン]
ハイアングルモード：[ハイアングルアイコン]

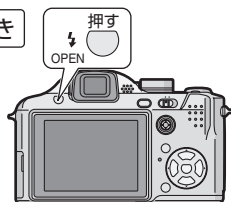
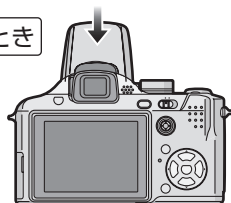
■ ハイアングルモードまたはパワーLCD を解除するには

[LCD MODE] ボタンを再度 1 秒間押したままにすると、**2**の画面になります。パワー LCD またはハイアングルモードを解除するときは [OFF] に設定してください。

- パワー LCD またはハイアングルモードは、液晶モニターに表示される画像の明るさを強調しています。被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
- パワーLCD の液晶モニターの画面は、撮影時、30 秒が経過すると、自動的に通常の明るさに戻ります。いずれかのボタンを押すと、再び明るく点灯します。
- 太陽光などが液晶モニターに反射して画面が見えにくい場合、ハイアングルモードの効果がわからないことがあります。この場合は、太陽光を手などでさえぎってご使用いただくことをおすすめします。
- 以下の場合、ハイアングルモードは働きません。
  - ・かんたんモード [❤]
  - ・再生モード
  - ・メニュー画面表示中
  - ・レビュー画面表示中

フラッシュを使って撮る

モードダイヤル設定：P A S M [マクロ] SCN [ハート]

■ フラッシュを開く / 閉じる

カチッと音がするまで押す

- 使わないときは、フラッシュは必ず閉じておいてください。
- フラッシュが閉じているときは、発光禁止 [発光禁止] に固定されます。

■ フラッシュ設定を切り換える

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

▶(ϟ) を押して、フラッシュ設定を切り換える

- 選択できるフラッシュ設定については、45 ページの「撮影モード別フラッシュ設定」をご覧ください。

項目	設定内容
ϟA： **オート**	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
ϟA◎： **赤目軽減オート**※ **(白色)**	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。人の瞳が赤く写る (赤目現象) のをおさえるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。 ● **暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。**
ϟ： **強制発光** ϟ◎： **赤目軽減強制発光**※	フラッシュを強制的に発光させます。 ● **逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。** ● **シーンモードのパーティー (P64)、キャンドル (P65) 時のみ、赤目軽減強制発光になります。**
ϟS◎： **赤目軽減スローシンクロ**※ **(オレンジ色)**	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。同時に赤目現象をおさえます。 ● **夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。**
[発光禁止]： **発光禁止**	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ● **フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。**

※フラッシュが 2 回発光します。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

つづく

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。
（○：設定可、×：設定不可）

	⚡A	⚡A◎	⚡	⚡S◎	⚡◎	⊘
P	○	○	○	○	×	○
A	○	○	○	○	×	○
S	○	○	○	×	×	○
M	○	○	○	×	×	○
	○	○	○	○	×	○
	×	×	×	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	×	×	×	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	×	×	×	○	×	○
	×	×	×	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	○	×	○	×	×	○
	×	×	×	○	○	○
	×	×	×	○	○	○
	×	×	×	×	×	○
	×	×	×	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	○	○	○	×	×	○
	○	×	○	×	×	○
	○	○	○	○	×	○
	×	○※	×※	×	×	○

※逆光補正オン時は強制発光［⚡］になります。

■ フラッシュで撮影できる範囲

フラッシュで撮影できる範囲は、ISO感度の設定によって異なります。

ISO 感度	フラッシュ撮影可能範囲	
	W 端時	T 端時
AUTO	約 30 cm ～ 約 6.0 m	約 30 cm ～ 約 5.4m
ISO80	約 30 cm ～ 約 2.7 m	約 30 cm ～ 約 2.4 m
ISO100	約 30 cm ～ 約 3.0 m	約 30 cm ～ 約 2.7 m
ISO200	約 40 cm ～ 約 4.2 m	約 40 cm ～ 約 3.8 m
ISO400	約 60 cm ～ 約 6.0 m	約 60 cm ～ 約 5.4 m

- シーンモードの高感度モード（P68）では、[AUTO]、[ISO800]、[ISO1600] から選択でき、撮影可能範囲も異なります。
  W 端時： 約 80 cm ～約 6.0 m
  T 端時： 約 80 cm ～約 5.4 m
- ISO感度については81 ページをお読みください。
- ピントが合う範囲については29 ページをお読みください。
- フラッシュ使用時はISO感度を[AUTO]に設定すると、自動的に最大 [ISO400] まで高くしていきます。
- ノイズが気になるときは、ISO 感度を低くするか、[画質調整] の [ノイズリダクション] を [高] にするか、[ノイズリダクション] 以外の各項目を [低] にして撮影することをおすすめします。(P87)
- 動画撮影モード[ ](P71)、シーンモードの風景（P62）、夜景（P63）、花火（P65)、星空（P66）のときは、フラッシュを開けていても発光禁止 [⊘] に固定されます。

応用・撮る

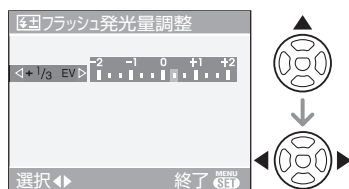
■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡A ：オート	1/30～1/2000秒
⚡A👁 ：赤目軽減オート	1/30～1/2000秒
⚡ ：強制発光 ⚡👁 ：赤目軽減強制発光	1/30～1/2000秒
⚡S👁 ：赤目軽減スローシンクロ	1 ～ 1/2000 秒
⊘ ：発光禁止	1 ～ 1/2000 秒 （プログラムAEモード時）

- 絞り優先 AE、シャッター優先 AE、マニュアル露出については、57 ページをお読みください。
- シーンモードでは、上記設定と異なる場合があります。
  ・夜景モード（P63）: 8 ～ 1/2000 秒
  ・花火モード（P65）: 1/4 秒、2秒
  ・星空モード（P66）: 15秒、30秒、60秒

■ フラッシュの発光量を調整する

被写体が小さい、反射率が極端に高い、低いときは、フラッシュの発光量を調整してください。

1 ▲(⊠) ボタンを数回押し、[⚡± フラッシュ発光量調整] を表示させ、◀/▶ でフラッシュの発光量を決める

- フラッシュ発光量を調整しない場合は、0を選んでください。

2 [MENU/SET]ボタンを押して終了する

- −2 EVから+2 EVの範囲で1/3 EVごとに調整できます。
- フラッシュ発光量が調整されているときは、画面左上にフラッシュ発光量調整値が表示されます。
- 設定したフラッシュ発光量は、電源を[OFF] にしても記憶しています。
- 以下の場合、フラッシュ発光量調整はできません。
  ・かんたんモード [❤]
  ・動画モード [🎞]
  ・シーンモードの風景、夜景、花火、星空

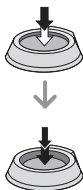
- **フラッシュが発光中に至近距離(数 cm)でフラッシュ発光部を直接見ないでください。**
- **フラッシュに物を近づけたり、発光中にフラッシュを閉じないでください。熱や光で変形、変色する場合があります。**
- **フラッシュ発光部を指などでふさがないでください。**
- フラッシュが発光する場合、シャッターボタンを半押ししたときにフラッシュマークが赤に変わります。
- 手ブレ警告表示が出ているときは、三脚の使用をおすすめします。
- フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、適正露出にならず、白っぽく撮れる場合や暗くなる場合があります。
- フラッシュ撮影すると、フラッシュ光に適したホワイトバランスが自動的に設定されますが [☼(晴天)、⚡WB(フラッシュ)は除く]、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。(P78)
- シャッタースピードが速い場合は、フラッシュの効果が十分に得られない場合があります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュが発光しても撮影できない場合があります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- フラッシュ充電中は、フラッシュマークが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- **レンズフードが付いた状態でフラッシュ撮影すると、フラッシュの光がフードでさえぎられることがあります。**
- 赤目軽減オートなどの予備発光の直後にフラッシュを閉じないでください。故障の原因となります。
- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。
- コンバージョンレンズ(別売)使用時は、フラッシュは発光禁止 [⊘] に固定されます。
- 連写およびオートブラケット設定時でフラッシュが発光する場合、1枚しか撮影できません。

セルフタイマーを使って撮る

モードダイヤル設定：P A S M 🌷 SCN ♥

1 ◀(セルフタイマー)を押して、セルフタイマーを切り換える

(10秒) ⇨ (2秒)
表示なし(解除)

2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- セルフタイマーランプが点滅し、10秒（または2秒）後に撮影動作が開始されます。

- セルフタイマー動作中に[MENU/SET]ボタンを押すと、セルフタイマー設定が解除されます。

- セルフタイマーを2秒に設定すると、三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。
- 一度に全押しすると、撮影直前にピントを自動的に合わせます。このとき、暗い場所ではセルフタイマーランプが点滅したあと、ピント合わせのためにAF補助光（P86）として明るく点灯することがあります。
- かんたんモード[♥]時は、セルフタイマーが10秒に固定されます。
- 連写のときにセルフタイマーを設定すると、10秒または2秒後に連写を行います。連写枚数は3枚に固定されます。
- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。（三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください）

露出を補正して撮る

モードダイヤル設定：P A S 🌷 🎞 SCN

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

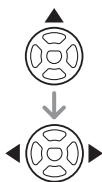
露出オーバー

露出をマイナス方向に補正してください。

適正露出

露出をプラス方向に補正してください。

露出アンダー

1 ▲(☒) を押し、[☒ 露出補正] を表示させ、◀/▶ で露出を補正する

- −2 EV から +2 EV の範囲で 1/3 EV ごとに補正できます。
- 露出を補正しない場合は、0 EV を選んでください。

2 [MENU/SET]ボタンを押して終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

- EV とは「Exposure Value」の略で、露出量を表す単位です。絞り値またはシャッタースピードが変化するとEVが変化します。
- 露出補正値は、画面左下に表示されます。
- 設定した露出補正量は、電源を [OFF] にしても記憶しています。
- 被写体の明るさによっては、露出補正できない範囲があります。
- シーンモードの星空モードでは露出補正できません。

露出を自動的に変えながら撮る
（オートブラケット撮影）

モードダイヤル設定：P A S M ✿ SCN

1 回シャッターボタンを押すと、露出の補正幅に従って自動的に 3 枚撮影します。露出が異なる 3 枚の画像の中からお好きな露出の画像を選ぶことができます。

オートブラケット ± 1 EVの場合

±0 EV

1枚目

－1 EV

2枚目

＋1 EV

3枚目

1 ▲( ) を数回押し、[オートブラケット] を表示させ、◀/▶で露出の補正幅を設定する

- 0 (OFF) 、±1/3 EV、±2/3 EV、±1 EV から選択できます。
- オートブラケット撮影をしない場合は、0 (OFF) を選んでください。

2 [MENU/SET] ボタンを押して終了する

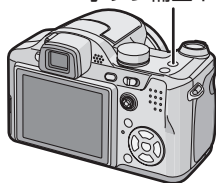
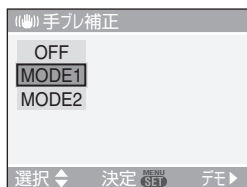
- **シャッターボタン半押しでも終了できます。**

- オートブラケットを設定すると、画面に [ ] が表示されます。
- 露出補正をしてからオートブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。露出が補正されているときは、画面左下に露出補正値が表示されます。
- 電源を[OFF]にするとオートブラケットの設定が解除されます。
- 連写とオートブラケットが同時に選ばれている場合は、オートブラケットが優先されます。
- オートブラケットを設定すると、オートレビューの設定に関わらずオートレビューされます。（拡大はされません）セットアップメニューでオートレビューの設定はできません。
- オートブラケットを設定すると、音声付き静止画を撮影できません。
- 被写体の明るさによっては、オートブラケットで露出補正できない場合があります。
- クオリティを [TIFF] に設定すると、オートブラケット撮影できません。
- シャッター優先 AE またはマニュアル露出時は、シャッタースピードが 1 秒より長くなると、オートブラケットが無効になります。
- フラッシュが発光するときや記録可能枚数が 2 枚以下のときは、1 枚しか撮影できません。
- シーンモードの星空モードでは、オートブラケットの設定ができません。

手ブレを補正して撮る

モードダイヤル設定：P A S M 🌷 🎞 SCN

手ブレを感知して補正します。

1 手ブレ補正モード選択メニューが表示されるまで、手ブレ補正ボタンを押したままにする

2 ▲/▼ で手ブレ補正モードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[MODE1] ((✋))1 :
撮影モード時、常に手ブレを補正します。望遠などで構図を決めて撮影するときに安定して撮ることができます。

[MODE2] ((✋))2 :
シャッターボタンを押すと手ブレを補正します。より高い補正効果が得られます。

[OFF] ((✋))OFF :
意図的にブレのある画像を撮影したいときなどに設定します。

■ 手ブレ補正デモについて（デモンストレーション）

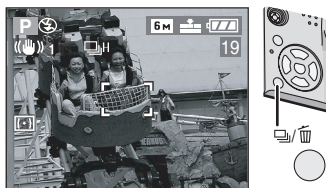
▶ を押すと、手ブレ補正デモが表示され、終了すると手ブレ補正モード選択メニューに戻ります。途中で終了する場合は、▶ を押してください。
手ブレ補正デモ表示中は、W 端（1 倍）に固定され、ズーム操作はできません。
また、撮影もできません。

- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
  - ・手ブレが大きいとき
  - ・ズーム倍率が高いとき
  - ・デジタルズーム領域
  - ・動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  - ・室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき

  シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
- かんたんモード［♥］では［MODE1］、シーンモードの星空モード（P66）では［OFF］に固定され、手ブレ補正モード選択メニューは表示されません。
- 以下の場合は、[MODE2] に設定できません。
  - ・動画撮影モード［🎞］
  - ・シーンモードの流し撮りモード

連写する

モードダイヤル設定：P A S M [マクロ] SCN [かんたん]

1 単写・連写切換ボタンを押して、連写設定を切り換える

2 撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。

■ 連写枚数

		H (高速)	L (低速)	∞ (フリー)
連写速度		3 コマ / 秒※	2 コマ / 秒※	約 2 コマ / 秒
連写枚数	ファイン	最大 7 コマ	最大 7 コマ	カードの空き容量による
	スタンダード	最大 13 コマ	最大 13 コマ	カードの空き容量による

※カードの転送速度に関係なく、連写速度は一定です。

- 上記の連写速度は、シャッタースピードが 1/60 より速く、フラッシュを発光させないときの値です。

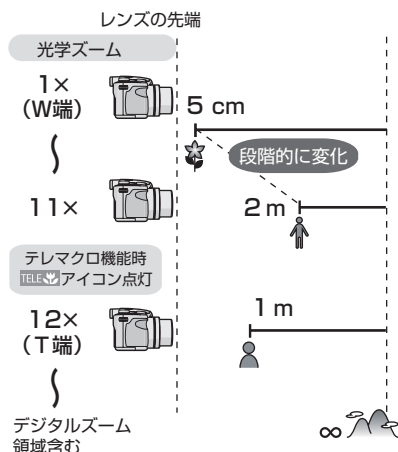
- かんたんモード[♥]時は、以下の設定になります。このとき、画面に [連写] が表示されます。(P120)
  - ・引き伸ばし：低速 [L]/ 最大 7 コマ
  - ・L サイズ（3:2）/ E メール：低速 [L]/ 最大 13 コマ

- **フリー連写について**
  - ・カードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。
  - ・途中から連写速度が遅くなります。遅くなるタイミングは記録画素数やカードによって異なります。
- ピントは 1 枚目で固定されます。
- 露出、ホワイトバランスは、連写設定によって変わります。高速 [H] 設定時は、最初の 1 枚に対する設定に固定されます。低速 [L] およびフリー [∞] 設定時は、1 枚ごとに露出、ホワイトバランスを調整します。
- セルフタイマー使用時の連写枚数は、3 枚に固定されます。
- 連写設定は、電源を [OFF] にしても記憶しています。
- 連写とオートブラケットが同時に選ばれている場合は、オートブラケットが優先されます。
- 連写を設定すると、オートレビューの設定に関わらずオートレビューされます。（拡大はされません）セットアップメニューでオートレビューの設定はできません。
- 連写設定していると、音声付き静止画を撮影できません。
- フラッシュが発光するときは、1 枚しか撮影できません。
- クオリティが [TIFF] またはシーンモードの星空モードでは連写設定できません。

接近して撮る（:マクロモード）

モードダイヤルを に合わせてください。

花などをアップにして撮りたいときに合わせてください。ズームをもっとも広角（W 端）にすると、レンズから 5 cm まで接近して撮影できます。
望遠側にズームすると、接近できる距離は段階的に変化し、近接して撮影できる距離は最大 2 m になります。（11 倍時）

■ ピントの合う範囲

- EX 光学ズーム時は、ズーム倍率値が変わります。

■ テレマクロ機能

もっとも望遠（T 端）にすると、レンズから 1 m まで接近して撮影できます。（画面に[TELE]アイコンが表示されます）地面近くに咲いている花などを、立ったまま大きく撮影したり、近づくと逃げる可能性のある昆虫などを少し離れた位置から大きく撮影したりするのに便利です。

- 三脚を使用し、セルフタイマー（P48）を使って撮影することをおすすめします。
- 被写体が近い場合は、ピントの合っている範囲（被写界深度）が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
- テレマクロモード時は、被写界深度が極端に狭くなり手ブレが起こりやすくなります。三脚が使用できない場合は、被写界深度の確保と手ブレ補正性能の確保のために、絞り値が F4.0 以上、シャッタースピードが 1/125 秒以上となるような明るさでの撮影をおすすめします。
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- マクロモード時は近距離側を優先するため、被写体が 1 m 以上離れている場合は、プログラム AE モード [P] 時よりピントが合うのに時間がかかります。
- フラッシュで撮影できる範囲は、約 30 cm ～約 6.0 m です。（W 端、[ISO AUTO] 設定時）近距離を撮影する場合は、フラッシュを発光禁止 [ ] にすることをおすすめします。
- テレマクロ機能を使って光学 12 倍ズーム時に2 m より近い距離にピントを合わせたあと、ズームを 11 倍以下の倍率方向に動かすと、ピントが合っていない状態になります。その場合は再度シャッターボタンを半押しするなどしてピントを合わせ直してください。
- 近距離を撮影する場合は、画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。

絞り / シャッタースピードを決めて撮る (A：絞り優先 AE/S：シャッター優先 AE)

モードダイヤルを A に合わせてください。

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

1 ジョイスティックの ▲/▼ で絞り値を設定する

2 撮影する

モードダイヤルを S に合わせてください。

動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

1 ジョイスティックの ▲/▼ でシャッタースピードを設定する

2 撮影する

- 設定可能な絞り値とシャッタースピードについては、57 ページをお読みください。
- 液晶モニター / ファインダーの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。レビューまたは再生モードで確認してください。
- ISO感度の[AUTO]の設定はできません。([AUTO]から絞り優先AEまたはシャッター優先 AE に切り換えた場合は、自動的に [ISO100] になります)
- シャッター優先 AE のときは、赤目軽減スローシンクロ [⚡S◎] の設定はできません。
- 明るすぎる、暗すぎるなど、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
- 絞り優先 AE のとき、明るすぎる場合は絞り値を大きくし、暗すぎる場合は絞り値を小さくしてください。
- シャッタースピードが遅いときは、三脚を使うことをおすすめします。

手動で露出を合わせて撮る（M：マニュアル露出）

つづく

モードダイヤルを M に合わせてください。

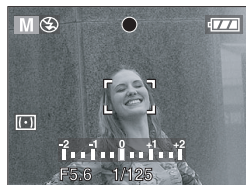
絞り値とシャッタースピードを手動で設定して露出を決定します。

1 ジョイスティックの▲/▼/◀/▶で絞り値とシャッタースピードを設定する

	絞り値とシャッタースピードを設定します。
	絞り値とシャッタースピードを切り換えます。

2 シャッターボタンを半押しする

- 露出の状態のめやすを示す、マニュアル露出アシストが約 10 秒間表示されます。
- 適正露出にならない場合は、絞り値とシャッタースピードを設定し直してください。

3 撮影する

■ マニュアル露出アシストについて

-2 -1 0 +1 +2	適正露出になります。
-2 -1 0 +1 +2	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
-2 -1 0 +1 +2	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

- マニュアル露出アシストはめやすです。レビューで確認しながら撮影することをおすすめします。

- 設定可能な絞り値とシャッタースピードについては、57 ページをお読みください。
- 液晶モニター / ファインダーの明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。レビューまたは再生モードで確認してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になります。
- マニュアル露出のとき以下の設定はできません。
  - ・フラッシュの赤目軽減スローシンクロ [⚡S◎]（P44）
  - ・ISO 感度を [AUTO] に設定（P81）（[AUTO] からマニュアル露出に切り換えた場合は、自動的に [ISO100] になります）
  - ・露出補正（P49）

シャッタースピードと絞り値について

■ シャッター優先 AE

設定可能なシャッタースピード（秒）（1/3 EV ごと）				本機で設定される絞り値
8	6	5	4	F2.8 ～ F8.0
3.2	2.5	2	1.6	
1.3	1	1/1.3	1/1.6	
1/2	1/2.5	1/3.2	1/4	
1/5	1/6	1/8	1/10	
1/13	1/15	1/20	1/25	
1/30	1/40	1/50	1/60	
1/80	1/100	1/125	1/160	
1/200	1/250	1/320	1/400	
1/500	1/640	1/800	1/1000	
1/1300				F4.0 ～ F8.0
1/1600				F5.6 ～ F8.0
1/2000				F8.0

応用・撮る

■ 絞り優先 AE

設定可能な絞り値（1/3 EV ごと）			本機で設定されるシャッタースピード（秒）
F8.0			8 ～ 1/2000
F7.1	F6.3	F5.6	8 ～ 1/1600
F5.0	F4.5	F4.0	8 ～ 1/1300
F3.6	F3.2	F2.8	8 ～ 1/1000

■ マニュアル露出

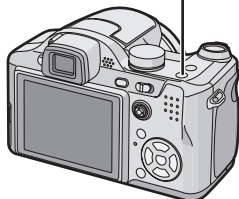
設定可能な絞り値（1/3 EV ごと）	設定可能なシャッタースピード（秒）（1/3 EV ごと）
F2.8 ～ F3.6	60 ～ 1/1000
F4.0 ～ F5.0	60 ～ 1/1300
F5.6 ～ F7.1	60 ～ 1/1600
F8.0	60 ～ 1/2000

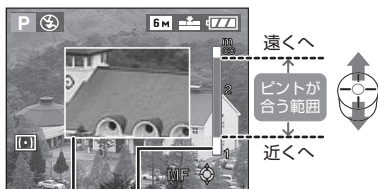
- 上記表の絞り値は、ズーム W 端時の値です。
- ズーム位置によっては、選べない絞り値があります。

手動でピントを合わせて撮る（MF: マニュアルフォーカス）

モードダイヤル設定：P A S M マクロ 動画 SCN

ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

1 AF/MF 切換ボタンを押して [MF] にする

- AF/MF 切換ボタンを押すたびに AF と MF が交互に切り換わります。

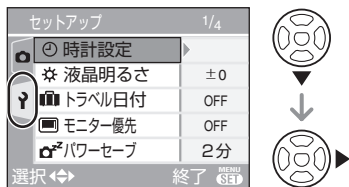
2 ジョイスティックの ▲/▼ でピントを合わせる

- ジョイスティックの操作をやめると、約 2 秒後に MF アシストは消えます。
- ジョイスティックの操作をやめると、約 5 秒後にフォーカス移動表示は消えます。

3 撮影する

■ MF アシストについて

[MF アシスト] を [MF1] または [MF2] に設定したときは、ジョイスティックを ▲/▼ に傾けると、MF アシストとして画面が拡大表示され、ピントを合わせやすくなります。

1 [MENU/SET] ボタンを押して、◀ を押す

2 ▼ でセットアップメニューアイコン［🔧］を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ で [MF アシスト] を選び、▶ を押す

4 ▲/▼ で [MF1] または [MF2] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

MENU SET

MF1	画面中央部が拡大表示されます。画面全体の構図を決めながら、ピントを合わせることができます。
MF2	画面全体が拡大表示されます。ピントの動きがわかりにくいW 端でのピント合わせに便利です。
OFF	拡大表示されません。

5 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

■ マニュアルフォーカスのテクニック

❶ ジョイスティックを ▲/▼ に傾ける
❷ さらに少し傾ける
❸ ゆっくり戻しながら微調整する

■ 置きピン

流し撮り（P63）などオートフォーカスではピントが合いにくい、動きの速い被写体を撮影する場合に、あらかじめ被写体を撮影するポイントに、ピントを合わせておくテクニックです。
運動会でゴールしてくる子供、結婚式での新郎新婦など、被写体との距離が決まっている場合の撮影に最適です。

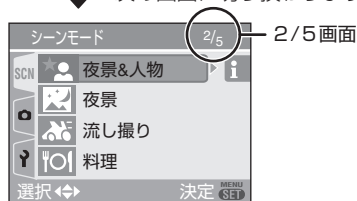
- 動画撮影モード[ ]のときも、マニュアルフォーカスで撮影できます。ただし、動画の記録中はピントは固定されます。
- 広角側でピントを合わせると、ズームを望遠側にしたときにピントが合っていない場合があります。再度、合わせ直してください。
- デジタルズーム領域では MF アシストは表示されません。
- マニュアルフォーカスの距離は、ピント位置のめやすです。表示される数値をめやすに撮影してください。
- 最終的なピントの確認は、画面 (アシスト画面）で行ってください。
- パワーセーブ解除後は、必ずピントを合わせ直してください。
- マニュアルフォーカス設定時は、AF 連続動作の設定はできません（P86）

シーンモードで撮る（SCN：シーンモード）

モードダイヤルを SCN に合わせてください。

被写体や撮影状況に合わせてシーンモードを選択すると、カメラが最適な露出や色調を設定し、シーンに合った撮影ができます。

- 各シーンモードについては 61 ～ 68 ページをお読みください。

1 ▲/▼ でシーンモードを選ぶ

- **シーンモードメニューが表示されていないときは、[MENU/SET] ボタンを押してシーンモードメニューを表示させてください。**
- ▶ を押すと、各シーンモードの説明が表示されます。（◀ を押すとシーンモードメニューに戻ります）

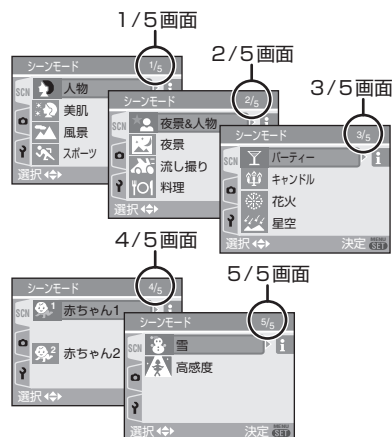
2 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 選択したシーンモードの撮影画面になります。

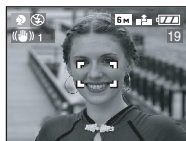
■ メニュー画面の項目について

- メニュー画面は 1/5 ～ 5/5 画面まであります。
- ズームレバーを回すと、簡単にメニュー画面を切り換えることができます。

MENU/SET を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P60)

つづく

- シーンモードで用途に合わない場面を撮影すると、画像の色合いが変わる場合があります。
- 撮影する画像の明るさを変更したいときは、露出を補正してください。(P49)（ただし、星空モードでは露出を補正できません）
- シーンモードメニュー画面で ◀ を押し、▲/▼ で撮影メニューアイコン［📷］(P77）またはセットアップメニューアイコン［🔧］(P21）を選ぶとそれぞれの設定ができます。
- シーンモード時は、カメラが自動で最適に調整するため、以下の設定はできません。
  - ・ホワイトバランス
  - ・ISO 感度（高感度モードを除く）
  - ・測光モード
  - ・カラーエフェクト
  - ・画質調整

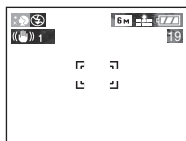
人物モード

背景をぼかし人物を引き立て、肌色を健康的に出します。

■ 撮影のテクニック

- ズームの位置はできるだけ T 側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

- 昼間の屋外での撮影に適しています。
- ISO 感度は [ISO80] に固定されます。

美肌モード

顔や肌の部分を検知し､人物モードより肌の表面を特になめらかに表現します。

■ 撮影のテクニック

- 人物の胸から上を大きく撮りたいときに効果的です。
- ズームの位置はできるだけ T 側（望遠）にし、被写体までの距離を近くにするとより効果が出ます。

- 昼間の屋外での撮影に適しています。
- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時になめらかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。
- ISO 感度は [ISO80] に固定されます。

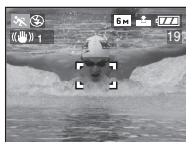
MENU SET を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P60)

風景モード

遠くにある被写体に優先的にピントを合わせ、広がりのある風景を撮影できます。

- AF/MF 切換ボタンで [AF] にしてください。
- ピントが合う範囲は 5 m ～∞です。
- フラッシュは発光禁止[ ]に固定されます。
- AF 補助光の設定は無効になります。

スポーツモード

屋外のスポーツシーンなど、動きの速い場面を撮りたいときに合わせてください。

■ **撮影のテクニック**

- 天気の良い昼間に撮影するのが効果的です。

- AF/MF 切換ボタンで [AF] にしてください。
- 5 m以上離れた昼間の屋外での撮影に適しています。

夜景 & 人物モード

フラッシュを使い、シャッタースピードを遅くすることにより、人物とともに背景も見た目に近い明るさになります。

■ **撮影のテクニック**

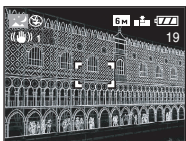
- **フラッシュをお使いください。**
- シャッタースピードが遅くなるため、三脚を使用し、セルフタイマー (P48) を使って撮影することをおすすめします。
- 被写体の人に、撮影後約 1 秒間は動かないように伝えてください。
- ズームレバーを W 端 (広角) にして、被写体から約 1.5 m ほど離れたところから撮影することをおすすめします。

- ピントが合う範囲は1.2 m～5 mです。(フラッシュの撮影可能範囲については45 ページをお読みください)
- 使わないときは、必ずフラッシュを閉じておいてください。
- 撮影後に、シャッターが閉じたまま (最大約 1 秒) になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
- フラッシュ使用時は、赤目軽減スローシンクロ[S]になり、強制発光します。
- AF 連続動作の設定は無効になります。

MENU SET を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P60)

つづく

夜景モード

シャッタースピードを遅くすることにより、夜景が鮮やかになります。

■ 撮影のテクニック

- AF/MF 切換ボタンで [AF] にしてください。
- シャッタースピードは最大約8秒になるので、三脚を使用してください。また、セルフタイマー（P48）を使って撮影することをおすすめします。

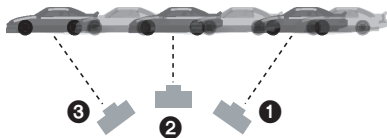
- ピントが合う範囲は 5 m ～∞です。
- 撮影後に、シャッターが閉じたまま（最大約 8 秒）になることがありますが、信号処理のためで、異常ではありません。
- 暗い場面で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
- フラッシュは発光禁止[⊛]に固定されます。
- ISO 感度は [ISO80] に固定されます。
- AF補助光とAF連続動作の設定は無効になります。

流し撮りモード

ランナーや車のように、一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて本機を振りながら撮影すると、被写体の背景が流れて写ります。この効果を「流し撮り」といいます。このモードに合わせると、流し撮りの効果を得やすくなります。

■ 流し撮りのテクニック

流し撮りを成功させる（被写体に追いついたり、ブレを防ぐ）には、テクニックが必要です。

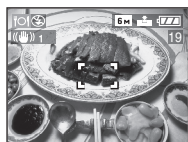
- 本機だけで追わずに、体を正面に向け、脇をしめ、腰をひねりながら体全体を使って被写体を追いかけてください。
- 被写体が正面に来たときに、シャッターボタンを押してください。シャッターボタンを押すときにも本機の振りを止めないようにしてください。

❶ ファインダーで被写体をとらえ続けるように本機を動かす
❷ 動かしながらシャッターボタンを押す
❸ 途中で止めずにそのまま本機を動かし続ける

MENU SET を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P60)

- 以下のことにもお気をつけください。
  - ・ファインダーを使う（P40）
  - ・動きの速い被写体を選ぶ
  - ・置きピン（P59）を使う
  - ・連写（P52）と合わせて撮影する（あとでよい画像を選択）

- 流し撮りモードは、背景を流れやすくするため、シャッタースピードが遅くなります。このため、手ブレが起こりやすくなります。
- 以下のような場合、流し撮りがうまくいきません。
  - ・夏の日中など、明るいところ [ND フィルター（別売：DMW-LND52）を使うことをおすすめします（P115）]
  - ・シャッタースピードが 1/100 より速い場合
  - ・被写体の動きが遅く、本機を振る速度があまりにも遅い場合（背景が流れません）
  - ・本機が被写体にうまく追いつけていない場合
- 手ブレ補正は ［MODE2］ に設定できません。[MODE1] 選択時は、流し撮りモードでは、縦方向のみ手ブレが補正されます。
- ISO 感度は [ISO80] に固定されます。
- AF補助光とAF連続動作の設定は無効になります。

料理モード

レストランなどで、周囲の光に影響されずに料理を自然な色調にします。

- ピントが合う範囲は 5 cm（W 端時）/ 2 m（T 端時）～∞です。

パーティーモード

結婚式や室内でのパーティーなどで撮影したいときに合わせてください。
フラッシュを使い、シャッタースピードを遅くすることにより、人物とともに背景も見た目に近い明るさになります。

■ **撮影のテクニック**
- **フラッシュを開いてください。**
- シャッタースピードが遅くなるため、三脚を使用し、セルフタイマー（P48）を使って撮影することをおすすめします。
- ズームレバーを W 端（広角）にして、被写体から約 1.5 m ほど離れたところから撮影することをおすすめします。

- フラッシュは、赤目軽減スローシンクロ[⚡S◎]または赤目軽減強制発光[⚡◎]に設定できます。

MENU SET を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P60)

つづく

キャンドルモード

ろうそくの光の雰囲気を生かした写真を撮影できます。

■ **撮影のテクニック**

- ろうそくの光を生かして、フラッシュを使わずに使用すると効果的です。
- 三脚を使用し、セルフタイマー (P48) を使って撮影することをおすすめします。

- ピントが合う範囲は 5 cm（W 端時）/ 2 m（T 端時）～∞です。
- フラッシュは、赤目軽減スローシンクロ [⚡S◎]または赤目軽減強制発光[⚡◎]に設定できます。

花火モード

夜空に打ち上げられる花火をきれいに撮影できます。

■ **撮影のテクニック**

打ち上げ花火のシャッターチャンスを逃さないために、次の手順で置きピン撮影することをおすすめします。

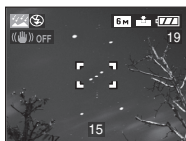
❶ 花火が上がるのと同じくらいの距離にある、遠くの明かりなどにカメラを向ける
❷ フォーカス表示 (P26) が点灯するまで、シャッターボタンを半押しする
❸ AF/MF 切換ボタンを [MF] にする (P58)
❹ 花火が打ち上げられる方向に本機を向けて待機する
❺ 花火が打ち上げられたら、シャッターボタンを全押しして撮影する

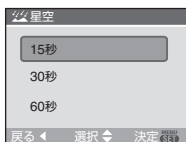
- ズーム操作をした場合は、フォーカス位置がずれるので、❷～❺の操作をやり直してください。
- 三脚を使うことをおすすめします。

- AF 時のピントが合う範囲は５ m～∞です。（上記の❶～❺の手順で置きピン撮影することをおすすめします）
- シャッタースピードは、以下のようになります。
  - ・手ブレ補正 [OFF] 設定時：２秒固定
  - ・手ブレ補正[MODE1]または[MODE2] 設定時：
    1/4 秒または２秒（シャッタースピードが２秒になるのは、三脚使用時など、ブレの量が少ないとカメラが判断したときのみです）
- ヒストグラムは、常にオレンジ色で表示されます。(P42)
- フラッシュは発光禁止 [⊛] に固定されます。
- ISO 感度は [ISO80] に固定されます。
- AF補助光とAF連続動作の設定は無効になります。

MENU/SET を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P60)

星空モード

夜景モードでも撮影できないような星空や暗い被写体を、シャッタースピードをより遅くすることによって鮮明に撮影できます。

シャッタースピードを 15 秒、30 秒、60 秒から選択します。

❶ ▲/▼ で秒数を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

❷ 撮影する

- シャッターボタンを押すとカウントダウン画面が表示されます。このとき、本機を動かさないでください。
  カウントダウンが終了すると、信号処理のために、選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。
- 撮影中に [MENU/SET] ボタンを押すと、撮影が中止されます。

■ 撮影のテクニック

- 15 秒、30 秒、60 秒間シャッターが開きます。必ず三脚を使用してください。また、セルフタイマー (P48) を使って撮影することをおすすめします。
- あらかじめピントの合いやすい被写体 (例えば、明るい星や遠くの明かり) を利用した、置きピン撮影 (P59) することをおすすめします。

- ヒストグラムは、常にオレンジ色で表示されます。(P42)
- フラッシュは発光禁止 [ ] に固定されます。
- 手ブレ補正は [OFF] に固定されます。
- ISO 感度は [ISO80] に固定されます。
- AF 連続動作の設定は無効になります。
- 星空モードでは、以下の機能が使えません。
  ・露出補正
  ・オートブラケット撮影
  ・連写
  ・音声記録

赤ちゃんモード1
赤ちゃんモード2

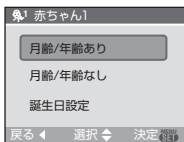
赤ちゃんの肌色を健康的に出します。フラッシュ使用時には、フラッシュの光が通常より弱めに発光します。
赤ちゃんモード1と 2 のそれぞれに、異なる誕生日を設定して使い分けることができます。

MENU SET を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P60)

つづく

- 再生時に赤ちゃんの月齢/年齢を表示できます。
- CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX（ルミックス） Simple Viewer（シンプルビューワー）」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-（フォトファンスタジオビューワー）」を使って月齢/年齢をプリントすることができます。（プリントについては、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください）

■ **月齢/年齢表示設定**

- 月齢/年齢を表示したい場合は、あらかじめ誕生日を設定しておき、[月齢/年齢あり]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す。
- 月齢/年齢を表示しない場合は、[月齢/年齢なし]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す。

■ **誕生日設定**

❶ ▲/▼で[誕生日設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

❷「赤ちゃんの誕生日を設定してください」とメッセージが表示されるので、◀/▶ で項目（年月日）を選び、▲/▼ で設定する

❸ [MENU/SET] ボタンを押して終了する

- 誕生日設定をしていないときに［月齢/年齢あり］を選んだ場合は、メッセージが表示されます。[MENU/SET]ボタンを押して上記 ❷、❸ の手順で誕生日設定をしてください。

- ピントが合う範囲は 5 cm（W 端時）/ 2 m（T 端時）～∞です。
- 赤ちゃんモードで起動時や他のモードから赤ちゃんモードへ切り換え後に約５秒間、月齢/年齢が現在日時とともに画面の下に表示されます。
- 月齢/年齢の表示は、撮影時の言語設定によって異なります。
  - ・日本語に設定しているとき
    0 ～ 11ヵ月（1 歳未満）：
    例）2ヵ月 5 日
    12ヵ月（1 歳）以上：
    例）2 歳 5ヵ月 5 日※
  - ・英語に設定しているとき
    0 ～ 23ヵ月（2 歳未満）：
    例）2 months 5 days
    24ヵ月（2 歳）以上：
    例）2 years 5 months 5 days ※

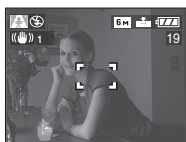
  ※ CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使って表示またはプリントした場合は、「2 歳 5ヵ月」となります。
- 生まれた日は「0ヵ月0日」と表示されます。
- 月齢/年齢が正しく表示されないときは、時計設定または誕生日設定を確認してください。
- ［月齢/年齢なし］に設定していると、時計設定、誕生日設定をしていても月齢/年齢は記録されません。撮影後に［月齢/年齢あり］に設定しても表示されません。
- 誕生日設定をリセットする場合は、セットアップメニューの［設定リセット］を行ってください。(P24)

MENU/SET を押してシーンモードメニューを表示し、シーンモードを選んでください。(P60)

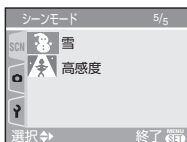
雪モード

スキー場や雪山など、雪のある場所で撮りたいときに合わせてください。白い雪を白く出すように、露出とホワイトバランスを調整します。

高感度モード

ISO感度を通常より高く設定します。室内での撮影時などに被写体ブレを軽減する効果があります。

■ **ISO 感度設定**

高感度モードではISO感度を[AUTO]、[ISO800]、[ISO1600] から選択することができます。

❶ [MENU/SET] ボタンを押して、◀を押す

❷ ▼で撮影メニューアイコン[📷]を選び▶を押す

❸ ▶を押して▲/▼で設定する

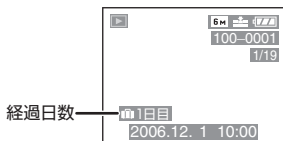
- ピントが合う範囲は 5 cm(W 端時)/2 m(T 端時)～∞になります。
- 撮影した画像が少し粗くなりますが、高感度処理のためで、異常ではありません。
- 高感度モードでは、以下の機能が使えません。
  - ・EX 光学ズーム
  - ・デジタルズーム

旅行の経過日数を記録する（：トラベル日付）

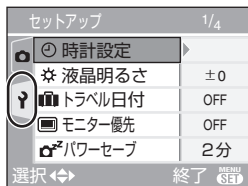
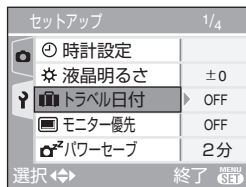
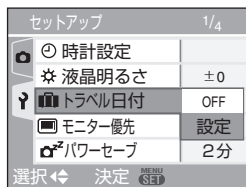
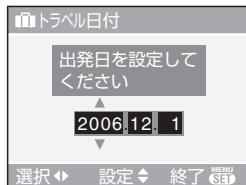
つづく

モードダイヤル設定：P A S M

旅行の出発日を設定しておくと、撮影時に旅行の何日目かを記録することができます。

設定して撮影すると、再生時、何日目に撮影されたか画像に経過日数を表示します。

- CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使って経過日数をプリントすることができます。（プリントについては、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください

1 [MENU/SET] ボタンを押して、◀ を押す

2 ▼ でセットアップメニューアイコン［］を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ で［トラベル日付］を選び、▶ を押す

4 ▼ で［設定］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5 ▲/▼/◀/▶ で日付を設定する

◀/▶：合わせたい項目を選ぶ
▲/▼：年月日を設定する

応用・撮る

6 [MENU/SET] ボタンを2回押してメニューを終了する

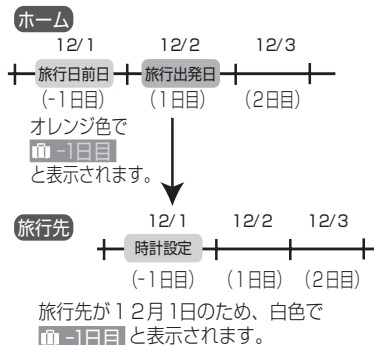
7 撮影する

- トラベル日付を設定した状態で起動した場合 / 時計設定後 / 出発日設定後 / トラベル日付設定後 / 再生モードから他のモードへ切り換え後に約5 秒間、経過日数が現在日時とともに画面の下に表示されます。
- トラベル日付を設定すると、画面右下に [ ] が表示されます。

■ トラベル日付を解除するには

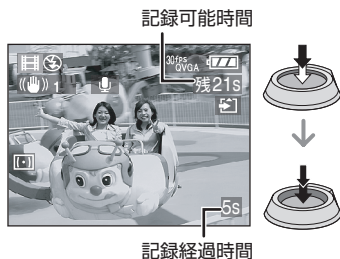
[設定] のままにしておくと、出発からの日数をカウントし続け記録します。旅行が終わったら、4 の画面で [OFF] に設定してください。

- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定 (P20) の日付により計算されます。
- 設定したトラベル日付は、電源を [OFF] にしても記憶しています。
- 出発日より前に日付を設定した場合、オレンジ色で－（マイナス）と表示され、日付情報は記録されません。
- 海外旅行などで、出発日以降に旅行先の日時に時計設定をし直し、日付を 1 日戻した場合、白色で－（マイナス）と表示され、日付情報は記録されます。

（例）12月 1日に出発日を設定した場合

- トラベル日付を [OFF] に設定していると、時計設定、トラベル日付設定をしていても、トラベル日付は記録されません。撮影後に、トラベル日付を [設定] にしても表示されません。
- 時計設定を設定していないときに、出発日を設定すると、「時計を設定してください」とメッセージが表示されますので、時計設定 (P20) を行ってください。

動画を撮る（🎞：動画撮影モード）

モードダイヤルを 🎞 に合わせてください。

1 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影を開始する

記録可能時間

記録経過時間

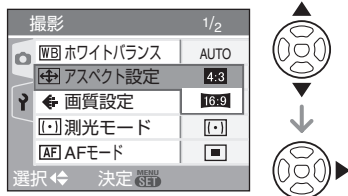
- ピントが合うと、フォーカス表示が点灯します。
- ピント・ズーム・絞り値は、撮影を開始したとき（最初のフレーム）の設定に固定されます。
- 記録可能時間と記録経過時間が表示されます。
  例） 1 時間 20 分 30 秒のとき：
  1h20m30s
- 記録可能時間・記録経過時間はめやすです。
- 本機の内蔵マイクより、音声も同時に記録されます。

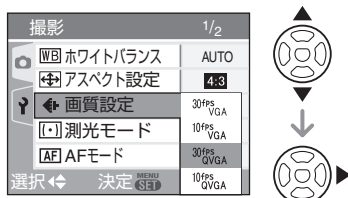
2 シャッターボタンを全押しして撮影を終了する

- 記録途中でカードの容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

■ 画質設定を変更する場合

1 [MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼ で [アスペクト設定] を選び、▶ を押す

3 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ で [画質設定] を選び、▶ を押す

5 ▲/▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 の画面で 4:3 を選択したとき

項目	記録画素数	コマ数
30fpsVGA	640×480画素	30 コマ / 秒
10fpsVGA	640×480画素	10 コマ / 秒
30fpsQVGA	320×240画素	30 コマ / 秒
10fpsQVGA	320×240画素	10 コマ / 秒

2 の画面で 16:9 を選択したとき

項目	記録画素数	コマ数
30fps16：9	848×480画素	30 コマ / 秒
10fps16：9	848×480画素	10 コマ / 秒

- ３０コマ / 秒の場合は、動画をよりなめらかに撮影することができます。
- １０コマ / 秒の場合は、なめらかさには欠けますが、長時間撮影することができます。
- [10fpsQVGA] は、ファイルサイズが小さいのでメールなどに添付するのに適しています。

6 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

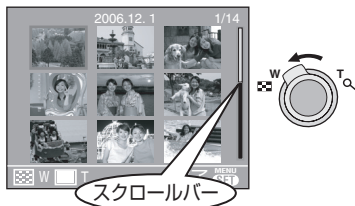
- **シャッターボタン半押しでも終了できます。**

- ピントが合う範囲はマクロモードと同じになります。[5 cm（W 端時）/ １ m（T 端時）～∞]
- 記録可能時間については 141 ページをお読みください。
- 記録可能時間はめやすです。（撮影条件、SD メモリーカードの種類によって変化します）
- 被写体により記録可能時間は変動します。
- 液晶モニターに表示される記録可能時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- 音声なしで動画を記録することはできません。
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
- [画質設定] を [30fpsVGA] または [30fps16:9] に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプの SD メモリーカードを使用することをおすすめします。
- カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
- **カードは当社製のものをお使いいただくことをおすすめします。**
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 本機で撮影された動画を他機で再生すると、画質、音質が劣化したり、再生できない場合があります。また、撮影情報が正しく表示されない場合があります。
- 動画撮影モード [ ] では、以下の機能が使えません。
  - ・縦位置検出機能
  - ・レビュー
  - ・手ブレ補正の [MODE2]

複数の画像を一覧表示する（マルチ再生）

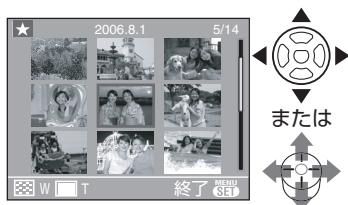
モードダイヤルを [▶] に合わせてください。

1 ズームレバーを［W］（W）側に回して画像を複数画面表示にする

（9 画面表示時の画面）

1 画面 ⇨ 9 画面 ⇨ 25 画面

⇨ カレンダー画面表示（P 74）

- 複数画面表示にしたあと、さらに［W］（W）側に回すと 25 画面表示、カレンダー画面表示（P74）になります。ズームレバーを［Q］（T）側に回すと、一つ前の画面に戻ります。
- 複数画面表示に変えると、スクロールバーが表示され、記録されている全画像から表示中の画像の位置を確認することができます。

2 ▲/▼/◀/▶ で画像を選ぶ

- 選択されている画像の撮影日、選択画像番号/トータル枚数が表示されます。
- 撮影画像や設定によって、以下のアイコンが表示されます。
  - ・お気に入り［★］
  - ・動画［🎞］
  - ・シーンモードの赤ちゃんモード［👶］
  - ・トラベル日付［🧳］
  - ・コマ撮りアニメ［▦］

■ 25 画面表示の例

■ 1 画面表示に戻すには

［Q］（T）の方に回すか、[MENU/SET] ボタンを押す

- オレンジ色の枠で表示された画像が1画面表示されます。

■ マルチ再生中に画像を削除する

❶ ▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[🗑] ボタンを押す

❷ ▲ で［はい］を選ぶ

❸ [MENU/SET] ボタンを押す

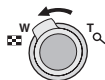
📝

- 通常の再生で液晶モニター/ファインダーの表示を「表示なし」にしていても（P40）、マルチ再生時は、撮影情報などが表示されます。1 画面に戻すと、通常の再生での表示に戻ります。
- [回転表示] を [ON] にしていても回転表示されません。（P96）

画像を撮影日ごとに表示する（CAL カレンダー再生）

モードダイヤルを ▶ に合わせてください。

カレンダー再生機能を使うと、撮影した日付ごとに画像を表示させることができます。

1 ズームレバーを [▦]（W）側に回して、カレンダー画面表示にする

- はじめに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- 同じ日付で複数の撮影画像がある場合は、その日の最初に撮影された画像が表示されます。
- カレンダーは月単位で表示されます。

2 ▲/▼/◀/▶ で再生する日付を選ぶ

◀/▶：日を選択

▲/▼：月を選択

- 撮影した画像が1枚もない月は表示されません。

3 [MENU/SET] ボタンを押して、選択した日付に撮影された画像を表示する

- 選択した日付に撮影された画像が9画面で表示されます。
- カレンダー画面表示に戻すには、ズームレバーを[▦](W)側に回してください。

4 ▲/▼/◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 選択された画像が1画面に表示されます。

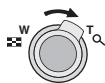
■ カレンダー再生を終了するには

カレンダー画面表示にしたあと、ズームレバーを［Q］（T）側に回すと 25 画面表示、９画面表示（P73）になります。

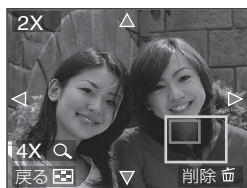
- [回転表示]を[ON]にしていても回転表示されません。（P96）
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年１月から2099年12月までです。
- マルチ再生の25画面表示で選んでいた画像が、2000 年 1 月から 2099 年 12 月以外に撮影された画像の場合、表示範囲内のもっとも古い日付に撮影された画像を選択します。
- パソコンで編集した画像などは、実際の撮影日とは異なった表示になる場合があります。
- [時計設定](P20)を行わずに撮影した場合、2006年1月1日に表示されます。
- ジョイスティックを使っても、選択または決定することができます。

再生画面を拡大する（再生ズーム）

モードダイヤルを [▶] に合わせてください。

1 ズームレバーを [Q] (T) 側に回して画像を拡大する

1倍 ⇨ 2倍 ⇨ 4倍
⇨ 8倍 ⇨ 16倍

- 拡大したあと、ズームレバーを [▦] (W) 側に回すと、倍率が小さくなります。[Q] (T) 側に回すと大きくなります。
- 倍率を変えると、約 1 秒間ズーム位置表示が表示され、拡大部分の位置を確認することができます。

2 ▲/▼/◀/▶ で位置を移動させる

- 表示する位置を移動させると､約1秒間ズーム位置表示が表示されます。

■ 再生ズームをやめるには

[▦] (W) の方に回すか、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 再生ズーム中に画像を削除する

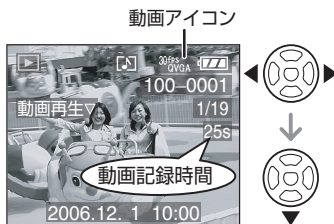
❶ [🗑] ボタンを押す
❷ ▲ で ［はい］ を選ぶ
❸ [MENU/SET] ボタンを押す

- 通常の再生で液晶モニター/ ファインダーの表示を「表示なし」にしていても (P40)、再生ズーム時は、倍率や操作方法が表示されます。[DISPLAY] ボタンを押すと、表示ありと表示なしを切り換えることができます。1 倍に戻すと、通常の再生での表示に戻ります。
- 再生ズームは、拡大するほど画質が劣化します。
- 撮影した画像を拡大して保存したい場合は、トリミングを行ってください。(P103)
- 他機で撮影した画像は再生ズームできない場合があります。

動画 / 音声付き静止画を再生する

モードダイヤルを [▶] に合わせてください。

■ 動画

◀/▶ で動画アイコン [30fps VGA]/[10fps VGA]/[30fps QVGA]/[10fps QVGA]/[30fps 16:9]/[10fps 16:9] が付いた画像を選び、▼ を押して再生する

- 動画記録時間が表示されます。再生を開始すると、動画記録時間が消え、画面右下に再生経過時間が表示されます。
  例）1 時間 20 分 30 秒のとき：
  1h20m30s

- 再生中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。
- もう一度 ▼ を押すと停止し、通常の再生画面に戻ります。

早送り / 早戻しをする

動画再生中に ◀/▶ を押したままにする

◀：早戻し　　▶：早送り

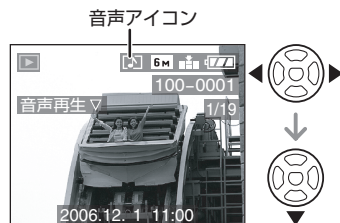
- ◀/▶ を離すと、通常の動画再生に戻ります。

一時停止する

動画再生中に ▲ を押す

- もう一度 ▲ を押すと一時停止が解除されます。

■ 音声付き静止画

◀/▶ で音声アイコン [♪] が付いた静止画を選び、▼ を押して再生する

- 音声付き静止画の作成方法は、音声記録（P84）、アフレコ（P101）をお読みください。

- スピーカーから音声が聞こえます。音量調整については、セットアップメニューの［スピーカー音量］（P23）をお読みください。
- 本機で再生できるファイル形式は QuickTime Motion JPEG です。
- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合は CD-ROM（付属）のソフトウェア「QuickTime」をご使用ください。
- パソコンや他機で記録された QuickTime Motion JPEG ファイルは本機で再生できない場合があります。
- 他機で撮影された動画を再生すると、画質が劣化したり、再生できない場合があります。
- 大容量のカードを使用したとき、早戻しが遅くなる場合があります。
- 動画、音声付き静止画は、以下の機能が使えません。
  ・再生ズーム
  （動画再生 / 一時停止中、音声再生中）
  ・回転表示 / 画像回転 / アフレコ
  （動画のみ）
  ・リサイズ/トリミング/アスペクト変換

撮影メニューを使う

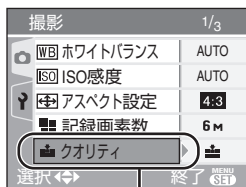
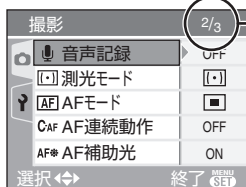
つづく

モードダイヤル設定：P A S M 🌷 🎞 SCN

色合いや画質調整などを設定すると、撮影のバリエーションが広がります。

- モードダイヤルを撮影するモードに合わせてください。
- モードダイヤル（P5）で選んでいるモードによって、メニュー項目は異なります。ここでは、プログラム AE モード [P] で、［音声記録］を設定する例で説明しています。（各項目については 78 ～ 92 ページをお読みください）
- メニュー設定をお買い上げ時の状態に戻すには、セットアップメニューの [設定リセット] を実行してください。（P24）

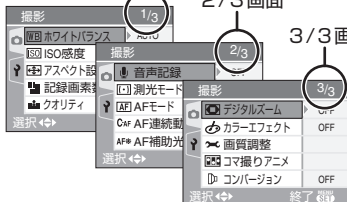
1 [MENU/SET] ボタン押す

2 ▲/▼ でメニュー項目を選ぶ

3 ▶ を押して ▲/▼ で設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

■ メニュー画面の項目について

- メニュー画面は 1/3 ～ 3/3 画面まであります。
- ズームレバーを回すと、簡単にメニュー画面を切り換えることができます。

MENU/SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P77)

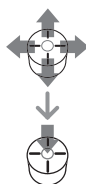
■ クイック設定を使う

モードダイヤル設定：
P A S M 🌷 🎞 SCN

撮影時にジョイスティックを使って、次の 4 項目を簡単に設定することができます。

- ホワイトバランス（P78）
- ISO 感度（P81）
- 記録画素数（P82）
- クオリティ（P82）

1 撮影状態で、ジョイスティックを押し続ける

2 ジョイスティックの ▲/▼/◀/▶ でメニュー項目を選び、ジョイスティックを押して終了する

- 撮影モードにより、設定できるメニューが異なります。

WB ホワイトバランス 自然な色合いに調整する

モードダイヤル設定：
P A S M 🌷 🎞

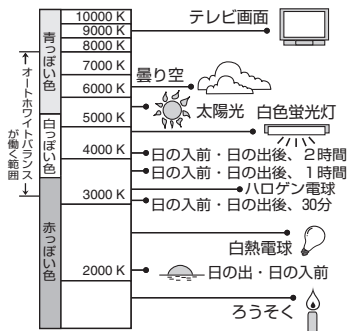
太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、撮影状況に合った項目に設定することで見た目に近い白色に調整します。

項目	撮影状況
AUTO（オート）	自動で設定するとき
☼（晴天）	屋外晴天下で撮影するとき
☁（曇り）	屋外曇天下で撮影するとき
白熱灯アイコン（白熱灯）	白熱灯下で撮影するとき
⚡WB（フラッシュ）	フラッシュ光のみで撮影するとき
1（セットモード1）	あらかじめセットしている設定を使用するとき
2（セットモード2）	あらかじめセットしている設定を使用するとき
SET（セットモード）	新しくホワイトバランスを設定するとき

- [AUTO] 以外に設定すると、ホワイトバランスを微調整することができます。(P80)

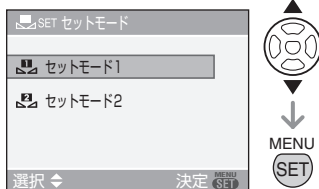
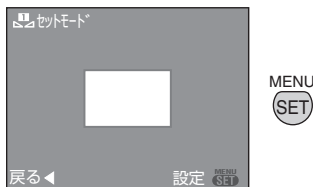
つづく

■ **オートホワイトバランスについて**

オートホワイトバランスが働く範囲は、下図のとおりです。範囲外での撮影では、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、図の範囲内にあっても、光源が複数の場合は、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを [AUTO] 以外に設定して調整してください。

■ **セットモードについて(SET)**

手動でホワイトバランスを設定したいときに使用します。

❶ [SET]（セットモード）を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

❷ [セットモード 1] または [セットモード 2] を選択して [MENU/SET] ボタンを押す

❸ 白い紙などに本機を向けて、画面の中央の枠内に白いものだけが写るようにし、[MENU/SET]ボタンを押す

❹ [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

■ ホワイトバランス微調整(WB±)について

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

- ホワイトバランスを[☼]/[☁]/[☼]/[WB]/[1]/[2]に設定してください。

1 ▲(±) を数回押し、[WB± WB 微調整] を表示させ、◀/▶ でホワイトバランスを調整する

◀ : 赤（青みが強い場合）
▶ : 青（赤みが強い場合）

- ホワイトバランス微調整をしない場合は、0 を選んでください。

2 [MENU/SET]ボタンを押して終了する

- **シャッターボタン半押しでも終了できます。**

ホワイトバランスについて

- フラッシュ撮影すると、フラッシュ光に適したホワイトバランスが自動的に設定されますが [☼（晴天）、WB（フラッシュ）を除く]、フラッシュ光が十分に届かない被写体はホワイトバランスが合わない場合があります。
- 以下の場合、ホワイトバランスの設定はできません。
  ・かんたんモード [♥]
  ・シーンモード

ホワイトバランス微調整について

- ホワイトバランスの各項目で独立して微調整することができます。
- ホワイトバランスを微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが赤、または青に変わります。
- ホワイトバランスの微調整は、フラッシュ撮影にも反映されます。
- 設定したホワイトバランス微調整は、電源を [OFF] にしても記憶しています。
- セットモード[SET]で新しくホワイトバランスを設定し直したときは、[1] または [2]（セットモード）の微調整レベルは “0” に戻ります。
- カラーエフェクト設定（P87）を [クール]、[ウォーム]、[白黒]、[セピア] のいずれかに設定しているとき、ホワイトバランスの微調整はできません。

MENU SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P77)

つづく

ISO ISO 感度 光に対する感度を設定する

モードダイヤル設定：

P A S M (マクロ)

ISO 感度とは、光に対する敏感さを数値で表したもので、高い数値に設定するほど、暗い場所での撮影に適しています。

- [AUTO] を選ぶと、明るさに応じて ISO 感度を [ISO80]～[ISO200] まで自動的に高くしていきます。(フラッシュ使用時は [ISO80] ～ [ISO400])

ISO 感度	80	400
屋外など明るい場所での撮影	適している	適していない
暗い場所での撮影	適していない	適している
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い

- シーンモードの高感度モード(P68)は、[AUTO]、[ISO800]、[ISO1600] から選択できます。
- ノイズが気になるときは、ISO 感度を低くするか、[画質調整] の [ノイズリダクション] を [高] または、[ノイズリダクション] 以外の各項目を [低] にして撮影することをおすすめします。(P87)
- 絞り優先 AE、シャッター優先 AE、マニュアル露出時は [AUTO] の選択はできません。
- 以下の場合、ISO 感度の設定はできません。
  - ・かんたんモード [♥]
  - ・動画撮影モード [動画]
  - ・シーンモード
- シャッタースピードについては、57 ページをお読みください。

アスペクト設定 画面の横縦比を設定する

モードダイヤル設定：

P A S M (マクロ) SCN (動画)

アスペクト(画像の横縦比)を変えると、被写体に合わせて画角を選択できます。

項目	効果
4:3	4:3 のテレビやパソコンの画面と同じ横縦比で撮影できます。
3:2	一般のフィルムカメラと同じ 3:2 の横縦比で撮影できます。
16:9	風景など被写体のワイド感を表現したいときや、ワイドテレビ、ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適しています。

- 動画撮影モード [動画] 時は、[3:2] の選択はできません。
- 撮影した画像は、プリント時に端が切れる場合がありますので、事前にご確認ください。(P128)

MENU/SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P77)

記録画素数 / クオリティ　用途に合わせて画素数、画質を設定する

モードダイヤル設定：P A S M 🌷 SCN

デジタル画像は画素という点が集まって作られています。本機の液晶モニターではその違いはわかりませんが、画素が多いと大きな用紙にプリントしたときやパソコン画面で見たときでも、きめ細かな画像になります。クオリティはデジタル画像を保存するときの圧縮率です。

画素が多い（きめ細やか）

画素が少ない（粗い）

■ 記録画素数

大きい記録画素数 [6M]（6M）に設定すると、より鮮明にプリントすることができます。
小さい記録画素数 [0.3M]（0.3M EZ）に設定すると、より多くの画像が記録できます。また、データ容量が小さいので、E メールの添付画像やホームページ用画像などに使用するときに便利です。

アスペクト設定が [4:3] のとき

項目	記録画素数
6M (6M)	2816×2112 画素
4M (4M EZ)	2304×1728 画素
3M (3M EZ)	2048×1536 画素
2M (2M EZ)	1600×1200 画素
1M (1M EZ)	1280×960 画素
0.3M (0.3M EZ)	640×480 画素

アスペクト設定が [3:2] のとき

項目	記録画素数
5M (5M)	2816×1880 画素
2.5M (2.5M EZ)	2048×1360 画素

アスペクト設定が [16:9] のとき

項目	記録画素数
4.5M (4.5M)	2816×1584 画素
2M (2M EZ)	1920×1080 画素

■ クオリティ

クオリティをスタンダードに設定すると、記録画素数を変えずに記録可能枚数を増やすことができます。

項目	効果
TIFF (TIFF)	レタッチソフトなどで画像を編集・加工するときに最適です。（非圧縮）
(ファイン)	画質を優先し、高画質に記録します。（低圧縮）
(スタンダード)	記録可能枚数を優先し、画質は標準で記録します。（高圧縮）

つづく

- アスペクト設定によって、設定できる記録画素数は異なります。アスペクト設定を変更したときは、記録画素数の設定を行ってください。
- EZ とは「Ex. optical Zoom」の略で、EX 光学ズームを表します。EZ の付いた記録画素数が選択されているときは、ズーム倍率が最大 16.5 倍（デジタルズーム [OFF] 設定時）まで拡張されます。(P34)
- シーンモードの高感度モード (P68) では、EX 光学ズームが働きませんので、記録画素数の [EZ] は表示されません。
- 動画撮影モード [] 時は、
  VGA（640×480 画素)、
  QVGA（320×240 画素）または
  16 : 9 (848×480 画素) になります。
- 被写体や撮影状況によってはモザイク状になることがあります。
- 記録可能枚数については、139 ページをお読みください。
- 被写体により記録可能枚数は変動します。
- 液晶モニター/ ファインダーに表示される記録可能枚数は、撮影された枚数分、減少しない場合があります。
- かんたんモード[❤]時は、以下の設定になります。
  ・引き伸ばし：
  6M [6M(4:3)] / ファイン
  ・L サイズ（3:2）：
  2.5M [2.5M EZ(3:2)] / スタンダード
  ・E メール：
  0.3M [0.3M EZ(4:3)] / スタンダード
- [TIFF] に設定すると、スタンダード相当の JPEG 画像が同時につくられます。
- クオリティを [TIFF] に設定しているときは、以下の機能は使えません。
  ・アフレコ
  ・連写
  ・リサイズ
  ・トリミング
  ・音声記録
  ・オートブラケット

MENU/SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P77)

音声記録
音声付き静止画を撮る

モードダイヤル設定：

P A S M SCN

[ON] に設定すると、画像に合わせて音声を記録することができます。撮影時の会話やメモ代わりに状況の説明などを記録しておくことができます。

- [ON] に設定すると、画面に [ ] が表示されます。
- ピントを合わせてシャッターボタンを押すと、撮影開始から約 5 秒後、録音が自動的に終了します。シャッターボタンを押したままにする必要はありません。
- 音声は本機の内蔵マイクより録音されます。
- 録音中に [MENU/SET] ボタンを押すと解除されます。音声は記録されません。

- 以下の場合、音声付き静止画を撮ることはできません。
  - ・オートブラケット撮影
  - ・連写
  - ・クオリティを [TIFF] に設定したとき
  - ・シーンモードの星空モード

測光モード
明るさを測る方法を決める

モードダイヤル設定：

P A S M

以下の測光方式に切り換えることができます。

測光方式	設定内容
評価測光	画面全体の明るさの配分をカメラが自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをおすすめします。
中央重点測光	画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。
スポット測光	スポット測光ターゲット上の被写体に対して測光する方式です。 スポット測光ターゲット

MENU/SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P77)

つづく

AF AF モード　ピントを合わせる方法を設定する

モードダイヤル設定：P A S M 🌷 🎞 SCN

撮影状況や撮りたい構図に合わせて使い分けてください。

項目	効果
(9 点)	9 点いずれかでピントを合わせます。被写体が中央にない場合に有効です。
H (3 点高速)	左、中央、右の 3 点いずれかに高速でピントを合わせます。被写体が中央にない場合に有効です。
H (1 点高速)	画面中央の AF エリア内に高速でピントを合わせます。
(1 点)	画面中央の AF エリア内にピントを合わせます。
(スポット)	限られた狭い範囲内にピントを合わせることができます。

■ 3 点高速、1 点高速について

- 他の AF モードより早くピントを合わせることができます。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合う前の状態で画像が一瞬静止することがありますが、故障ではありません。

- 暗い場所での撮影時またはデジタルズーム時は、通常よりも大きな中央 1 点の AF エリアが表示されます。
- AF エリアが複数(最大 9 個)点灯した場合は、点灯したすべての AF エリアにピントが合っています。
  カメラが自動的に判断した位置にピントが合うので、ピントが合う位置は決まっていません。ピントを合わせる位置を決めて撮影したいときは、設定を 1 点高速、1 点またはスポットに切り換えてください。
- [スポット] でピントが合いにくいときは、1 点高速または 1 点に切り換えてください。
- かんたんモード[❤]ではAFモードの設定はできません。

MENU/SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。（P77）

C-AF AF 連続動作
動きに合わせて連続的にピントを合わせる

モードダイヤル設定：
P A S M ♥ ▦ SCN

常時ピント合わせを行うので、構図が決めやすくなります。AF モードが 1 点、1 点高速、スポットのときは、シャッターボタンを半押ししたときのピントが合うまでの時間が短くなります。

- [ON] に設定すると、画面に [C-AF] が表示されます。

- バッテリーの消耗は早くなります。
- ズームレバーを W 端から T 端に回したり、急に被写体を遠くから近くに変えたあとは、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてください。
- かんたんモード [♥]、シーンモードの夜景 & 人物（P62）、夜景（P63）、流し撮り（P63）、花火（P65）、星空（P66）、マニュアルフォーカス時では [OFF] に固定されます。

AF✲ AF 補助光
暗い場所でピントを合わせやすくする

モードダイヤル設定：
P A S M ♥ ▦ SCN

撮影場所が暗くピントが合いにくいときに、光を当ててピントを合わせやすくすることができます。

- [ON] に設定すると、暗い場所などでシャッターボタンを半押ししたときに、通常よりも大きな AF エリアが表示され、AF 補助光ランプが光ります。このとき、画面に [AF✲] が表示されます。補助光の有効距離は 1.5 m です。
- [OFF] に設定すると AF 補助光ランプは光りません。

- AF 補助光使用時は以下の点にお気をつけください。
  - ・近くで発光部を見ない
  - ・レンズフードを外す
  - ・AF 補助光ランプを指などでふさがない
- AF 補助光点灯時は、通常よりも大きな中央 1 点の AF エリアが表示されます。（P85）
- 暗闇で動物を撮るときなど、暗い場所で AF 補助光ランプを光らせたくない場合は、[OFF] に設定してください。このとき、ピントは合いにくくなります。
- かんたんモード [♥] では、[ON] に固定されます。
- レンズ部により、AF 補助光の外周の一部がケラレる場合がありますが、性能上には問題はありません。
- シーンモードの風景（P62）、夜景（P63）、花火（P65）、流し撮り（P63）では、[OFF] に固定されます。

を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P77)

つづく

カラーエフェクト 撮影する画像の色彩効果を設定する

モードダイヤル設定：
P A S M

撮影状況、撮影イメージに合わせて使い分けてください。

項目	効果
クール	青っぽい画像になります。
ウォーム	赤っぽい画像になります。
白黒	白黒画像になります。
セピア	セピア色の画像になります。

画質調整 撮影する画像の画質を調整する

モードダイヤル設定：
P A S M

撮影状況、撮影イメージに合わせて使い分けてください。

項目		効果
コントラスト	高	画像の明暗差を大きくします。
	低	画像の明暗差を小さくします。
シャープネス	高	画像の輪郭を強調します。
	低	画像の輪郭を柔らかくします。
彩度	高	派手で鮮やかな色になります。
	低	落ち着いた色になります。
ノイズリダクション	高	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。 解像感がわずかに低下する場合があります。
	低	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。

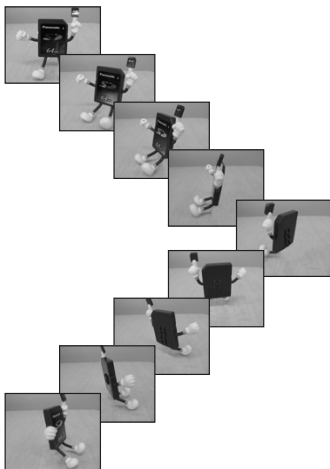
- 暗い場面で撮影するとき、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、[ノイズリダクション] を [高] にするか、[ノイズリダクション] 以外の各項目を [低] にして撮影することをおすすめします。

MENU/SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P77)

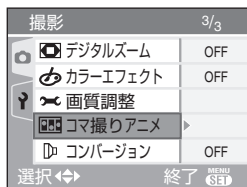
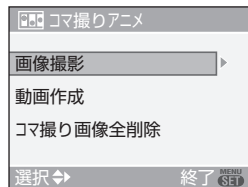
コマ撮りアニメ　画像をつなぎ合わせて動画ファイルを作成する

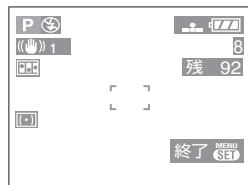
モードダイヤル設定：P A S M 🌷 SCN

最長約２０秒の動画ファイルを作成することができます。

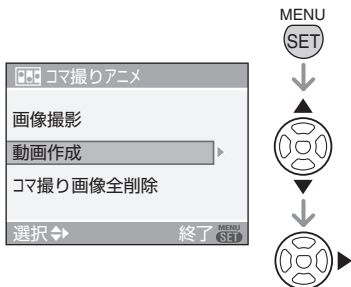
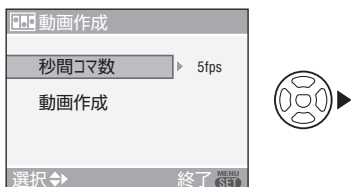
たとえば…
人形などを少しずつ動かすごとに撮影して

つなぎ合わせると動いているように見えます。

- 作成したコマ撮りアニメを再生する方法は、動画を再生するときと同じです。(P76)

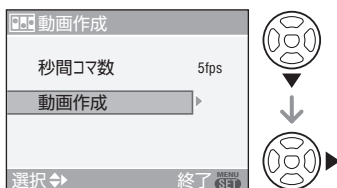
1 ▲/▼ で [コマ撮りアニメ] を選び、▶ を押す

2 [画像撮影] を選び、▶ を押す

- 記録画素数は 320 × 240 画素になります。

3 シャッターボタンを押し、ひとコマずつ撮影する

- ▼ を押すと、撮影した画像を確認できます。◀/▶ を押すと、前後の画像を確認することができます。
- 不要な画像は [🗑] ボタンで削除してください。
- 最大 100 枚まで撮影できます。表示される残量枚数はめやすです。

つづく

4 [MENU/SET] ボタンを押して▲/▼で[動画作成]を選び、▶を押す

5 [秒間コマ数]を選び、▶を押す

6 ▲/▼で[5fps]または[10fps]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 5 fps：5 コマ / 秒
- 10 fps：10 コマ / 秒
  (よりなめらかな動画になります)

7 ▼で[動画作成]を選び、▶を押して、コマ撮りアニメを作成する

- 動画作成をすると、ファイル番号が表示されます。
- 作成終了後、[MENU/SET]ボタンを3回押してメニューを終了します。

■ コマ撮りアニメ用静止画像をすべて削除する

[コマ撮りアニメ]のメニューから[コマ撮り画像全削除]を選択すると、確認画面が表示されます。▲ ボタンで[はい]を選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。

- 縦位置検出機能、音声付き静止画、連写、オートブラケットは使えません。
- 各コマの画像は通常のレビュー(P36)では表示されません。
- [動画作成]を実行すると、コマ撮りアニメ用に撮影されたすべての画像が1つのアニメになります。不要な画像は、削除しておいてください。
- 音声は記録されません。
- アフレコ機能(P101)で音声を記録することはできません。
- 他機では再生できない場合があります。また、他機で再生したとき、ミュート機能のない機種ではノイズが出る場合があります。

MENU SET を押して撮影メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P77)

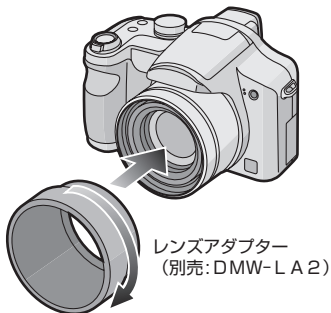
コンバージョン　別売品レンズを使う

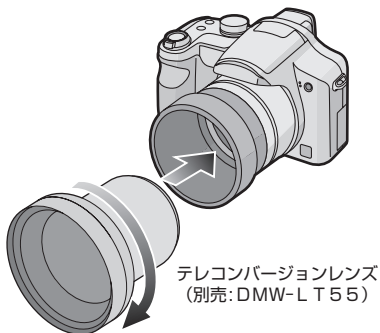
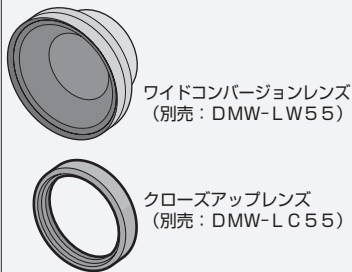
モードダイヤル設定：P A S M 🌷 🎞 SCN

テレコンバージョンレンズ（別売：DMW-LT55）を使用するとより望遠に（1.7倍）、ワイドコンバージョンレンズ（別売：DMW-LW55）を使用するとより広角に（0.7 倍）に、クローズアップレンズ（別売：DMW-LC55）を使用すると小さな被写体をよりアップに撮ることができます。

コンバージョンレンズまたはクローズアップレンズを装着する場合は、レンズアダプター（別売：DMW-LA2）が必要です。

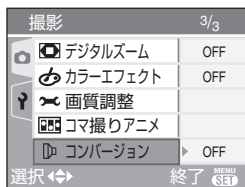
1 レンズキャップ、レンズフード、フードアダプターを取り外す

2 レンズアダプター（別売：DMW-LA2）を取り付ける

- **コンバージョンレンズとMCプロテクター（別売:DMW-LMC52）やNDフィルター（別売：DMW-LND52）を併用することはできません。必ず取り外してからコンバージョンレンズを取り付けてください。**
- ゆっくりていねいに回してください。

3 コンバージョンレンズまたはクローズアップレンズを取り付ける

- フードアダプター（付属）に、コンバージョンレンズまたはクローズアップレンズを取り付けることはできません。

つづく

4 **本機の電源を [ON] にしてから ▲/▼ で [コンバージョン] を選び、▶ を押す**

撮影 3/3
デジタルズーム OFF
カラーエフェクト OFF
画質調整
コマ撮りアニメ
コンバージョン OFF
選択 終了 MENU SET

5 **▲/▼ で [W]、[T] または [C] に設定し、[MENU/SET] ボタンを押す**

項目	撮影状況
OFF	コンバージョンレンズを装着しないとき
W	ワイドコンバージョンレンズを装着するとき
T	テレコンバージョンレンズを装着するとき
C	クローズアップレンズを装着するとき

● 設定終了後、シャッターボタンを半押しまたは [MENU/SET] ボタンを押して、メニューを終了します。

■ コンバージョンレンズ使用時の撮影可能範囲

テレコンバージョンレンズ装着時

	W 端	T 端
通常	—	5.4 m 〜∞
マクロ	—	5.4 m 〜∞

ワイドコンバージョンレンズ装着時

	W 端	T 端
通常	15 cm 〜∞	—
マクロ	15 cm 〜∞	—

クローズアップレンズ装着時

	W 端	T 端
通常	20 cm 〜 50 cm	40 cm 〜 50 cm
マクロ	5 cm 〜 50 cm	40 cm 〜 50 cm
テレマクロ	—	33 cm 〜 50 cm

● テレコンバージョンレンズ使用時ズームは T 端、ワイドコンバージョンレンズ使用時ズームは W 端に固定されます。

	表示	実際の倍率
テレコンバージョンレンズ	12 ×	20.4 ×※
ワイドコンバージョンレンズ	1 ×	0.7 ×

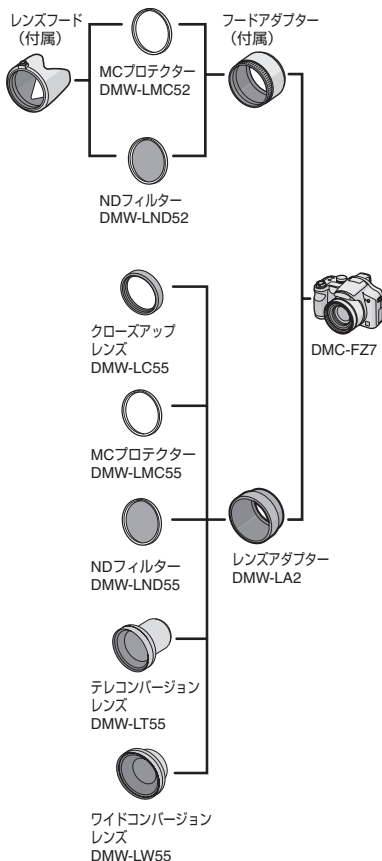
※デジタルズーム（P35）、EX 光学ズーム（P34）使用時の実際の倍率は、T 端での表示の 1.7 倍になります。

● クローズアップレンズ使用時、ズームは全域使用することができます。

- ワイドコンバージョンレンズ設定時は、デジタルズームは使用できません。
- レンズ表面に汚れ（水、油、指紋など）が付いた場合、画像に影響をおよぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
- コンバージョンレンズを使用しないときは、[コンバージョン] を必ず [OFF] に設定してください。
- コンバージョンレンズ使用時は
  - ・フラッシュは使用できません。
  - ・[コンバージョン] を [OFF] に設定してコンバージョンレンズを使用すると、本来の性能が発揮されません。
- テレコンバージョンレンズ使用時は
  - ・三脚の使用をおすすめします。
  - ・手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
  - ・手ブレの影響により、ピントが合っていないのにフォーカス表示が点灯することがあります。
  - ・ピントが合うまでの時間が通常よりも長くなることがあります。
- [コンバージョン] を [W]、[T] または [C] に設定しているときは、AF 補助光は使えません。（P86）
- 詳しくは、コンバージョンレンズの説明書をお読みください。

■ レンズ装着組み合わせ図

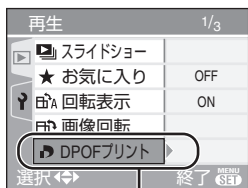
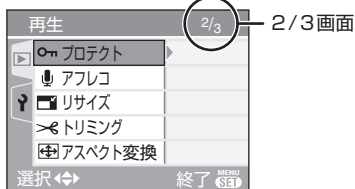
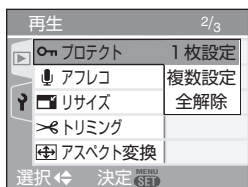
再生メニューを使う

つづく

モードダイヤルを ▶ に合わせてください。

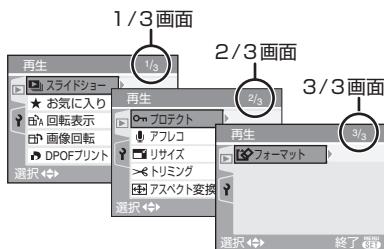
撮影した画像の回転表示やプロテクト設定など、いろいろな再生機能を使うことができます。

- 各項目については 94 ～ 105 ページをお読みください。

1 [MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼ でメニュー項目を選ぶ

3 ▶ を押す

- **上図の操作でメニュー項目を選んだあとは、それぞれのページを読んで設定を行ってください。**

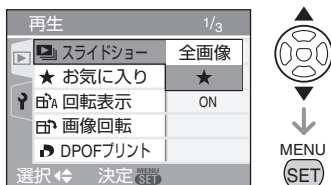
■ メニュー画面の項目について

- メニュー画面は 1/3 ～ 3/3 画面まであります。
- ズームレバーを回すと、簡単にメニュー画面を切り換えることができます。

MENU SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P93)

スライドショー　画像を一定間隔で順番に再生する

テレビに接続して画像を見るときにおすすめの再生方法です。「お気に入り」設定（P95）しておけば不要な画像をとばして見ることができます。

- [お気に入り] を [ON] に設定しているときは 1 から、[OFF] に設定しているときは 2 から操作をしてください。

1 ▲/▼ で [全画像] または [★] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

全画像：すべての画像を表示します。
★：　お気に入り設定した画像（P95）のみ表示します。

- [お気に入り]を[ON]に設定していても、[★] の付いた画像が 1 枚もない場合は、[★] を選択できません。

2 ▲ で [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

([全画像] 選択時の画面)

- スライドショー中、またはスライドショー一時停止中、[MANUAL] スライドショー中に表示されるカーソルは、▲/▼/◀/▶ に対応しています。

スライドショー中

スライドショー一時停止中

[MANUAL] スライドショー中

- スライドショー中に ▲ を押すと、一時停止します。もう一度 ▲ を押すと一時停止が解除されます。
- 一時停止中に ◀/▶ を押すと前後の画像を表示できます。

3 ▼ を押してスライドショーを終了する

■ 再生間隔と音声の設定について

2の画面で［再生間隔］または［音声］を選んで設定してください。

再生間隔：　1、2、3、5 秒、MANUAL（マニュアル）（手動再生）の中から設定できます。
音声：　[ON] に設定すると、音声付き静止画の音声が再生されます。

- [MANUAL]は、1 で [★] を選んだときのみ選択できます。
- [MANUAL]を選んだ場合は、◀/▶ を押して前後の画像を表示してください。

- [音声] を [ON] にして音声付き静止画を再生するときは、音声再生終了後、次の画像が表示されます。
- スライドショーでは、以下の機能が使えません。
  - ・パワーセーブ（ただし、スライドショー一時停止中または [MANUAL] スライドショー中は１０分固定でパワーセーブが働きます）
  - ・動画再生

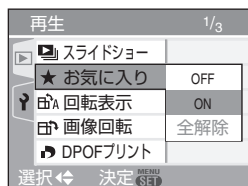
MENU SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P93)

つづく

★ お気に入り　お気に入りの画像を設定する

画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。

- お気に入りに設定した画像以外を削除する。([★以外全削除])(P38)
- お気に入りに設定した画像のみスライドショーする。(P94)

1 ▼ で [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [OFF] に設定するとお気に入り設定できません。また、すでにお気に入り設定をしている場合も、お気に入り表示 [★] は表示されません。
- [★]の付いた画像が1枚もない場合は、[全解除] を選択できません。

2 [MENU/SET]ボタンを押してメニューを終了する

3 ◀/▶ で画像を選び、▲ で設定する

- この手順を繰り返します。
- お気に入り表示 [★] が表示されているときに ▲ を押すと、[★] が消え、お気に入り設定が解除されます。
- お気に入り設定は 999 枚まで設定できます。

■ お気に入り設定を全解除する

❶ 1の画面で[全解除]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
❷ ▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
❸ [MENU/SET] ボタンを押してメニューを終了する

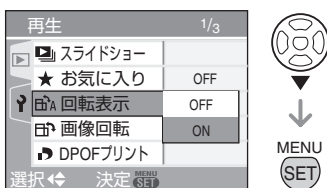
- お店にプリントを依頼するときに、[★以外全削除](P38)の機能を利用すると、プリントに出したい画像だけをカードに残しておけるので便利です。
- CD-ROM(付属)のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使って、お気に入りの画像の設定や確認、解除をすることができます。(詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください)
- 他機で撮影された画像では、お気に入り設定ができない場合があります。

MENU SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P93)

回転表示 / 画像回転　画像を回転して表示する

本機を縦に構えて撮影した画像を自動で縦向きに表示させたり、画像を手動で90°ごとに回転させることができます。

■ 回転表示（画像を自動で回転して表示する）

1 ▼ で [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [OFF] に設定すると画像は回転されずに表示されます。
- 画像を再生する方法については 37 ページをお読みください。

2 [MENU/SET]ボタンを押してメニューを終了する

■ 画像回転（画像を手動で回転させる）

1 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

- [回転表示] が [OFF] になっていると、画像回転できません。
- 動画、プロテクトされた画像は回転できません。

2 ▲/▼で回転方向を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

↷ :時計回りに 90° 回転します。
↶ :反時計回りに90° 回転します。

3 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

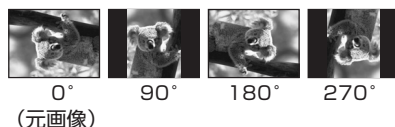
■ 画像回転の例
[時計回り(↷)の場合

0°
(元画像)

90°

180°

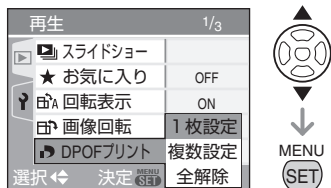
270°

つづく

- [回転表示]を[ON]にしていると、本機を縦に構えて撮影したときに縦向き（回転されて）に表示されます。
- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、画像を縦向きに表示できない場合があります。（P28）
- AV ケーブル（付属）を使用して本機をテレビに接続し、画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- パソコンで再生するとき、Exif に対応した OS またはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exif とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画像用のファイルフォーマットです]
- 回転された画像をマルチ再生で再生した場合は、回転表示はされません。
- 他機で撮影された画像は回転できない場合があります。

MENU SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。（P93）

DPOF（ディーポフ）プリント　プリントしたい画像と枚数を設定する

DPOF プリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。

▲/▼ で [1 枚設定]、[複数設定] または [全解除] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- DPOF プリント設定された画像が 1 枚もない場合は、[全解除] を選択できません。

■ [1 枚設定] 選択時

1 ◀/▶ で画像を選び、▲/▼ でプリント枚数を設定する

- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。このとき、プリント枚数を 0 にすると、DPOF プリント設定が解除されます。

2 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

■ [複数設定] 選択時

1 ◀/▶ で画像を選び、▲/▼ でプリント枚数を設定する

- この手順を繰り返します。（一括設定することはできません）
- プリント枚数は0～999枚まで設定できます。このとき、プリント枚数を 0 にすると、DPOF プリント設定が解除されます。

2 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

つづく

■ [全解除] 選択時

1 ▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 [MENU/SET]ボタンを押してメニューを終了する

■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、[DISPLAY] ボタンを押すごとに日付プリントを設定 / 解除できます。

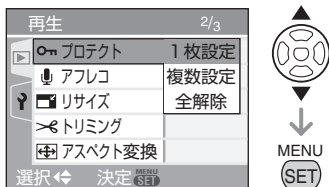
● お店にデジタルプリントを依頼するときは、日付プリントすることを別途指定してください。
● 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

● DPOFとはDigital Print Order Formatの略です。DPOF 対応のシステムで活用できるようにプリント情報を書き込むことができるようにしたものです。
● DPOFプリント設定すると、PictBridge対応のプリンターで出力するときにも便利です。日付プリントの設定は、プリンター側の設定が優先される場合がありますので、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。(P109)
● 本機でDPOF プリント設定するときは、他機で設定された DPOF 情報をすべて解除する必要があります。
● DCF 規格に準拠していないファイルはDPOF プリント設定できません。
[DCF とは Design rule for Camera File system の略で、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）のファイルシステム規格に準拠した記録方式です]

MENU SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P93)

プロテクト　画像の誤消去を防止する

画像を誤って削除することがないように、削除したくない画像にプロテクトを設定することができます。

▲/▼で[1枚設定]、[複数設定]または[全解除]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

■ [1枚設定]選択時

1 ◄/► で画像を選び、▼ で設定/解除する

設定：プロテクト表示が出ます。
解除：プロテクト表示が消えます。

2 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

■ [複数設定]選択時

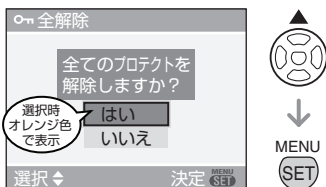
1 ◄/► で画像を選び、▼ で設定/解除する

設定：プロテクト表示が出ます。
解除：プロテクト表示が消えます。

- この手順を繰り返します。

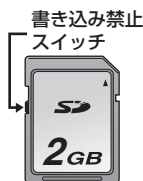
2 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

■ [全解除]選択時

1 ▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 全解除中に[MENU/SET]ボタンを押すと途中で全解除が中止されます。

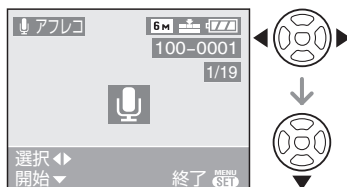
2 [MENU/SET]ボタンを押してメニューを終了する

MENU SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P93)

- プロテクト設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- プロテクトされた画像は削除できません。ファイルを削除したいときは、プロテクト設定を解除してください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は削除されます。(P105)
- プロテクト設定をしていなくても、SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、画像の削除はできません。

- 画像をプロテクトすると以下の機能が使えません。
  ・画像回転
  ・アフレコ

アフレコ
撮影したあとに音声を入れる

撮影した画像に、あとから音声を入れることができます。

1 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押して録音を開始する

- すでに音声が入っている場合、「音声データを上書きしますか?」と表示されます。▲で[はい]を選び、[MENU/SET]ボタンを押して録音を開始してください。(元の音声はなくなります)
- 動画、プロテクトされた画像またはクオリティが[TIFF]で撮影された画像にはアフレコはできません。

2 ▼ を押して録音を終了する

- ▼を押さなくても、約10秒間録音すると、自動的に終了します。

3 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

- 他機で撮影された画像にはアフレコはできない場合があります。

MENU SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。（P93）

リサイズ　画素数を小さくする

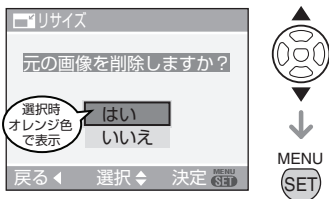
E メール添付やホームページ用に、撮影した画像の容量を小さくすることができます。

1 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

- 以下の画像はリサイズできません。
  - ·アスペクト設定が[4:3]の画像のとき記録画素数が［0.3M］（0.3M EZ）で撮影された画像
  - ·アスペクト設定が[3:2]の画像のとき記録画素数が［2.5M］（2.5M EZ）で撮影された画像
  - ·アスペクト設定が[16:9]の画像のとき記録画素数が［2M］（2M EZ）で撮影された画像
  - · クオリティが [TIFF] で撮影された画像
  - · 動画
  - · コマ撮りアニメ
  - · 音声付き静止画

2 ◀/▶ でサイズを選び、▼ を押す

- 撮影した画像のサイズよりも、小さなサイズが表示されます。
  - ·アスペクト設定が [4:3] の画像のとき
    [4M]/[3M]/[2M]/[1M]/[0.3M]
  - ·アスペクト設定が[3:2]の画像のとき
    [2.5M]
  - ·アスペクト設定が[16:9]の画像のとき
    [2M]

3 ▲/▼ で [はい] または [いいえ] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [はい] を選ぶと画像が上書きされます。リサイズされた画像が上書きされると、元に戻すことができません。
- [いいえ] を選ぶとリサイズされた画像が新しく作成されます。
- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。[いいえ] を選んでリサイズされた画像を新しく作成してください。

4 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

- 他機で撮影された画像はリサイズできない場合があります。

MENU SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。（P93）

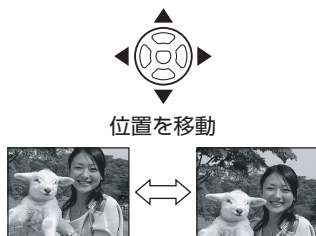
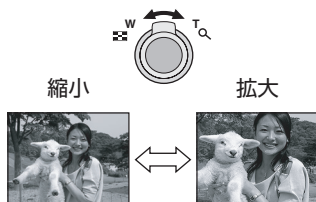
トリミング　画像を拡大して切り抜く

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

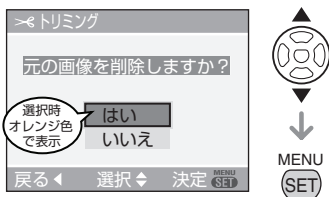
1 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

- 以下の画像はトリミングできません。
  - ・クオリティが [TIFF] で撮影された画像
  - ・動画
  - ・コマ撮りアニメ
  - ・音声付き静止画

2 ズームレバーと ▲/▼/◀/▶ で切り抜く部分を選ぶ

位置を移動

3 シャッターボタンを押す

- 「元の画像を削除しますか？」とメッセージが表示されます。

4 ▲/▼ で [はい] または [いいえ] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [はい] を選ぶと画像が上書きされます。トリミングされた画像が上書きされると、元に戻すことができません。
- [いいえ] を選ぶとトリミングされた画像が新しく作成されます。
- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。[いいえ] を選んでトリミングされた画像を新しく作成してください。

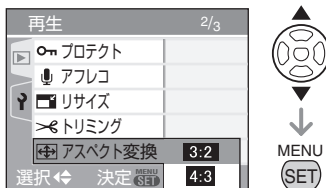
5 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

- トリミングを行うと、切り取るサイズによっては元の画像より記録画素数が小さくなる場合があります。
- トリミングを行うと画質が劣化します。
- 他機で撮影された画像はトリミングできない場合があります。

MENU SET を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。（P93）

アスペクト変換　16:9 の画像の横縦比を変える

[16:9] で撮影した画像を、プリント用に [3:2] または [4:3] に変換することができます。

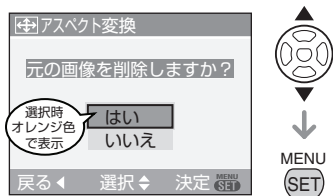
1 ▲/▼ で [3:2] または [4:3] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [16:9] で撮影された画像のみアスペクト変換できます。

2 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

- [16:9] 以外の画像を選んで決定すると、「この画像には設定できません」とメッセージが表示されます。

3 ◀/▶ で左右の位置を決定し、シャッターボタンで決定する

- 縦に回転されている画像は ▲/▼ で枠移動を行い決定します。

4 ▲/▼ で [はい] または [いいえ] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 元の画像がプロテクトされている場合は上書きできません。

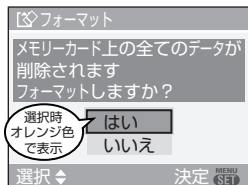
5 [MENU/SET] ボタンを 2 回押してメニューを終了する

- アスペクト変換を行うと、変換後の画素数が元の画像より大きくなる場合があります。
- 音声付き静止画、動画、[TIFF] で撮影した画像にはアスペクト変換できません。
- DCF 規格に準拠してないファイルはアスペクト変換できません。
  [DCF とは Design rule for Camera File system の略で、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）のファイルシステム規格に準拠した記録方式です]
- 他機で撮影された画像はアスペクト変換できない場合があります。

を押して再生メニューを表示し、設定する項目を選んでください。(P93)

フォーマット　カードを初期化する

通常、カードはフォーマットする必要はありません。「メモリーカードエラー ・フォーマットしますか？」とメッセージが表示された場合などにフォーマットしてください。

▲ で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- プロテクトされた画像も含めてすべてのデータは一度フォーマットすると元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。
- パソコンやその他の機器でフォーマットされた場合、もう一度本機でフォーマットしてください。
- フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリー（P13）または AC アダプター（別売：DMW-AC7）を使用してください。
- フォーマット中は電源を[OFF]にしないでください。
- SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときは、フォーマットできません。
- フォーマットできないときはお買い上げの販売店へご連絡ください。

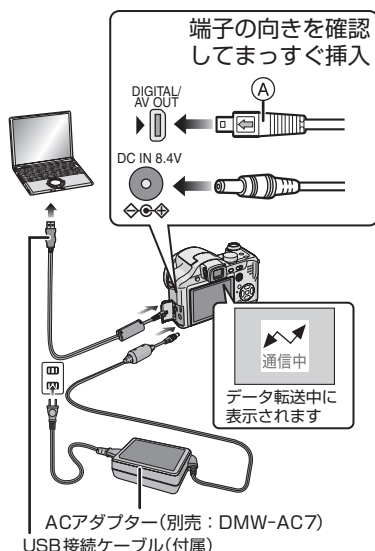
パソコンと接続する

モードダイヤル設定：P A S M 🌷 🎞 SCN ♥ ▶

本機をパソコンと接続すると、画像を取り込むことができます。

また、CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」（Windows® 用）を使うと、パソコンに画像を取り込んで印刷したり、メールで送ることが簡単にできます。

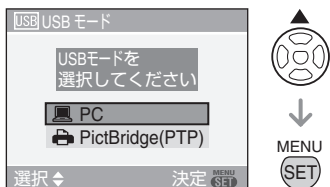
Windows 98/98SEをご使用の方のみ、USB ドライバーのインストールを行ってから接続してください。

CD-ROM(付属）のソフトウェアやインストールなど詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」を参照してください。

- 十分に充電されたバッテリー（P13）またはACアダプター(別売:DMW-AC7)を使用してください。
- 本機の電源を [OFF] にしてから、AC アダプター（別売：DMW-AC7）のケーブルを抜き差ししてください。

1 本機とパソコンの電源を入れる

2 USB 接続ケーブル（付属）で、本機とパソコンを接続する

- USB接続ケーブルの[⬅]マークが端子部の [▶] マークに合うように接続してください。
- USB接続ケーブルは、Ⓐ部を持ってまっすぐ抜き差ししてください。（斜めや裏向きにして無理に挿入すると、端子が変形して本機や接続する機器の故障の原因になります）

3 ▲ で [PC] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- セットアップメニューで [USB モード] を [PC] に設定しておくと、接続のたびに設定する必要はありません。（P24）
- [USBモード]を[PictBridge(PTP)]にして接続した場合、パソコンの画面にメッセージが表示される場合があります。[キャンセル]（中止）を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。[USB モード] を [PC] に設定し直してください。

Windows の場合

[マイ コンピュータ] フォルダーにドライブが表示されます。

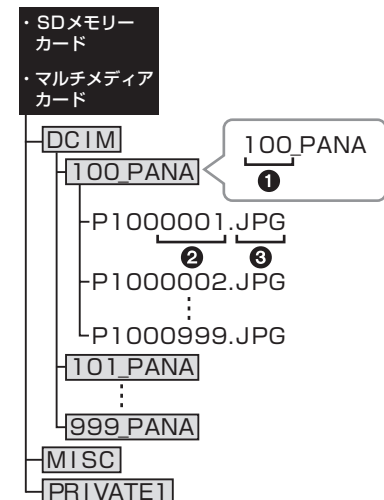
- はじめて接続したときは、Windows のプラグアンドプレイにより、本機を認識するために必要なドライバーが自動的にインストールされ、そのあと [マイ コンピュータ] フォルダーにドライブが表示されます。

Macintosh の場合

画面上にドライブが表示されます。

- 画面上に [NO_NAME] または [名称未設定] と表示されます。

■ フォルダー構造について

フォルダーは下図のように表示されます。

❶ フォルダー番号
❷ ファイル番号
❸ JPG ：画像
MOV：動画

各フォルダーの内容は以下のとおりです。

DCIM	100_PANA ～ 999_PANA
100_PANA～ 999_PANA	画像 / 動画
MISC	DPOF設定が記録されたファイル
PRIVATE1	コマ撮りアニメの画像

- 本機で記録した場合は、1つのフォルダーにつき最大999枚の画像データが入ります。それを超えると次のフォルダーが作成されます。
- ファイル番号やフォルダー番号をリセットする場合は、セットアップメニューの［番号リセット］を行ってください。（P24）

他の機器との接続

■ フォルダー番号が変更される条件について

下記の条件で撮影を行った場合、画像ファイルは直前に記録されたフォルダーとは異なる、新しい番号のフォルダーの中に記録されます。

1 直前に記録されたフォルダーの中にファイル番号 999 の画像ファイル(例:P1000999.JPG)がある場合。
2 直前に記録されたカードの中に、例えばフォルダー番号 100 のフォルダー(100_PANA)があるときに、そのカードを抜いて新たに他社のカメラで撮影した、フォルダー番号 100 の フォルダー(100XXXXX、XXXXX はメーカー名など)があるカードを挿入して撮影した場合。
3 セットアップメニューから [番号リセット](P24)を選び、実行したあとに撮影した場合。(直前に記録されたフォルダーの続きの番号の新しいフォルダーに記録されます。フォーマット直後など、カードの中にフォルダーや画像がない状態で [番号リセット] を実行すると、フォルダー番号を 100 に戻すこともできます)

■ PictBridge(PTP)設定について

Windows XP Home Edition/Professional、Mac OS X のみ [USB モード] を [PictBridge (PTP)] にしても接続できます。

- 本機からは、画像の読み出しのみ行うことができます。カードへの書き込みや、削除はできません。
- カードの中に 1000 枚以上画像があると、取り込めない場合があります。

- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。
- 「通信中」と表示されている間は、USB 接続ケーブルを抜かないでください。
- 通信中にバッテリー残量がなくなると、データが破壊される恐れがあります。接続するときは十分に残量のあるバッテリー(P13)または AC アダプター(別売:DMW-AC7)を使用してください。
- 通信中にバッテリー残量が少なくなった場合は、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴りますので、すぐにパソコン側で通信を中止してください。
- **Windows 2000 を使用して USB 接続した場合には、接続したままでカードの交換を行わないでください。カード内の情報を破壊する恐れがあります。カードの交換をするときは、USB 接続ケーブルを外してから行ってください。**
- パソコンで回転された画像や編集された画像は、再生モード時(P37)、マルチ再生時(P73)、カレンダー再生時(P74)に黒く表示されることがあります。
- 詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください。
- パソコンの説明書もお読みください。

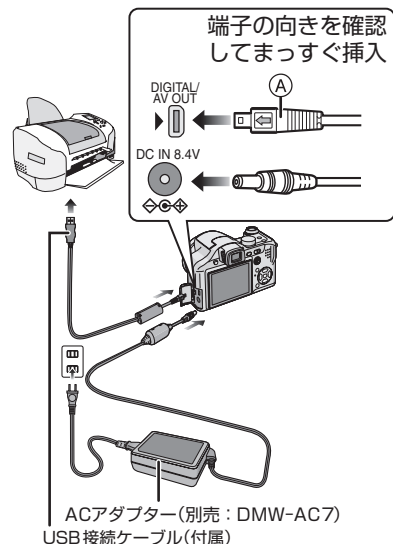
プリントする

つづく

PictBridge対応プリンターに接続してプリントする

モードダイヤル設定： P A S M 🌷 🎞 SCN ♥ ▶

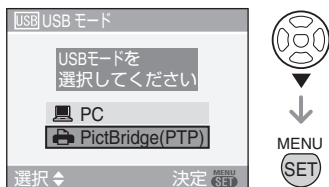
USB 接続ケーブル（付属）を使って本機を PictBridge に対応したプリンターに直接接続し、本機の液晶モニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。
あらかじめプリンター側で印字品質などのプリントの設定をしてください。（プリンターの説明書をお読みください）

■ 接続する

- プリントに時間がかかる場合がありますので、接続するときは十分に充電されたバッテリー（P13）または AC アダプター（別売：DMW-AC7）を使用してください。
- 本機の電源を [OFF] にしてから、AC アダプター（別売：DMW-AC7）のケーブルを抜き差ししてください。

1 本機とプリンターの電源を入れる

2 USB 接続ケーブル（付属）で、本機とプリンターを接続する

- USB接続ケーブルの[⬅]マークが端子部の [▶] マークに合うように接続してください。
- USB接続ケーブルは、Ⓐ部を持ってまっすぐ抜き差ししてください。

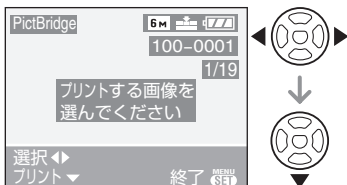
3 ▼ で [PictBridge (PTP)] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- セットアップメニューで [USB モード] を [PictBridge (PTP)] に設定しておくと、接続のたびに設定する必要はありません。（P24）

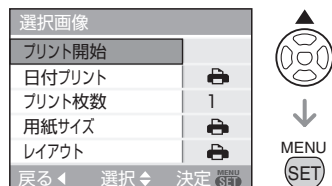
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。

● シーンモードの赤ちゃんモード（P66）の月齢/年齢やトラベル日付（P69）の経過日数をプリントしたい場合は、CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」を使ってパソコンからプリントしてください。詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください。

■ 選択画像

1 ▲で[選択画像]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ◀/▶ で画像を選び、▼ を押す

● メッセージは約 2 秒後に消えます。

3 ▲ で [プリント開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

● 途中でプリントを中止したい場合は[MENU/SET] ボタンを押してください。

4 プリント終了後、USB 接続ケーブルを抜く

■ 日付プリント、プリント枚数、用紙サイズ、レイアウトの設定について

3の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。

● プリンターが対応していない項目はグレーで表示され、選択することができません。
● 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[🖨]にして、プリンター側で設定してください。（詳しくはプリンターの説明書をお読みください）

日付プリント

🖨	プリンターの設定が優先されます。
OFF	日付プリントされません。
ON	日付プリントされます。

● プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。

プリント枚数
プリントする枚数を設定してください。

用紙サイズ
(本機で設定可能な用紙サイズ)
1/2 と 2/2 に分かれて表示されます。
▼ を押して選択してください。

1/2	
🖶	プリンターの設定が優先されます。
L/3.5″×5″	89 mm×127 mm
2L/5″×7″	127 mm×178 mm
はがき	100 mm×148 mm
A4	210 mm×297 mm

2/2※	
カード	54 mm×85.6 mm
10×15cm	100 mm×150 mm
4″×6″	101.6 mm×152.4 mm
8″×10″	203.2 mm×254 mm
レター	216 mm×279.4 mm

※プリンターが対応していない場合は、これらの項目は表示されません。

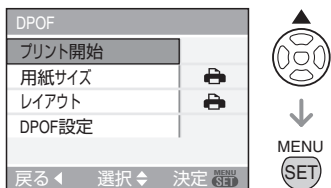
レイアウト
(本機で設定可能なレイアウト)

🖶	プリンターの設定が優先されます。
	1 面ふちなし印刷
	1 面ふちあり印刷
	2 面印刷
	4 面印刷

● プリンターが対応していない場合は、選択できない項目があります。

■ DPOF
● **あらかじめ本機で DPOF プリントの設定をしておく。(P98)**

1 ▼ で [DPOF] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲ で [プリント開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

● DPOF プリントの設定をしていない場合は、[プリント開始] を選択できません。[DPOF 設定] を選び、DPOF プリントの設定をしてください。(P98)
● 途中でプリントを中止したい場合は [MENU/SET] ボタンを押してください。

3 プリント終了後、USB 接続ケーブルを抜く

■ レイアウト印刷について

● **1枚の用紙に同じ画像を印刷する場合**
例えば、1枚の用紙に同じ画像を4枚印刷する場合、[レイアウト] を 4 面印刷 [ ] に設定し、印刷したい画像の [プリント枚数]を4枚に設定してください。

● **1枚の用紙に異なる画像を印刷する場合（DPOF プリントのみ）**
例えば、1枚の用紙に異なる画像を4枚印刷する場合、[レイアウト]を4面印刷[ ]に設定し、DPOF プリント設定（P98）で4つの画像の[プリント枚数]を1枚に設定してそれぞれ選択してください。

● ケーブル切断禁止アイコン [ ] が表示されているときは、USB 接続ケーブルを抜かないでください。（プリンターによって表示されない場合があります）
● 接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴ります。プリント中の場合は、[MENU/SET] ボタンを押して、すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB 接続ケーブルを抜いてください。
● プリント中にオレンジ色の[●]のアイコンが表示されているときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
● DPOF プリントでは、プリント枚数の合計やプリント設定された画像が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示が設定枚数と異なりますが、故障ではありません。
● 日付プリントの設定は、プリンター側の設定が優先される場合がありますので、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。
● プリンターが TIFF プリントに対応していない場合は、TIFF に関連した JPEG 画像がプリントされます。
● TIFF に関連した JPEG 画像がないときは、印刷できない場合があります。

日付プリントについて

日付プリントを設定する

DPOFプリント設定のプリント枚数設定時に[DISPLAY]ボタンを押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。（P99）

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。

自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。（P109）

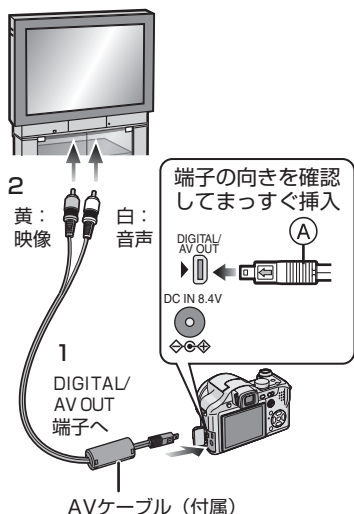
CD-ROM（付属）のソフトウェア「LUMIX Simple Viewer」または「PHOTOfunSTUDIO-viewer-」をお使いの場合は、印刷設定で日付入りに設定すると日付プリントができます。詳しくは、別冊の「パソコン接続編取扱説明書」をお読みください。

※日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

テレビで画像を再生する

モードダイヤルを [▶] に合わせてください。

■ AV ケーブル(付属)を使って見る

- TV アスペクトを設定する(P25)
- 電源を[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

1 本機の[AV OUT]端子にAVケーブルを確実に接続する

- AV ケーブルの [⬅] マークが端子部の[▶]マークに合うように接続してください。
- AVケーブルは、Ⓐ部を持ってまっすぐ抜き差ししてください。

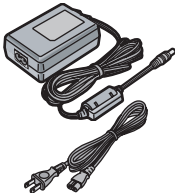
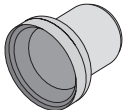
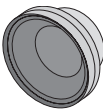
2 テレビの映像入力端子と音声入力端子に AV ケーブルを接続する

3 テレビの電源を入れ、外部入力にする

4 本機の電源を [ON] にする

- 付属のAVケーブル以外は使わないでください。
- モードダイヤルを再生[▶]にしているときのみ、テレビに画像を表示させることができます。
- テレビの特性上、画像の上下や左右が多少切れて表示されます。
- ワイドテレビやハイビジョンテレビに接続した場合、テレビ側の画面モードの設定によって、画像が縦や横に伸びたり、画像の上下や左右が切れて表示されることがありますので、その場合は画面モードの設定を変更してください。
- テレビの説明書もお読みください。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- 画面が流れたり色が付かない場合は、[ビデオ出力] が [NTSC] に設定されているか確認してください。(P25)
- 海外で見るときは 116 ページをお読みください。

■ SD メモリーカードスロット付テレビで見る

SD メモリーカードスロット付テレビに撮影した SD メモリーカードを入れて、静止画を再生することができます。

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- 動画を再生することはできません。動画を再生したい場合は、AV ケーブル(付属)を使用し、本機をテレビに接続してください。
- マルチメディアカードは再生できないことがあります。

別売品のご紹介

品番： DMW-BMA7 **品名：** バッテリーパック	
品番： DMW-AC7 **品名：** AC アダプター（DMW-CAC1もご使用いただけます）	
品番： DMW-LMC52 **品名：** MC プロテクター	
品番： DMW-LND52 **品名：** ND フィルター	
品番： DMW-LT55 ※ **品名：** テレコンバージョンレンズ	
品番： DMW-LW55 ※ **品名：** ワイドコンバージョンレンズ	

品番： DMW-LC55 ※ **品名：** クローズアップレンズ	
品番： DMW-LA2 ※ **品名：** レンズアダプター	
品番： DMW-CZS7 **品名：** ソフトケース	

※ テレコンバージョンレンズ（DMW-LT55）、ワイドコンバージョンレンズ（DMW-LW55）またはクローズアップレンズ（DMW-LC55）を使用するときは、レンズアダプター（DMW-LA2）が必要です。

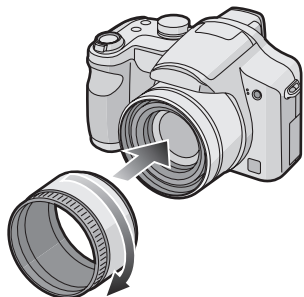
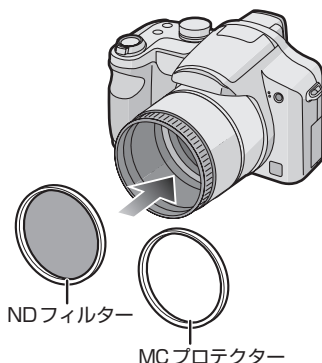
別売品は販売店でお買い求めいただけます
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます

Pana Sense

http://www.sense.panasonic.co.jp/

MC プロテクター /ND フィルターを使う

MC プロテクター（別売：DMW-LMC52）は、色調や光量にほとんど変化を与えない透明なフィルターで、レンズ保護用として使うことができます。また、ND フィルター（別売：DMW-LND52）は、色調に変化を与えずに、光量だけを 1/8（3 絞り分）に減少させることができます。

1 フードアダプターを取り付ける

2 MCプロテクターまたはNDフィルターを取り付ける

- MC プロテクターと ND フィルターを同時に取り付けることはできません。
- MC プロテクターや ND フィルターを強く締めすぎると、外れなくなる場合がありますので、強く締めつけないようにしてください。
- MC プロテクターや ND フィルターを付けたままでフラッシュを使用した場合は、画面の下が暗く（ケラレ）なる場合があります。
- MC プロテクターや ND フィルターが落下すると、壊れる恐れがあります。装着するときなどは、落とさないようお気をつけください。
- MC プロテクターや ND フィルターを付けたまま、レンズフードを取り付けることができます。
- フードアダプターに、コンバージョンレンズまたはクローズアップレンズを取り付けることはできません。
- レンズアダプター（別売：DMW-LA2）を取り付けると、MC プロテクター（別売：DMW-LMC55）または ND フィルター（別売：DMW-LND55）を使用することができます。ただし、レンズフードを取り付けることはできません。
- レンズ装着組み合わせ図については、92 ページをお読みください。

海外で使う

撮ったものを海外で見るには

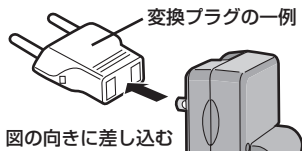
セットアップメニュー（再生モード）画面から［ビデオ出力］を選んで設定すると、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国・地域と、PAL 方式を採用している国・地域でテレビに接続して見ることができます。

日本と同じNTSC方式を採用している国・地域

- アメリカ合衆国
- アンチグア・バーブーダ
- イエメン（一部地域）
- 英領バーミューダ諸島
- エクアドル
- エルサルバドル
- ガイアナ
- カナダ
- キューバ
- グァテマラ
- グァム島
- グレナダ
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- スリナム
- セントクリストファー・ネイビス
- セントビンセント・グレナディーン諸島
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ共和国
- ドミニカ国
- トリニダード・トバゴ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バハマ
- バルバドス
- フィジー
- フィリピン
- プエルトリコ
- 米領サモア
- ベトナム（一部地域）
- ベネズエラ
- ベリーズ
- ペルー
- ボリビア
- ホンジュラス
- マーシャル諸島
- マリアナ諸島
- ミクロネシア連邦
- ミャンマー
- メキシコ

海外で使用するには

**チャージャーは、電源電圧（100 V～240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。**

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。
充電のしかたは、国内と同じです。

チャージャーは日本国内で使用することを前提として設計されており、海外旅行などでの一時使用では問題ありませんが、継続的な使用は避けてください。ご使用にならないときは変換プラグを AC コンセントから外してください。

■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

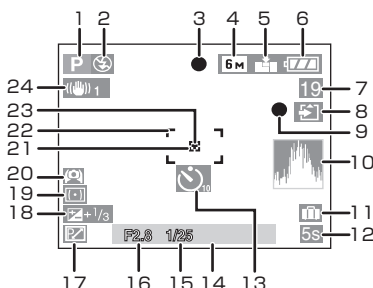
国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ
北米											
アメリカ合衆国	A-2	カナダ	A-2, BF								
ヨーロッパ・旧ソ連地域											
アイスランド	C-2	アイルランド	C-2	イギリス	C-2, B-3, BF, O	イタリア	C-2	ウクライナ	A-2, C-2	オーストリア	C-2, B-3
オランダ	C-2	カザフスタン	A-2, C-2	ギリシャ	C-2, B-3	スイス	C-2, B-3, BF	スウェーデン	C-2	スペイン	A-2, C-2
デンマーク	C-2	ドイツ	C-2	ノルウェー	C-2	ハンガリー	C-2	フィンランド	C-2	フランス	C-2, O
ベラルーシ	A-2, C-2	ベルギー	C-2	ポーランド	C-2, B-3	ポルトガル	C-2, B-3	ルーマニア	C-2	ロシア	A-2, C-2
アジア											
インド	C-2, B-3, BF	インドネシア	A-2, C-2, B-3, BF	シンガポール	B-3, BF	スリランカ	C-2, B-3	タイ	A-2, C-2, BF	大韓民国	A-2, C-2, BF, O
台湾	A-2, O	中華人民共和国	A-2, C-2, B-3, BF, O	ネパール	C-2, B-3, BF	パキスタン	A-2, C-2, B-3	バングラデシュ	C-2, B-3	フィリピン	A-2, C-2, B-3, BF, O
ベトナム	A-2, C-2	香港特別行政区	C-2, B-3, BF	マカオ特別行政区	A-2, C-2, B-3	マレーシア	C-2, B-3, BF	モンゴル	C-2, B-3, BF		
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A-2	タヒチ	A-2, C-2	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A-2, C-2, O
中南米											
アルゼンチン	A-2, C-2, BF, O	コロンビア	A-2	ジャマイカ	A-2	チリ	C-2, B-3	ハイチ	A-2	パナマ	A-2, BF
バハマ	A-2	プエルトリコ	A-2	ブラジル	A-2, C-2	ベネズエラ	A-2	ペルー	A-2, C-2	メキシコ	A-2
中東											
イスラエル	C-2, BF, O	イラン	C-2, BF	クウェート	C-2, B-3, BF	ヨルダン	B-3, BF				
アフリカ											
アルジェリア	A-2, C-2, BF	エジプト	C-2, B-3, BF	カナリア諸島	C-2	ギニア	C-2	ケニア	C-2, B-3, BF	ザンビア	B-3, BF
タンザニア	B-3, BF	南アフリカ共和国	C-2, B-3, BF	モザンビーク	C-2	モロッコ	C-2				

タイプ	A-2	B-3	BF(S-3)	C-2	O
形状					
変換プラグ	不要です				

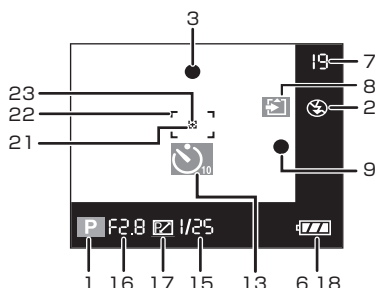
その他 Q&A

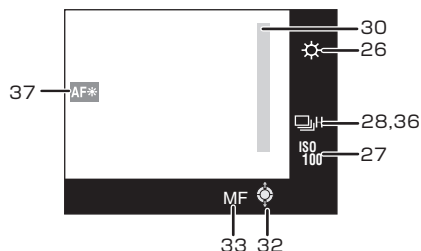
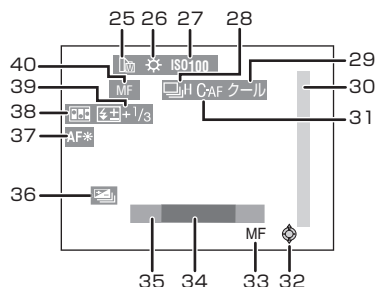
液晶モニター / ファインダーの表示

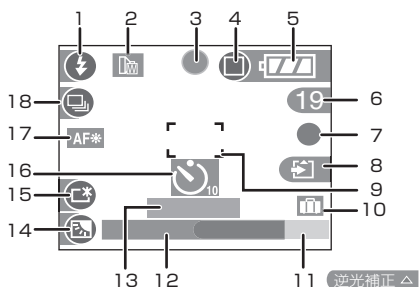
液晶モニター / ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

撮影時

（画面外表示）

■ 撮影時

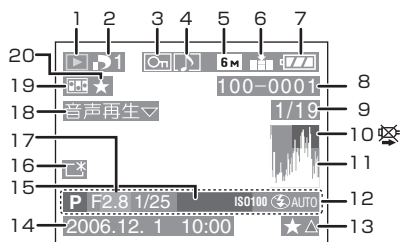
1 撮影モード
2 フラッシュモード(P44)
3 フォーカス(P26)
4 記録画素数(P82)
5 クオリティ(P82)
動画時(P71)：
30fps VGA / 10fps VGA / 30fps QVGA / 10fps QVGA / 30fps 16:9 / 10fps 16:9
手ブレ警告(P29)：
6 バッテリー残量(P13)
7 記録可能枚数
記録可能時間(P71)：残XXhXXmXXs
8 カードアクセス(P16)
9 記録動作
10 ヒストグラム(P42)
11 トラベル日付(P69)
12 動画経過時間(P71)
13 セルフタイマーモード(P48)
14 現在日時
起動時 / 時計設定後 / 再生モードから撮影モードへ切り換え後、約５秒間表示されます。
ズーム (P33)/EX 光学ズーム (P34) / デジタルズーム（P35）：

15 シャッタースピード(P26)
16 絞り値(P26)
17 プログラムシフト(P27)
18 露出補正(P49)
19 測光モード(P84)
20 ハイアングルモード(P43)
パワーLCD(P43)：
21 スポット AF エリア(P84)
22 AF エリア(P26)
23 スポット測光ターゲット(P84)
24 手ブレ補正(P51)

撮影時　　　　　　　　　　**(画面外表示)**

25 コンバージョンレンズ(P90)
26 ホワイトバランス(P78)
27 ISO 感度(P81)
28 連写(P52)
　音声記録(P71、84):
29 カラーエフェクトモード(P87)
30 フォーカス移動(P58)
31 AF 連続動作(P86)
32 ジョイスティック操作
　(P27、54 、55 、58 、78)
33 MF 操作(P58)
34 トラベル経過日数(P69)
　トラベル日付を設定した状態で起動した場合/時計設定後/出発日設定後 / トラベル日付設定後 / 再生モードから他のモードへ切り換え後に約 5 秒間表示されます。
35 月齢 / 年齢(P67)
　赤ちゃんモードで起動時/時計設定後/誕生日設定後 / 他のモードから赤ちゃんモードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。

36 オートブラケット(P50)
37 AF 補助光(P86)
　テレマクロ(P53):TELE
38 コマ撮りアニメ(P88):
39 フラッシュ発光量調整(P46)
40 MF(P58)

かんたんモード時

■ かんたんモード時

1 フラッシュモード(P44)
2 コンバージョンレンズ(P90)
3 フォーカス(P26)
4 画質設定(P30)
手ブレ警告(P29):
5 バッテリー残量(P13)
6 記録可能枚数
7 記録動作
8 カードアクセス(P16)
9 AF エリア(P26)
10 トラベル日付(P69)
11 逆光補正操作(P32)
12 現在日時
起動時/時計設定後/再生モードからかんたんモードへ切り換え後、約5 秒間表示されます。
ズーム(P33)/EX 光学ズーム(P34):
EZ W T 1X
13 トラベル経過日数(P69)
トラベル日付を設定した状態で起動した場合/時計設定後/出発日設定後 / トラベル日付設定後 / 再生モードから他のモードへ切り換え後に約 5 秒間表示されます。
14 逆光補正(P32)
15 パワーLCD(P43)
16 セルフタイマーモード(P48)
17 AF 補助光(P86)
テレマクロ(P53) TELE
18 連写(P52)

再生時

■ 再生時

1 再生モード(P37)
2 DPOF プリント枚数(P98)
3 プロテクト(P100)
4 音声付き静止画/動画(P76)
5 記録画素数(P82)
6 クオリティ(P82)
動画時(P76):
30fps VGA/10fps VGA/30fps QVGA/10fps QVGA/30fps 16:9/10fps 16:9
●かんたんモード時 (P30)
: 引き伸ばし
: L サイズ (3:2)
: E メール
7 バッテリー残量(P13)
8 フォルダー・ファイル番号(P107)
9 画像番号 / トータル枚数
10 ケーブル切断禁止アイコン(P112)
PictBridge対応プリンターに接続し、プリントしているときに表示されます。(プリンターによっては表示されない場合があります)
動画記録時間(P76):XXhXXmXXs
11 ヒストグラム(P42)
12 撮影情報
13 お気に入り設定(P95)
再生経過時間(P76):XXhXXmXXs
14 撮影日時
15 月齢 / 年齢(P67)
16 パワーLCD(P43)
17 トラベル経過日数(P69)
18 音声再生(P76)
動画時(P76):動画再生▽
19 コマ撮りアニメ(P88)
20 お気に入り表示(P95)

メッセージ表示

確認 / エラー内容を液晶モニター / ファインダーに文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

メッセージ	実行していただきたいこと
このメモリーカードはプロテクトされています	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチの「LOCK」を解除してください。（P16、101）
表示できる画像がありません	画像を記録する、または画像が記録されたカードを入れてから再生してください。
この画像はプロテクトされています	画像のプロテクトを解除してから（P100）削除や上書きをしてください。
削除できない画像があります / この画像は削除できません	DCF 規格に準拠していない画像は削除できません。 削除したい場合は、パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット（P105）してください。
設定枚数をこえました	複数削除で一度に設定できる枚数を超えています。 一度削除してから、複数削除を続けてください。
	お気に入り設定が 999 枚を超えています。
この画像には設定できません	DCF 規格に準拠していない画像は DPOF 設定できません。
メモリーカードエラー・フォーマットしますか？	本機では認識できないフォーマットです。パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット（P105）し直してください。
電源を入れ直してください	レンズに手などで力が加わり、正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
メモリーカードエラー カードを確認してください	カードへのアクセスに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 以下のような場合にもこの表示が出ます。 ● miniSD™ アダプターに miniSD™ カードを入れずに本機に挿入したとき 必ずアダプターに miniSD™ カードを入れてお使いください。 ● 2 GB より大きい容量のカードを入れたとき 2 GB より大きい容量のカードは使用できません。

メッセージ	実行していただきたいこと
リードエラー カードを確認してください	データの読み込みに失敗しました。もう一度カードを入れ直してください。 カードが確実に挿入されていることを確認してから、もう一度再生してください。
ライトエラー カードを確認してください	データの書き込みに失敗しました。カードを抜くか、一度電源を [OFF] にしてから、再度 [ON] にして記録してください。またはカードが破壊されている可能性があります。
カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました	● [画質設定]を[30fpsVGA]または[30fps16:9]に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプのSDメモリーカードを使用することをおすすめします。 ● カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。
フォルダーを作成できません	使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。（P107） パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット（P105）してください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの［番号リセット］を実行すると、フォルダー番号が 100 にリセットされます。（P24）
4:3TV 用で出力します / 16:9TV 用で出力します	● 本機に AV ケーブルが接続されました。メッセージをすぐに消したい場合は、[MENU/SET] ボタンを押してください。 ● TV アスペクトを変更したい場合は、セットアップメニューで変更してください。（P25） ● USB接続ケーブルを先に本機に接続した場合も、このメッセージが表示されます。 USB 接続ケーブルのもう一方をパソコンやプリンターに接続すると、このメッセージは消えます。（P106、109 ）

Q & A　故障かな？と思ったら

メニュー設定をお買い上げ時の状態に戻すと、症状が改善する場合があります。
セットアップメニューの [設定リセット] を実行してください。(P24)

■ バッテリー、電源について

Q（質問）	A（回答）
電源を [ON] にしても動作しない。	バッテリーは正しく入っていますか？
	バッテリーは十分に充電されていますか？ 十分に充電されたバッテリーをお使いください。
電源を [ON] にしているのに、液晶モニターが消灯している。	ファインダー表示になっていませんか？ [EVF/LCD] ボタンを押して液晶モニター表示に切り換えてください。
	パワーセーブ（P22）が働いていませんか？ シャッターボタンを半押しして、解除してください。
	バッテリーが消耗していませんか？バッテリーを充電するか、十分に充電されたバッテリーを入れてください。
電源を [ON] にしてもすぐに切れる。	● バッテリーが消耗していませんか？バッテリーを充電するか、十分に充電されたバッテリーを入れてください。 ● 電源を入れたまま放置しているとバッテリーは消耗します。パワーセーブ (P22) を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

■ 撮影について

Q（質問）	A（回答）
画像が撮れない。	カードが入っていますか？
	モードダイヤルは正しいモードに設定されていますか？
	カードのメモリー残量はありますか？ 撮影する前にいくつかの画像を削除してください。(P38)
撮影した画像が白っぽい。レンズが汚れている。	レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります。汚れたときは、電源を [OFF] にし、レンズ鏡筒（P10）を収納した状態で固定し、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	露出が正しく補正されているか確認してください。(P49)
ピントが合わない。	撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。モードダイヤルを回して、被写体までの距離に応じたモードにしてください。
	ピントが合う範囲から外れていませんか？（P29）
	ピントではなく、画像のブレではありませんか？

つづく

■ 撮影について

Q（質問）	A（回答）
撮影した画像がブレている。 手ブレ補正が効かない。	特に暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。このようなときは、本機を両手でしっかり持って撮影することをおすすめします。（P28） また、スローシャッターで撮影するときは三脚を使用し、セルフタイマー（P48）を使って撮影することをおすすめします。
撮影した画像が粗い / ノイズが出る。	ISO感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか？（お買い上げ時の設定では、ISO 感度が [AUTO] になっているため、屋内などの撮影では ISO 感度が高くなります） ● ISO 感度を低くしてください。（P81） ● [画質調整]の[ノイズリダクション]を[高]にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目を[低]にしてください。（P87） ● 明るい場所で撮影してください。
	シーンモードの高感度モード（P68）では、撮影した画像が少し粗くなりますが、高感度処理のためで異常ではありません。
動画撮影が途中で止まる。	マルチメディアカードを使用していませんか？本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
	● [画質設定] を [30fpsVGA] または [30fps16:9] に設定している場合は、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載がある高速タイプの SD メモリーカードを使用することをおすすめします。 ● カードの種類によっては、途中で動画撮影が終了する場合があります。

■ 液晶モニター/ファインダーについて

Q（質問）	A（回答）
液晶モニター/ファインダーの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	この現象は、シャッターボタンを半押ししたときに撮影時の絞り値を設定するもので、撮影画像に影響はありません。
室内で液晶モニターがちらつく。	電源周波数が 50 Hz の地域では、電源を入れてから数秒間、液晶モニターがちらつく場合がありますが、これは蛍光灯の影響によるちらつきを補正している動作で、異常ではありません。
液晶モニター/ファインダーが明るすぎたり、暗すぎる。	液晶モニター/ファインダーの明るさを正しく調整してください。(P22)
	パワーLCD またはハイアングルモードになっていませんか？(P43)
液晶モニターに画像が出ない。	ファインダー表示になっていませんか？［EVF/LCD］ボタンを押して液晶モニター表示に切り換えてください。
液晶モニターの画面上に黒、赤、青、緑の点が現れる。	これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので、安心してご使用ください。
液晶モニターにノイズが出る。	暗い場所では、液晶モニターの明るさを維持するためにノイズが出ることがあります。撮影する画像には影響しません。
液晶モニターに縦すじが出る。	スミアという現象です。これは CCD の特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。また、スミアの周辺に横引き状のムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。 動画撮影では記録されますが、静止画像には記録されません。
液晶モニターにムラが出る。	液晶モニターの周囲を持つと、液晶モニターにムラが発生しますが、故障ではありません。また、撮影画像や再生画像にも影響はありません。

■ フラッシュについて

Q（質問）	A（回答）
フラッシュが発光しない。	フラッシュを閉じていませんか？［⚡OPEN］ボタンを押して、フラッシュを開いてください。
	動画撮影モード［🎞］、シーンモードの風景（P62）、夜景（P63）、花火（P65）、星空（P66）を選択しているときは、発光しません。
フラッシュが2回発光する。	赤目軽減（P44）にしている場合、人の瞳が赤く写る（赤目現象）のをおさえるため、フラッシュが予備発光し、そのあと撮影のために再び発光します。

つづく

■ 再生について

Q（質問）	A（回答）
再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。	本機では縦に構えて撮影した画像を自動的に回転して表示する機能があります。（本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、本機が縦に構えて撮影したと認識する場合があります） ● [回転表示]（P96）を [OFF] にすると画像は回転せずに表示されます。 ● [画像回転]（P96）で画像を回転することができます。
再生できない。	モードダイヤルは再生 [▶] に設定されていますか？
	カードが入っていますか？
	カードに再生できる画像はありますか？
フォルダー・ファイル番号が [－] で表示され、画面が黒くなる。	パソコンで編集した画像、または当社製以外のデジタルカメラで撮影された画像ではないですか？ 撮影直後にバッテリーを抜いたり、消耗したバッテリーで撮影すると、まれに左記のような画像が記録されることがあります。 ● 左記のような画像を削除するにはフォーマット（P105）してください。（他の画像も含めてすべてのデータは一度フォーマットすると元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください）
カレンダー再生をすると、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。	パソコンで編集した画像または当社製以外のデジタルカメラで撮影した画像ではないですか？ このような画像は、カレンダー再生時、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。（P74）
	本機の時計設定を正しい日時に設定していますか？（P20） 例えば、本機の時計設定がパソコンに設定されている日時と異なる場合、一度パソコンにコピーした画像をカードに書き戻して、本機でカレンダー再生した場合など、撮影した日付と異なる日付で表示されることがあります。

■ テレビ、パソコン、プリンターについて

Q（質問）	A（回答）
テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。	正しく接続されていますか？
	テレビの入力切換を外部入力にしてください。
	本機の [ビデオ出力] を [NTSC] に設定してください。（P25）
テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。	テレビの機種によっては、表示される領域が狭く、画像が縦や横に伸びたり、画像の上下や左右が切れて表示されることがあります。異常ではありません。

■ テレビ、パソコン、プリンターについて

Q（質問）	A（回答）
テレビで動画の再生ができない。	カードを直接テレビに差し込んで再生していませんか？ AV ケーブル（付属）をテレビに接続し、本機で動画を再生してください。（P113）
パソコンに接続して画像を転送できない。	正しく接続されていますか？
	パソコンが本機を正常に認識していますか？
	本機の[USBモード]を[PC]に設定してください。(P24、P106)
パソコンにカードが認識されない。	USB 接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態で USB 接続ケーブルを接続し直してください。
プリンターに接続して、プリントができない。	プリンターは PictBridge に対応していますか？ 対応していないプリンターではプリントできません。(P109)
	本機の [USB モード] を [PictBridge (PTP)] に設定してください。（P24、109 ）
プリントすると、画像の端が切れる。	● トリミングや「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミングまたは「ふちなし」の設定を解除してお試しください。(プリンターの説明書をお読みください) ● お店によっては、アスペクト（P81）を [16:9] に設定して撮影した画像を 16：9 のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	本機の TV アスペクトを確認してください。（P25）

■ その他

Q（質問）	A（回答）
メニューの言語が英語の表示になっている。	[MENU/SET] ボタンを押してセットアップメニュー[ ] を表示し、[ ] アイコンを選んで、言語設定をしてください。（P25）
本機を振ると「カタカタ」と音がする。	これは、レンズが移動する音で故障ではありません。
オートレビューの設定ができない。	オートブラケット撮影（P50）、連写（P52）、動画撮影モード [ ]（P71）、音声記録 [ON]（P84）になっていませんか？これらの設定のときは、セットアップメニューでオートレビューの設定はできません。
画像の一部が点滅する。	白とびが起こっている部分を示す、ハイライト表示機能です。（P41）

■ その他

Q（質問）	A（回答）
シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。	暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF 補助光ランプ（P86）が赤く点灯します。
AF補助光が点灯しない。	撮影メニューの [AF 補助光] を [ON] にしていますか？（P86）
	暗い場所での撮影ですか？明るい場所ではAF補助光は点灯しません。
	シーンモードの風景（P62）、夜景（P63）、花火（P65）、流し撮り（P63）を選択しているときは、AF 補助光は点灯しません。
本機が熱くなる。	ご使用中、本機表面が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。
レンズ部から「カチッ」と音がする。	ズーム動作や本機を動かしたときなどで明るさが変化した場合、レンズ部から音がし、液晶モニター内の画像が急激に変わるときがありますが、撮影に影響はありません。このときの音は本機の自動絞り動作によるもので異常ではありません。
時計が合っていない。	本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計の設定をしてください。（P20）
	時計設定をしない状態で撮影すると、[0. 0. 0 0:00] の日付が記録されます。
画像の周囲に、実際にはない色が付いている。	画像はズーム倍率によって被写体の輪郭などにわずかに着色して撮影されることがあります。これを色収差といいます。望遠にしたときに色収差は目立つことがありますが、異常ではありません。
ファイル番号が連続して記録されない。	特定の操作を行ったあとに操作を行うと、それまでとは異なった番号のフォルダーの中に画像が記録されることがあります。（P108）
ファイル番号がさかのぼって記録される。	電源を [OFF] にせずバッテリーを抜き差しした場合、撮影していたフォルダー番号を記憶することができません。従って、再度電源を [ON] にして撮影した場合、前回撮影していたフォルダー番号と異なるフォルダー番号で記録されることがあります。
画像が黒く表示される	パソコンで回転された画像や編集された画像は、再生モード時（P37）、マルチ再生時（P73）、カレンダー再生時（P74）に黒く表示されることがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）**

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

指定以外のバッテリーパックを使わない
バッテリーパックの端子部（⊕・⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない
バッテリーパックを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要（寿命）になったバッテリーについては、137 ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

バッテリーチャージャーは、本機専用のバッテリーパック以外の充電器には使わない

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーパックは、本機専用のバッテリーチャージャーで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

警告

電源プラグを破損するようなことはしない（加工したり、熱器具に近づけたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- プラグの修理は、販売店にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V ～ 240 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響をおよぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠警告

乗り物を運転しながら使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

ぬれ手禁止

ぬれた手でバッテリーチャージャーの抜き差しはしない

感電の原因になります。

分解禁止

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら、本機の金属部やバッテリーチャージャーの電源プラグに触れない

落雷すると、感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

⚠警告

異常があったときは、バッテリーパックを取り外す

・内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき

・落下などで外装ケースが破損したとき

・煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

⚠注意

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。本機やカード、バッテリー、バッテリーチャージャーなどを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

⚠注意

フラッシュや AF 補助光の発光中に、近くで発光部を直接見ない

強い光により、目を痛める原因になることがあります。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない

やけどの原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響をおよぼす原因になることがあります。

- 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

長期間使わないときや、お手入れのときは、バッテリーパックを外す

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- カードは、保護のため取り出しておいてください。

使用上のお願い

■ 本機について

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない
また、本機に強い圧力がかからないよう気をつける

- 本機を入れたかばんを落としたり、ぶつけたりすると、本機に衝撃が加わりますのでお気をつけください。
- 強い衝撃が加わるとレンズや液晶モニター、外装ケースが壊れ、故障します。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響をおよぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプター（別売：DMW-AC7）を一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- お手入れの際は、バッテリーを外す、または電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- 柔らかい乾いた布でほこりや指紋をふいてください。汚れがひどいときは、乾いた布を水にひたし、よく絞ってから汚れをふき、そのあと、乾いた布でふいてください。
- 台所用洗剤や化学ぞうきんは使用しないでください。
- 万一雨水や水滴がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

■ バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

つづく

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー（付属）も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。（P116）

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に付けると、本機をいためます。

不要になった電池（バッテリー）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ
  http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

充電式
リチウムイオン
電池使用

Li-ion

■ チャージャーについて

- ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は 1 m 以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしておくと、最大約 0.1 W の電力を消費しています）
- チャージャーの端子部を汚さないでください。

■ カードについて

カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない

また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運び時はケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。

メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■ 画像データについて

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 三脚について

市販のカメラ用三脚を使うと、シャッタースピードが遅いときや、望遠で撮影するときでも手ブレのない安定した撮影ができます。

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚の説明書もよくお読みください。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

記録可能枚数・記録可能時間

- 記録可能枚数・時間はめやすです。（撮影条件、カードの種類によって変化します）
- 被写体により記録可能枚数・時間は変動します。

■ 記録可能枚数

アスペクト設定		4:3					
記録画素数		6M : 6M (2816×2112 画素)			4M : 4M EZ (2304×1728 画素)		
クオリティ		TIFF	/		TIFF		
カード	16 MB	約 0 枚	約 4 枚	約 8 枚	約 1 枚	約 6 枚	約 13 枚
	32 MB	約 1 枚	約 9 枚	約 19 枚	約 2 枚	約 14 枚	約 28 枚
	64 MB	約 3 枚	約 20 枚	約 40 枚	約 4 枚	約 30 枚	約 59 枚
	128 MB	約 6 枚	約 41 枚	約 82 枚	約 9 枚	約 61 枚	約 120 枚
	256 MB	約 12 枚	約 81 枚	約 160 枚	約 19 枚	約 120 枚	約 230 枚
	512 MB	約 25 枚	約 160 枚	約 320 枚	約 38 枚	約 240 枚	約 470 枚
	1 GB	約 51 枚	約 320 枚	約 640 枚	約 76 枚	約 480 枚	約 940 枚
	2 GB	約 100 枚	約 660 枚	約 1270 枚	約 150 枚	約 970 枚	約 1860 枚

アスペクト設定		4:3					
記録画素数		3M : 3M EZ (2048×1536 画素)			2M : 2M EZ (1600×1200 画素)		
クオリティ		TIFF			TIFF		
カード	16 MB	約 1 枚	約 8 枚	約 16 枚	約 2 枚	約 13 枚	約 27 枚
	32 MB	約 2 枚	約 18 枚	約 36 枚	約 4 枚	約 29 枚	約 58 枚
	64 MB	約 6 枚	約 38 枚	約 75 枚	約 10 枚	約 61 枚	約 120 枚
	128 MB	約 12 枚	約 78 枚	約 150 枚	約 20 枚	約 125 枚	約 240 枚
	256 MB	約 24 枚	約 150 枚	約 290 枚	約 39 枚	約 240 枚	約 470 枚
	512 MB	約 48 枚	約 300 枚	約 590 枚	約 78 枚	約 480 枚	約 940 枚
	1 GB	約 96 枚	約 600 枚	約 1180 枚	約 155 枚	約 970 枚	約 1880 枚
	2 GB	約 195 枚	約 1220 枚	約 2360 枚	約 310 枚	約 1920 枚	約 3610 枚

アスペクト設定		4:3					
記録画素数		1M : 1M EZ (1280×960 画素)			0.3M : 0.3M EZ (640×480 画素)		
クオリティ		TIFF			TIFF		/
カード	16 MB	約 3 枚	約 21 枚	約 40 枚	約 13 枚	約 68 枚	約 110 枚
	32 MB	約 7 枚	約 45 枚	約 85 枚	約 28 枚	約 145 枚	約 230 枚
	64 MB	約 15 枚	約 93 枚	約 175 枚	約 58 枚	約 290 枚	約 480 枚
	128 MB	約 31 枚	約 190 枚	約 350 枚	約 115 枚	約 600 枚	約 970 枚
	256 MB	約 61 枚	約 370 枚	約 690 枚	約 230 枚	約 1170 枚	約 1900 枚
	512 MB	約 120 枚	約 730 枚	約 1370 枚	約 450 枚	約 2320 枚	約 3770 枚
	1 GB	約 240 枚	約 1470 枚	約 2740 枚	約 910 枚	約 4640 枚	約 7550 枚
	2 GB	約 490 枚	約 2920 枚	約 5120 枚	約 1800 枚	約 8780 枚	約 12290 枚

アスペクト設定		3:2					
記録画素数		5M : 5M (2816×1880 画素)			2.5M : 2.5M EZ (2048×1360 画素)		
クオリティ		TIFF			TIFF		/
カード	16 MB	約 0 枚	約 4 枚	約 10 枚	約 1 枚	約 9 枚	約 18 枚
	32 MB	約 1 枚	約 10 枚	約 21 枚	約 3 枚	約 20 枚	約 40 枚
	64 MB	約 3 枚	約 22 枚	約 45 枚	約 6 枚	約 43 枚	約 83 枚
	128 MB	約 7 枚	約 46 枚	約 92 枚	約 13 枚	約 88 枚	約 165 枚
	256 MB	約 14 枚	約 91 枚	約 180 枚	約 27 枚	約 170 枚	約 330 枚
	512 MB	約 28 枚	約 180 枚	約 350 枚	約 54 枚	約 340 枚	約 650 枚
	1 GB	約 57 枚	約 360 枚	約 710 枚	約 105 枚	約 680 枚	約 1310 枚
	2 GB	約 115 枚	約 730 枚	約 1420 枚	約 210 枚	約 1360 枚	約 2560 枚

アスペクト設定		16:9					
記録画素数		4.5M : 4.5M EZ (2816×1584 画素)			2M : 2M EZ (1920×1080 画素)		
クオリティ		TIFF			TIFF		
カード	16 MB	約 0 枚	約 5 枚	約 11 枚	約 2 枚	約 12 枚	約 25 枚
	32 MB	約 2 枚	約 12 枚	約 25 枚	約 4 枚	約 27 枚	約 53 枚
	64 MB	約 4 枚	約 27 枚	約 53 枚	約 9 枚	約 57 枚	約 105 枚
	128 MB	約 8 枚	約 55 枚	約 105 枚	約 18 枚	約 115 枚	約 220 枚
	256 MB	約 17 枚	約 105 枚	約 210 枚	約 36 枚	約 230 枚	約 430 枚
	512 MB	約 33 枚	約 210 枚	約 420 枚	約 72 枚	約 450 枚	約 860 枚
	1 GB	約 67 枚	約 430 枚	約 850 枚	約 145 枚	約 910 枚	約 1720 枚
	2 GB	約 135 枚	約 870 枚	約 1700 枚	約 290 枚	約 1800 枚	約 3410 枚

■ 記録可能時間

画質設定		30fpsVGA	10fpsVGA	30fpsQVGA	10fpsQVGA
SD メモリーカード	16 MB	5 秒	25 秒	25 秒	82 秒
	32 MB	15 秒	55 秒	55 秒	170 秒
	64 MB	35 秒	120 秒	120 秒	360 秒
	128 MB	80 秒	250 秒	250 秒	740 秒
	256 MB	160 秒	490 秒	490 秒	1440 秒
	512 MB	320 秒	980 秒	980 秒	2870 秒
	1 GB	660 秒	1970 秒	1970 秒	5700 秒
	2 GB	1350 秒	4020 秒	4020 秒	11700 秒

画質設定		30fps16:9	10fps16:9
SD メモリーカード	16 MB	5 秒	22 秒
	32 MB	14 秒	50 秒
	64 MB	33 秒	106 秒
	128 MB	71 秒	217 秒
	256 MB	140 秒	420 秒
	512 MB	280 秒	840 秒
	1 GB	560 秒	1690 秒
	2 GB	1160 秒	3450 秒

- 太枠で囲った部分は、かんたんモード [❤] 時の記録可能枚数です。（P30）
- 液晶モニター / ファインダーに表示される記録可能枚数・時間は、規則正しく減少しない場合があります。
- 本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
- シーンモードの高感度モード（P68）では、EX 光学ズームが働きませんので、記録画素数の [EZ] は表示されません。

仕様

電源	DC 8.4 V
消費電力	2.0 W（液晶モニター撮影時） 1.9 W（ファインダー撮影時） 1.0 W（液晶モニター再生時） 0.9 W（ファインダー再生時）

カメラ有効画素数	600 万画素
撮像素子	1/2.5 型 CCD　総画素数 637 万画素、 原色カラーフィルター
レンズ	光学 12 倍ズーム　f=6 mm ～ 72 mm（35 mm フィルムカメラ換算：36 mm ～ 432 mm）/ F2.8 ～ F3.3
デジタルズーム	最大 4 倍
EX 光学ズーム （各アスペクト設定の最大記録画素数以外）	最大 16.5 倍
フォーカス	通常 / マクロ / マニュアルフォーカス 9 点 /3 点 (H)/1 点 (H)/1 点 / スポット
撮影範囲	プログラム AE（P）： 30 cm（W 端時）/2 m（T 端時）～∞ マクロ・かんたん・動画 / 絞り優先 AE（A）/ シャッター優先 AE（S）/ マニュアル露出時（M）： 5 cm（W 端時）/2 m（T 端時）～∞ ただし、 マクロ / かんたん / 動画時は T 端のみ 1 m
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
動画撮影	640×480 画素 /320×240 画素 /848×480 画素、 30 コマ / 秒、10 コマ / 秒　音声付き
連写撮影 　**連写速度** 　**連写枚数**	 3 コマ / 秒（高速）、2 コマ / 秒（低速）、 約 2 コマ / 秒（フリー連写） 最大 13 コマ（スタンダード）、最大 7 コマ（ファイン）、 カードの空き容量に依存（フリー連写）
ISO 感度	AUTO/80/100/200/400 高感度モード：AUTO/800/1600
シャッタースピード	60 秒～ 1/2000 秒 星空モード：15 秒、30 秒、60 秒 動画：1/30 秒～ 1/20000 秒

ホワイトバランス	オート / 晴天 / 曇り / 白熱灯 / フラッシュ / セットモード 1/ セットモード 2
露出	プログラム AE（P）、絞り優先 AE（A）、 シャッター優先 AE（S）、マニュアル露出（M） 露出補正（1/3 EV ステップ、−2 EV 〜 +2 EV）
測光方式	評価測光 / 中央重点測光 / スポット測光
液晶モニター	2.5 型低温ポリシリコン TFT 液晶（約 11.4 万画素） （視野率約 100%）
ファインダー	カラー液晶ビューファインダー（約 11.4 万画素） （視野率約 100%）（視度調整付き−５〜＋３ dioptor）
フラッシュ	内蔵ポップアップ式 撮影可能範囲：約 30 cm 〜約 6.0 m （W 端、[ISO AUTO] 設定時）
	オート / 赤目軽減オート / 強制発光（赤目軽減強制）/ 赤目軽減スローシンクロ / 発光禁止
マイク	モノラル
スピーカー	モノラル
記録メディア	SD メモリーカード / マルチメディアカード（静止画のみ対応）
記録画素数 **静止画** **動画**	 アスペクト [4:3] 設定時 2816×2112 画素 /2304×1728 画素 /2048×1536 画素 /1600×1200 画素 /1280×960 画素 /640×480 画素 アスペクト [3:2] 設定時 2816×1880 画素 /2048×1360 画素 アスペクト [16:9] 設定時 2816×1584 画素 /1920×1080 画素 640×480 画素 /320×240 画素 /848×480 画素
クオリティ（圧縮率）	ファイン / スタンダード /TIFF
記録画像ファイル形式 **静止画** **音声付き静止画** **動画**	 JPEG（DCF 準拠、Exif2.2 準拠）/TIFF（RGB）、DPOF 対応 JPEG（DCF 準拠、Exif2.2 準拠）+640×480 QuickTime（音声付き静止画） QuickTime Motion JPEG（音声付き動画）

インターフェース デジタル アナログビデオ / オーディオ	 USB 2.0（Full Speed） NTSC/PAL コンポジット（メニュー切り換え）/ オーディオライン出力（モノラル）
端子 DIGITAL/ AV OUT DC IN	 専用ジャック（8 pin） タイプ 3 ジャック
寸法	約 幅 112.5 mm× 高さ 72.2 mm× 奥行き 79 mm （突起部除く）
質量	約 310 g（本体） 約 357 g（カード、バッテリー含む）
推奨使用温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10% ～ 80%

専用バッテリーチャージャー /DE-993A

定格出力	DC 8.4 V　0.43 A（充電時）
定格入力	AC100 ― 240 V　50/60 Hz
入力容量	19 VA

リチウムイオンバッテリーパック : DMW-BMA7

電圧 / 容量	7.2 V、710 mAh

保証とアフターサービス（よくお読みください）

つづく

修理·お取り扱い·お手入れなどのご相談は･･･
まず､お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間
（「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	デジタルカメラ
品　番	DMC-FZ7
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、下記をご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

北 海 道 地 区

札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	**帯広** 帯広市西20条北2丁目23-3 ☎ (0155)33-8477	**函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）☎ (0138)48-6631
旭川 旭川市2条通16丁目1166 ☎ (0166)22-3011		

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

東北地区

青森 青森市大字浜田字豊田364 ☎(017)775-0326	**岩手** 盛岡市厨川5丁目1-43 ☎(019)645-6130	**山形** 山形市平清水1丁目1-75 ☎(023)641-8100
秋田 秋田市東通り2丁目1-7 ☎(050)5519-6348	**宮城** 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117	**福島** 郡山市亀田1丁目51-15 ☎(024)991-9308

首都圏地区

栃木 宇都宮市上戸祭3丁目3-19 ☎(028)689-2555	**埼玉** 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	**山梨** 甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171
群馬 前橋市箱田町325-1 ☎(027)254-2075	**千葉** 千葉市中央区末広5丁目9-5 ☎(043)208-6034	**神奈川** 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
茨城 つくば市筑穂3丁目15-3 ☎(029)864-8756	**東京** 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780	**新潟** 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171

中部地区

石川 金沢市横川3丁目20 ☎(076)280-6608	**長野** 松本市寿北7丁目3-11 ☎(0263)86-9209	**岐阜** 岐阜市中鶉4丁目42 ☎(058)278-6720
富山 富山市根塚町1丁目1-4 ☎(076)424-2549	**静岡** 静岡市駿河区有東2丁目3-22 ☎(054)287-9000	**高山** 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
福井 福井市問屋町2丁目14 ☎(0776)25-5001	**愛知** 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225	**三重** 久居市野村町字山神421 ☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀 栗東市霊仙寺1丁目1-48 ☎(077)582-5021	**大阪** 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225	**和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636	**奈良** 大和郡山市筒井町800番地 ☎(0743)59-2770	**兵庫** 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	出雲	出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	広島	広島市西区南観音 8丁目13-20 ☎ (082)295-5011
米子	米子市米原4丁目 2-33 ☎ (0859)34-2129	浜田	浜田市下府町 327-93 ☎ (0855)22-6629	山口	山口県吉敷郡小郡町 下郷220-1 ☎ (083)973-2720
松江	松江市平成町 182番地14 ☎ (0852)23-1128	岡山	岡山市田中 138-110 ☎ (086)242-6236		

四国地区

香川	高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-6388	高知	高知市仲田町2-16 ☎ (088)834-3142	愛媛	愛媛県伊予郡砥部町 八倉75-1 ☎ (089)905-7544
徳島	徳島市沖浜2丁目36 ☎ (088)624-0253				

九州地区

福岡	春日市春日公園 3丁目48 ☎ (092)593-9036	大分	大分市萩原4丁目 8-35 ☎ (097)556-3815	天草	本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
佐賀	佐賀市鍋島町大字 八戸字上深町3044 ☎ (0952)26-9151	宮崎	宮崎市本郷北方 字草葉2099-2 ☎ (0985)63-1213	鹿児島	鹿児島市与次郎 1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
長崎	長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658	熊本	熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067	大島	名瀬市長浜町10-1 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

1005

さくいん

Q&A その他

英字

この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を
使用しています。

QuickTime およびQuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Computer, Inc.の商標または登録商標です。

愛情点検　長年ご使用のデジタルカメラの点検を！

こんな症状はありませんか	・電源プラグが異常に熱い ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・水や異物が入った ・画像が乱れたり、きれいに映らない ・その他の異常や故障がある

▼

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DMC-FZ7
販　売　店　名	☎（　　）		
お客様相談窓口	☎（　　）		

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

F1205Sq（ 6200 Ⓐ）